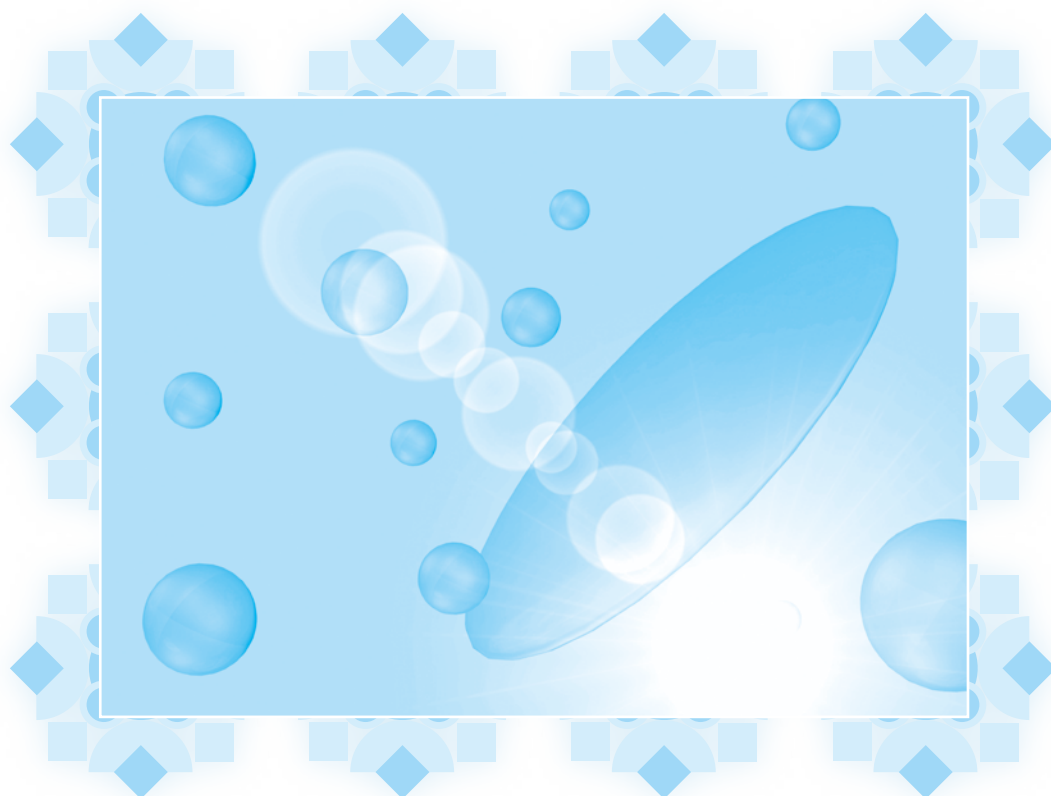


広島県のがん登録

(平成24年集計)



平成28年1月

広島県
一般社団法人 広島県医師会
公益財団法人 放射線影響研究所

御 挨 拶

がんは、昭和54（1979）年以降30年以上連続して本県の死亡原因の第1位という状況が続いており、今もなお、高齢化の進行等を背景に、がんによる死亡者数は増加しています。

このような状況の中、効果的ながん対策を推進するため、県内のがん発生数やその特性を把握し、予防活動の有効性及び医療水準の評価等を行うことを目的に、県では、平成14（2002）年10月から「広島県地域がん登録」を一般社団法人広島県医師会と公益財団法人放射線影響研究所の協力のもと実施してまいりました。

この間、両法人や県内医療機関の皆様の多大な御尽力により、本県のがん登録は、高い精度を有し、がん対策に欠くことのできない基礎資料となっています。

平成27（2015）年3月には、国立がん研究センターにおいて、各都道府県の「地域がん登録」の平成23（2011）年集計から、標準化罹患比及び死亡比を算出し、広島県と長野県では、罹患比が高い一方で死亡比は低い傾向が見られるという報告が公表されました。このような集計結果は、医療機関からの届出漏れが少なく、がん登録の精度が高いことの表れでもあると考えております。

また、平成28（2016）年1月からは、「がん登録等の推進に関する法律」に基づく国の事業として「全国がん登録」が始まり、日本のがんの実態把握が進むことが期待されます。

県としましては、がん登録により蓄積されたデータ及び情報の提供に努めますとともに、この貴重な情報をごん対策の企画と評価に有効に活用し、「がん対策日本一」の実現に向けた取組を一層進めてまいります。

終わりに、この報告書の発行に当たり御尽力をいただいた皆様に心より感謝を申し上げますとともに、医療関係者や行政関係者の皆様には、がん登録情報を御活用いただき、それぞれのお立場からがん対策に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

平成28年1月

広島県知事 湯崎 英彦

「広島県のがん登録（平成24年集計）」に寄せて

平成14（2002）年から、広島県より委託をうけて「地域がん登録事業」を実施しております。開始から14年目を迎え、全国に誇れる精度をもったデータとなりましたことは、ひとえに事業開始以来、沢山の参加医療機関の皆さまにご協力いただいたおかげと深謝いたします。

ご承知の通り広島県では平成14（2002）年から実施している「広島県地域がん登録」に併せて、広島県医師会が昭和48（1973）年より続けている「広島県腫瘍登録」、さらに昭和32（1957）年から広島市が続けている「広島市地域がん登録」の3つのがん登録が行われています。本報告書にも記述しておりますが、これら3つのがん登録のデータを有効に活用することにより、広島県地域がん登録は全国的にも登録精度・診断精度ともに高い水準を保っていると自負しています。

また、平成28（2016）年からは、全国がん登録がスタートされることにより、地域がん登録事業は節目を迎えます。今後、全国がん登録の推進により、さらに多くのデータが集積・一元化されることとなり、治療や予防への活用について期待される効果もこれまで以上となります。そのためには、登録データの利活用がさらに重要となります。広島県医師会としてもこれまでも本報告書やリーフレットの発行、県民公開講座を通じ、がん登録に関する情報発信を県民や関係者の皆さまへ実施しておりますが、まずは、「全国がん登録」を県民の皆さまに十分認識いただき、特に医療関係者には新しいがん登録の仕組みをご理解いただき円滑に事業推進が可能になるよう努めて参ります。

つきましては、広島県医師会では、本会会員への普及啓発や登録情報の利活用などの支援を中心に、今後ともがん登録事業をより一層推進するとともに、県民の健康増進につながるよう鋭意努力していく所存であります。引き続き皆さま方からのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成28（2016）年1月

一般社団法人広島県医師会会長 平松 恵一

「広島県のがん登録（平成24年集計）」に寄せて

平成24年（2012）年集計報告書を発行する運びとなりました。平成14年（2002）に広島県地域がん登録が開始されて以来、登録精度は格段に向上し、近年は死亡票で初めて登録されたがんの割合は10%以下、また死亡情報のみで登録されたがんの割合は5%以下と安定した精度を保つことができます。これもひとえにご協力くださいました医療機関の皆様、本事業を共同で遂行してくださっている広島県医師会地域がん登録室の皆様、広島県腫瘍登録事業を通して病理学的診断情報をご提供いただいている病理医の先生方や各施設病理部の皆様のご支援の賜物です。心より感謝申し上げます。

平成25年（2013）12月に、がん登録等の推進に関する法律が成立しました。これまで各都道府県で地方自治体事業として実施されていた地域がん登録は、平成28年（2016）から国の事業として位置づけられ、全国がん登録となります。これにより、全病院からがん登録情報を届け出ることが義務化され、県内に限らず全国の死亡情報との個人照合が行われるなど、罹患、死亡、予後情報ともに、がん登録資料の益々の精度向上が期待されます。同時にがん登録情報の取り扱いに関する個人情報保護も罰則を伴い強化されます。実務を委託されている当研究所では、これまでも個人情報保護については細心の注意をもって取り組んで参りましたが、さらに徹底する所存です。

本事業を受託して参りました当研究所といたしましては、今後も広島県におけるがん対策の推進に微力ながら貢献できればと考えております。また、がん登録資料を利用して放射線被曝とがん罹患の関連やがん罹患に関与するさまざまな因子を明らかにするという当研究所の使命にも邁進する所存です。

今後とも皆様のご協力、ご理解のほどをよろしくお願い申し上げます。

平成27年12月

放射線影響研究所理事長 丹羽 太貫

目次

I	広島県地域がん登録の概要	1
1.	目的	1
2.	経緯	1
3.	方法	1
	(1) 資料の収集方法	1
	(2) 登録対象	2
	(3) 登録作業	2
	(4) 集約作業	3
	(5) 生存確認調査	4
	(6) 相対生存率算出方法	4
	(7) 人口統計	5
	(8) データのバックアップ	5
4.	用語の説明	6
II	平成24年(2012)の結果	9
1.	がん死亡	9
	(1) 部位別がん死亡数	9
	(2) 全国との比較	10
	(3) 二次保健医療圏別の標準化死亡比	11
2.	がん罹患	13
	(1) 登録精度(上皮内がんを除く)	13
	(2) 部位別がん罹患数および罹患割合	15
	(3) 年齢階級別がん罹患率	17
	(4) 発見経緯	22
	(5) 臨床進行度	23
	(6) 受療割合	24
	(7) 二次保健医療圏別の登録精度(上皮内がんを除く)	25
	(8) 二次保健医療圏別の標準化罹患比(上皮内がんを除く)	26
3.	5年相対生存率(2008年診断)	28
4.	罹患(罹患数、年齢調整罹患率)と死亡(死亡数、年齢調整死亡率)の年次推移(2003年～2012年)	30
5.	登録精度指標の推移	33
III	おわりに	34
IV	付表	
表1-A	罹患数、罹患割合(%)、粗罹患率、年齢調整罹患率(人口10万対)及び累積罹患率(人口100対);部位別、性別 上皮内がんを除く	35
表1-B	罹患数、罹患割合(%)、粗罹患率、年齢調整罹患率(人口10万対)及び累積罹患率(人口100対);部位別、性別 上皮内がんを含む	36
表2-A	年齢階級別罹患数、罹患割合(%);部位別、性別 上皮内がんを除く	37
表2-B	年齢階級別罹患数、罹患割合(%);部位別、性別 上皮内がんを含む	38
表3-A	年齢階級別罹患率(人口10万対);部位別、性別 上皮内がんを除く	39
表3-B	年齢階級別罹患率(人口10万対);部位別、性別 上皮内がんを含む	40
表4-A	発見経緯(%);部位別 上皮内がんを除く	41
表4-B	発見経緯(%);部位別 上皮内がんを含む	42
表5-A	臨床進行度分布(%);部位別 上皮内がんを除く	43
表5-B	臨床進行度分布(%);部位別 上皮内がんを含む	44
表6-A	受療割合(%);部位別 上皮内がんを除く	45
表6-B	受療割合(%);部位別 上皮内がんを含む	46
表7-A	切除内容(%);部位別 上皮内がんを除く	47

表7-B	切除内容(%)；部位別	上皮内がんを含む	48
表8-A	精度指標；部位別、性別	上皮内がんを除く	49
表8-A'	精度指標；部位別、性別	上皮内がんを除く	50
表8-B	精度指標；部位別、性別	上皮内がんを含む	51
表8-B'	精度指標；部位別、性別	上皮内がんを含む	51
表9	死亡数、死亡割合(%)、粗死亡率、年齢調整死亡率(人口10万対)及び累積死亡率(人口100対)；部位別、性別		52
表10	年齢階級別死亡数、死亡割合(%)；部位別、性別		53
表11	年齢階級別死亡率(人口10万対)；部位別、性別		54
表12-A	5年相対生存率(%)	部位別、性別	55
表12-B	5年相対生存率(%)	主要部位別、性別、臨床進行度別	56
付表1	がん罹患数及び罹患率；詳細部位別、性別		57
付表2	がん死亡数及び死亡率；詳細部位別、性別		59
付表3-A	受療割合詳細(%)；部位別	上皮内がんを除く	61
付表3-B	受療割合詳細(%)；部位別	上皮内がんを含む	62
付表4-A	医療圏別、保健所別罹患数；部位別、性別	上皮内がんを除く	63
付表4-B	医療圏別、保健所別罹患数；部位別、性別	上皮内がんを含む	63
付表4-C1	標準化死亡比(全国との比較)；部位別、性別		64
付表4-C2	二次保健医療圏別標準化死亡比(広島県との比較)；部位別、性別		64
付表4-D	二次保健医療圏別標準化罹患比(広島県との比較)；部位別、性別		65
付表5-A	市区町村別罹患数；部位別、性別	上皮内がんを除く	66
付表5-B	市区町村別罹患数；部位別、性別	上皮内がんを含む	67
付表6-1	広島県地域がん登録における罹患数に対する資料源ごとの数(詳細)		68
付表6-2	広島県地域がん登録における罹患数に対する資料源ごとの割合(%) (詳細)		68
付表6-3	広島県地域がん登録における罹患数に対する資料源の数		68
付表6-4	広島県地域がん登録における罹患数に対する資料源の割合(%)		68
付表7-1	罹患数の年次推移		69
付表7-2	年齢調整罹患率の年次推移		69
付表7-3	死亡数の年次推移		69
付表7-4	年齢調整死亡率の年次推移		69

V 参考資料

1. 二次保健医療圏	71
2. 広島県地域がん登録届出票	72
(1) 届出票(平成18年まで)	72
(2) 届出票 改訂版(平成19年から)	73
(3) 届出票と届出票の書き方 第3版(平成22年1月から)	74
3. 広島県地域がん登録届出票(平成18年まで)項目と地域がん登録標準登録票項目の対応表	81
4. 広島県腫瘍登録データと地域がん登録標準登録票項目の対応表	86
5. 広島県地域がん登録・広島県腫瘍登録届出施設	88
6. 地域がん登録届出件数の年ごとの動き	90
7. 広島県・広島市地域がん登録資料の相互利用に関する協定書	91
8. 広島県医師会 地域がん登録運営委員会委員名簿	93
広島県地域がん登録システム推進事業実施要領	94
広島県地域がん登録システム推進事業資料利用審査委員会設置要領	98
広島県地域がん登録資料の利用手続要項	99

I 広島県地域がん登録の概要

1. 目的

広島県地域がん登録とは、広島県民に発生したがんの診断から治癒、または死亡にいたるまでの情報を多方面から収集し、個々の患者ごと、さらに個々のがんごとに集約する仕組みのことである。これらの情報を使用して、がん予防の推進、がん医療の向上を図り、県民の健康に役立てることを目的としている。

2. 経緯

広島県地域がん登録のこれまでの経緯を示す。

平成14年（2002）10月	広島県地域がん登録システム推進事業を開始
平成17年（2005）4月	広島県腫瘍登録（いわゆる病理登録）と一体化。病理診断に基づく詳細ながん情報の収集を開始
平成19年（2007）1月	第3次対がん総合戦略研究事業「がん罹患・死亡動向の実態把握の研究」班（以下、祖父江班という）が推奨する標準登録票項目を採用し、届出票を改訂（第2版） 祖父江班が提供する標準データベースシステム（DBS）導入 （注：標準DBSは平成23年（2011）に祖父江班から独立行政法人国立がん研究センターに譲渡された）
平成20年（2008）7月	遡り調査開始 祖父江班の全国がん罹患モニタリング集計に参加を開始
平成21年（2009）8月	広島市地域がん登録・広島県地域がん登録の資料相互利用の協定書を締結 広島市で収集された情報と相互利用することで、より精度の高いがん統計を整備することを目指す
平成22年（2010）1月	標準登録票項目の改訂に伴い、届出票を改訂（第3版）
平成24年（2012）1月	住基ネットによる診断から5年後の生存確認調査開始（2006年診断～）
平成25年（2013）5月	5年相対生存率集計を掲載（2006年診断～）

3. 方法

（1）資料の収集方法

1）広島県地域がん登録（臨床登録）

①広島県地域がん登録届出票

広島県内の医療機関から、広島県地域がん登録届出票に一人の患者の原発部位ごとにかんの情報に記載して届け出る、届出方式である。医療機関からの届出は、初回治療時の退院時および死亡退院時であり、広島県医師会へ追跡可能なゆうパックで郵送される。

②人口動態調査死亡票

人口動態調査において作成された人口動態調査死亡票（以下、死亡票という）について目的外利用の許可を得て、広島県内で作成された転写書類を入手している。

2) 広島県腫瘍登録（病理登録）

広島県内の医療機関および検査センターから、診断した腫瘍について、病理診断依頼箋および病理診断報告書の写と悪性についてはそれを代表する組織プレパラートを広島県医師会に届け出る、届出方式である。これらの腫瘍情報は広島県腫瘍登録実務委員会のメンバーである病理医が国際疾病分類－腫瘍学第3版（以下、ICD-O-3という）により、腫瘍の部位と組織診断をコード化する。さらに腫瘍の病期、原発巣、標本の採取方法（手術あるいは生検）の情報についてもコード化を行う。コード化するには、必要に応じて病理医がプレパラートを鏡検して組織診断を確認している。これらの情報は、広島県医師会にて入力され、（公財）放射線影響研究所内のデータベースに保管される。その後、1年に1度、約1年分のデータを広島県地域がん登録データベースへ移送されている。

3) 広島市地域がん登録

広島市地域がん登録では、広島市内とその周辺の医療機関の協力を得て、委託先である（公財）放射線影響研究所の職員が医療記録からがんの診療記録を原発部位ごとに採録している。これらの情報はデータベースに登録され、広島県地域がん登録データと相互利用されている。

（2）登録対象

1) 広島県地域がん登録（臨床登録）

①広島県地域がん登録届出票

診断時住所が広島県内で、上皮内がんを含む悪性腫瘍（ICD-O-3の性状2または3）、および中枢神経系腫瘍（脳・脊髄・髄膜）は良性・悪性にかかわらず登録対象としている。

②人口動態調査死亡票（死亡票）

死亡票において腫瘍と記載があるもの（ICD-O-3の性状1）、上皮内がんを含む悪性腫瘍（ICD-O-3の性状2または3）、および中枢神経系腫瘍（脳・脊髄・髄膜）は良性・悪性にかかわらず登録対象としている。

2) 広島県腫瘍登録（病理登録）

広島県腫瘍登録で収集した情報のうち、上記広島県地域がん登録の登録対象となるものを対象としている。

3) 広島市地域がん登録

広島市地域がん登録の登録対象は、診断時住所が広島市内で、その他の登録要件は広島県地域がん登録の登録対象と同様である。

（3）登録作業

医療機関から提出された届出票について、がんの原発部位および病理診断情報をICD-O-3でコード化し、標準DBSを用いて入力作業を行う。

(4) 集約作業

平成24年（2012）のがん罹患統計では、以下の資料のうち ICD-O-3 において性状コードが2（上皮内がん）または3（悪性）のものについて、標準 DBS に基づいて集約作業を行った（図 A）。

- ・広島県地域がん登録届出票（診断年月日が平成24年（2012）以前のもの）
- ・人口動態調査死亡票（死亡年月日が平成24年（2012）以前のもの）

まず、以前に登録されたことがある患者かどうかの照合を行った（個人同定）。その後、原発部位について、1腫瘍1件の情報として集約した。多重がんの判定については IARC（International Agency for Research on Cancer）の多重がんの判定基準に基づき判定を行った。そして、初めて死亡票でがん情報が登録されたものについて、原発部位、病期、治療方法などの情報を詳しく得るために、遡り調査を実施した。その上で、上記資料と、下記資料について再度集約作業を行った。

- ・広島県腫瘍登録用病理診断報告書写（標本採取年月日が平成24年（2012）以前のもの）
- ・遡り調査票（死亡年が平成24年（2012）のもの）

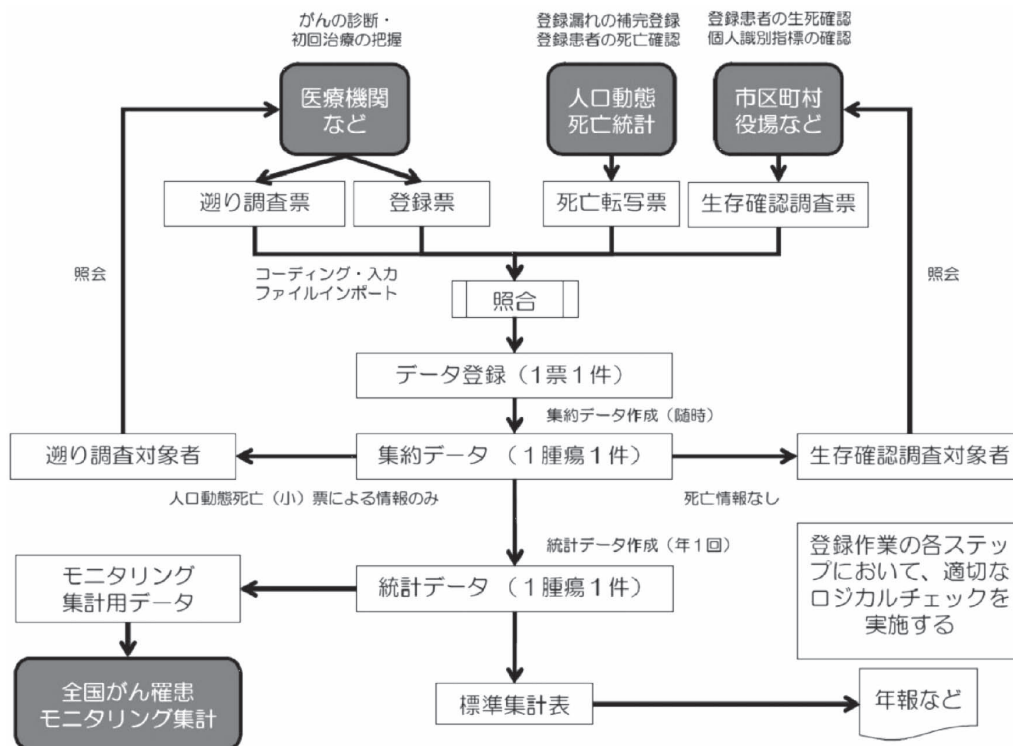


図 A 広島県地域がん登録における登録作業の流れ
（地域がん登録の手引き 改訂第5版より引用）

広島県地域がん登録届出票および広島県腫瘍登録用病理診断報告書写の件数は表Aの通りであった。これらの資料について、平成18年以前は広島県では独自の届出票で情報を収集していたので、祖父江班が提唱する地域がん登録の標準登録票項目へ変換し、集約、集計を行った（巻末参考資料4）。また、遡り調査については、平成24年（2012）は死亡情報で初めて登録された症例で、かつ死亡場所が病院、診療所または介護老人保健施設であったもの1,643件のうち、1,371件に対して遡り調査を実施し、回答数1,223件（回収率は89.2%）であった。

本報告書における2012年診断集計は、2015年9月25日に確定したデータに基づき解析を行った。

表A 広島県地域がん登録届出票および広島県腫瘍登録病理診断報告書写における件数
(平成24年(2012))

	平成24年
広島県地域がん登録届出票	23,941
広島県腫瘍登録病理診断報告書写(上皮内がんを含む悪性腫瘍、および中枢神経系腫瘍(脳・脊髄・髄膜)は良性を含む)	32,483

(5) 生存確認調査

広島県地域がん登録では、以下の情報に基づき最終生存確認日を把握している。

- ・届出票に記載されている死亡日
- ・県内の全死亡票により把握された死亡日(2012年12月31日まで)
- ・住民基本台帳ネットワークシステムより把握された死亡日、転居日、診断から5年後の生存確認日のうちいずれか早い方(2008年に新たに診断された患者)

住民基本台帳ネットワークシステムを用いて行った生存確認調査の結果は表Bの通りであった。

- ・対象：2008年に診断され、2012年12月31日までに死亡票により死亡が確認されていないもの(12,291人)
- ・方法：住民基本台帳ネットワークシステムによる1件ずつの照合

表B 住民基本台帳ネットワークシステムによる生存確認調査結果

生存確認調査 対象者数(人)	死亡	生存 (県内転出を含む)	県外転出	該当者なし
12,291	933	10,973	189	196
100%	7.6%	89.3%	1.5%	1.6%

(6) 相対生存率算出方法

1) 集計対象

2008年診断患者のうち、次の(ア)から(オ)を除くものを生存率の集計対象とした。

- (ア) 死亡情報のみで登録された患者(DCO症例)
- (イ) 悪性以外、大腸の粘膜がんを含む上皮内がん
- (ウ) 多重がんのあるケースでは第2がん以降のがん
- (エ) 年齢不詳および100歳以上の症例
- (オ) がん死亡情報からの遡り調査による症例(DCO症例を除くDCN症例)

なお、小児がんについては診断時年齢が0歳～14歳のものを対象とした。

2) 計算方法

- ①診断日を起点とした実測生存率をKaplan-Meier法を用いて算出する。
- ②対象とするがん患者と同じ性、年齢、出生年の一般集団の生存確率から計算した期待生存率で除して相対生存率を求める。
- ③期待生存率は、0.5歳分加算したコホート生存率表に基づき、EdererII法を用いて計算する。

このコホート生存率表は、国立がん研究センターがん対策情報センターがん統計研究部から毎年計算、提供されるものを用いた。

(7) 人口統計

罹患率、死亡率集計には、国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報統計部と国立社会保障・人口問題研究所人口動態研究部との共同開発により作成された平成24年（2012）都道府県別人口データ（総人口）を用いた。年齢不詳は各年齢階級に按分されている。

また、医療圏別の標準化死亡比および標準化罹患比の算出には、（公財）放射線影響研究所で昭和50年（1975）～平成22年（2010）の5年ごとの国勢調査人口（総人口）を用いて、性別、同一年齢階級において外挿して求めたものを用いた。年齢不詳人口については考慮していない。

表C 平成24年（2012）広島県および二次保健医療圏別の性別、年齢階級別人口

二次保健医療圏	合計	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44
男性										
広島県	1,376,865	62,446	64,401	67,862	67,448	65,985	72,570	82,366	114,616	94,217
広島	651,835	31,702	32,244	33,437	32,384	30,872	35,203	41,032	58,642	49,123
広島西	67,567	2,742	3,049	3,230	3,260	2,822	3,639	3,568	4,998	4,418
呉	126,118	4,696	4,818	5,865	5,525	6,402	6,683	7,007	9,853	8,059
広島中央	115,120	5,262	5,102	5,535	7,489	9,649	6,791	7,094	9,040	7,413
尾三	123,677	4,748	5,388	5,728	5,594	4,760	6,032	6,573	8,776	7,092
福山・府中	247,694	11,421	11,811	12,151	11,266	9,907	12,419	14,789	20,297	15,657
備北	44,854	1,876	1,989	1,916	1,931	1,572	1,802	2,304	3,010	2,454
女性										
広島県	1,477,528	59,633	60,885	64,999	63,585	63,657	70,665	80,866	113,879	95,133
広島	703,553	30,421	30,740	32,111	30,932	32,627	36,778	42,400	60,150	49,899
広島西	74,134	2,533	2,718	3,074	3,275	3,174	3,656	3,586	5,186	4,511
呉	135,312	4,479	4,805	5,200	5,528	5,235	5,286	6,033	8,736	7,863
広島中央	113,270	5,040	4,819	5,305	5,891	6,674	5,616	6,381	8,311	7,031
尾三	135,570	4,628	4,872	5,421	5,336	4,863	5,357	5,891	8,683	7,142
福山・府中	265,945	10,894	11,065	12,010	10,757	9,710	12,391	14,382	20,142	16,473
備北	49,748	1,638	1,866	1,878	1,866	1,374	1,582	2,193	2,671	2,213
二次保健医療圏	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85+	不明
男性										
広島県	83,025	76,366	85,149	121,234	95,415	70,955	58,314	42,969	29,950	21,577
広島	42,721	35,926	37,785	54,722	42,480	31,351	23,558	16,426	10,849	11,378
広島西	3,837	4,036	4,996	6,702	5,065	3,601	3,033	2,339	1,652	580
呉	7,187	6,583	7,370	12,034	10,627	8,018	6,978	4,953	3,563	-103
広島中央	6,853	5,847	6,338	8,983	7,396	4,890	4,267	3,052	2,116	2,003
尾三	6,340	7,513	8,799	12,373	9,501	7,209	6,972	5,696	3,969	614
福山・府中	14,015	13,659	16,367	21,869	17,538	13,423	10,641	7,914	5,671	6,879
備北	2,072	2,803	3,493	4,551	2,807	2,463	2,865	2,590	2,130	226
女性										
広島県	84,528	79,318	87,409	125,495	104,740	81,557	78,945	67,249	77,012	17,973
広島	42,887	37,406	39,166	57,160	47,463	35,413	31,688	25,801	29,295	11,216
広島西	4,063	4,651	5,254	6,984	5,189	4,258	4,080	3,628	3,914	400
呉	7,078	6,851	7,313	12,727	11,686	9,457	9,813	8,149	9,136	-63
広島中央	6,592	6,053	6,263	9,402	7,478	5,513	5,417	4,686	5,966	832
尾三	7,083	7,410	8,953	12,299	10,478	8,644	9,564	8,712	9,712	522
福山・府中	14,584	14,221	17,234	22,714	19,207	15,048	14,231	12,078	13,876	4,928
備北	2,242	2,727	3,226	4,209	3,239	3,224	4,153	4,195	5,114	138

呉医療圏では、平成17年（2005）と平成22年（2010）年の国勢調査人口における年齢不詳人口の減少が大きく、これを線形外挿して求めたため、年齢不詳人口がマイナスになった。

本報告書の医療圏別標準化死亡比および標準化罹患比の算出には、合計および年齢不詳の人口は用いていない。

(8) データのバックアップ

広島県地域がん登録で収集された届出票および遡り調査票は、（公財）放射線影響研究所内の資料庫内のキャビネットにて保管されている。その資料庫およびキャビネットは厳重に施錠されており、情報保護に努めている。また、標準データベースに入力された情報は、バックアップサーバーにて毎日バックアップをとっている。また災害時に備えて、月に1回サーバー情報のバックアップを暗号化して県庁に保管している。暗号化のパスワードは県医師会で保管している。

4. 用語の説明

1) 届出数

医療機関から提出された届出票の枚数（1届出1件）

2) 届出患者数

医療機関から届出された患者と人口動態調査死亡票から登録された人の数（1患者1件）

3) 罹患数

ある年における1月1日から12月31日の間に初めてがんと診断されたがんの数（1腫瘍1件）

4) がん死亡数

がんが原死因であるものの数を示す。原死因とは、人口動態調査死亡票における死因欄の記述から一定の規則に基づいて選択された死亡の原因のことである。厚生労働省において死因欄の複数の記述をコード化し、その中から一定の規則にしたがって原死因を選択している。広島県では人口動態統計の目的外利用許可を得て、厚生労働省でコード化された情報を電子媒体で入手している。広島県では死亡数の算出においても国籍を問わず、総死亡数を用いている。

5) 粗罹患率（粗死亡率）

罹患数（死亡数）を同時期の観察人口で除したものである。通常は人口10万対で表現する。

$$\text{粗罹患率（粗死亡率）} = \frac{\text{罹患数（死亡数）}}{\text{人口}} \times 100,000$$

6) 年齢調整罹患率（年齢調整死亡率）

異なる地域あるいは異なる時期の2つの集団について、がんの罹患率（あるいは死亡率）を比較する場合、2つの集団の年齢ごとの人口の割合が異なると単純に粗罹患率（あるいは粗死亡率）で比較することができない。そのため、観察集団の人口構成が基準集団の人口構成と等しいと仮定して、観察集団の年齢階級別罹患率を基準集団にあてはめて全年齢での罹患率（死亡率）、すなわち年齢調整罹患率（年齢調整死亡率）を計算する。通常は人口10万対で表現する。

$$\frac{(\text{観察集団の年齢階級別罹患率（死亡率）} \times \text{標準人口のその年齢階級別人口}) \text{の年齢階級の総和}}{\text{標準人口の総和}} \times 100,000$$

昭和60年（1985）モデル人口は、わが国の昭和60年（1985）の国勢調査人口をベビーブームなどの極端な増減を補正し、四捨五入によって千人単位として作成した仮想の人口集団である。また、世界人口は「瀬木-Dollの世界人口」と呼ばれるもので、WHOにおいて各国の統計値を国際比較するために作成された仮想の人口集団である。

7) 累積罹患率（累積死亡率）

0歳からある年齢までの1歳年齢階級別罹患率（1歳年齢階級別死亡率）の合計値である。累積罹患率（累積死亡率）が0.1（10%）以下である場合は、累積罹患リスク（累積死亡リスク）の

近似値と考えることができる。ここで、累積罹患リスク（累積死亡リスク）とは100人中何人がその病気に罹患（死亡）するかという割合である。累積罹患率（累積死亡率）は、通常0-74歳がよく用いられ、小児がんの場合は0-14歳累積罹患率（累積死亡率）が用いられる。100対で表現する。0-74歳までの累積罹患率（累積死亡率）および累積罹患リスク（累積死亡リスク）の具体的な計算方法は以下である。

0-74歳の累積罹患率（100対）

$$= \{(0-4歳の年齢階級別罹患率) \times 5年 + \dots + (70-74歳の年齢階級別罹患率) \times 5年\} / 1000$$

（年齢階級別罹患率は人口10万対）

0-74歳の累積罹患リスク = $1 - \exp(-\text{累積罹患率})$

8) 標準化罹患比（標準化死亡比）

標準化罹患比（死亡比）とは、観察集団の年齢階級別罹患率（死亡率）が基準集団の年齢階級別罹患率（死亡率）と等しいと仮定して、基準集団の年齢階級別罹患率（死亡率）を観察集団の人口構成にあてはめて、起きてくるであろう罹患数（死亡数）を計算する。この、「起きてくるであろう罹患数（死亡数）」を期待罹患数（死亡数）と呼び、各年齢階級の期待罹患数（死亡数）の和と、実際の罹患数（死亡数）の比をとって標準化罹患比（死亡比）とする。値が信頼区間の範囲を超えて、1を越えていれば基準集団よりも罹患率（死亡率）が高いことを表し、信頼区間の範囲を超えて、1より低いと基準集団よりも罹患率（死亡率）が低いことを表す。

$$\text{標準化罹患比（死亡比）} = \frac{\text{観察集団で発生した罹患数（死亡数）}}{\text{期待罹患数（死亡数）}}$$

9) DCN 割合、DCO 割合

DCN（death certificate notification）割合とは、罹患数に対する死亡票で初めて登録されたがんの割合であり、DCO（death certification only）割合とは、罹患数に対する死亡票のみで登録された数である。IM比（incidence/mortality ratio）とは、がんの罹患数と死亡数の比である。DCN割合はがん登録の完全性の精度指標として用いられており、DCO割合はがん登録の診断精度の指標として用いられている。

$$\text{DCN 割合} = \frac{\text{死亡票で初めて登録されたがんの数}}{\text{罹患数}} \times 100 \quad (\%)$$

$$\text{DCO 割合} = \frac{\text{死亡票のみで登録されたがんの数}}{\text{罹患数}} \times 100 \quad (\%)$$

$$\text{IM比} = \frac{\text{がん罹患数 (I)}}{\text{がん死亡数 (M)}}$$

国立がん研究センターが提供する MCIJ2011（Monitoring of Cancer Incidence in Japan）においては、精度基準をAおよびBの2段階としている。A基準は、IARC/IACRが編集する「5大陸のがん罹患」Vol. IXにおいて、データ掲載の判断に利用された最高基準に準拠したもので、DCO割

合が10%未満、かつ DCN 割合が20%未満、かつ IM 比が2.0以上である。B基準は、MCIJ2010 までの精度基準で、DCN 割合が30%未満または DCO 割合が25%未満、かつ IM 比が1.5以上である。

10) HV 割合および MV 割合

HV (histologically verified cases) 割合は、罹患数に対する組織診の結果のあるがんの割合であり、MV (microscopically verified cases) 割合は、罹患数に対する組織診だけでなく細胞診も含め顕微鏡的に確かめられたがんの割合である。これらはがん登録データの診断精度の指標として用いられる。

$$\text{HV 割合} = \frac{\text{組織診断の結果のあるがんの数}}{\text{罹患数}} \times 100 \quad (\%)$$

$$\text{MV 割合} = \frac{\text{細胞診も含めた顕微鏡的に確かめられたがんの数}}{\text{罹患数}} \times 100 \quad (\%)$$

11) 遡り調査

死亡票で初めてがんが確認できた症例について、死亡診断をした医療機関に届出票の提出を依頼する調査。広島県地域がん登録では、死亡症例についてはおおよそ1年から2年後に初めてその他のがん情報と集約され、死亡票のみでがんが確認された症例かどうかを判定している。また、その症例に腫瘍登録からの病理情報がある場合でも、がんの病巣の拡がりや発見経緯、治療方法等についても詳しく知るために、遡り調査の対象としている。

12) 相対生存率

性別、年齢、診断年が異なる集団において、がん患者の予後を比較するために、がん患者について計測した生存率（実測生存率）を対象者と同じ性別、年齢をもつ日本人の期待生存率で除したものをいう。

$$\text{相対生存率} = \frac{\text{実測生存率}}{\text{期待生存率}}$$

13) 二次保健医療圏

医療法に基づき広島県が定めた圏域であり、広島、広島西、呉、広島中央、尾三、福山・府中、備北の7つに分けられる（巻末参考資料1）。

14) 国際疾病分類第10版（ICD-10）

ICD-10 とは国際疾病分類（International Classification of Disease: ICD、日本名「疾病、傷害及び死因統計分類提要」）のことであり、本報告書中の部位名は、ICD-10 の分類で示したものである。

15) 国際疾病分類－腫瘍学第3版（ICD-O-3）

国際疾病分類－腫瘍学（International Classification of Disease for Oncology）は、国際疾病分類を基にして、腫瘍の局在分類に組織型を示すための補助分類として作成されたものである。現在用いられている第3版は2000年に刊行されたものであり、腫瘍の局在と形態の両方に対する分類とコード化が体系づけられるようになっている。

Ⅱ 平成24年（2012）の結果

1. がん死亡

（1）部位別がん死亡数

平成24年（2012）のがん死亡数は8,214人（男性4,907人、女性3,307人）であった。部位別に死亡数をみると、男では肺がんが最も多く、次いで胃がん、肝および肝内胆管がんの順が多かった。女では肺がん、胃がん、肝および肝内胆管がんの順が多かった。（図1-1、表9参照）なお、図1-1には主要な部位の死亡数を示し、その他の部位については付表2（59ページ）に記載している。

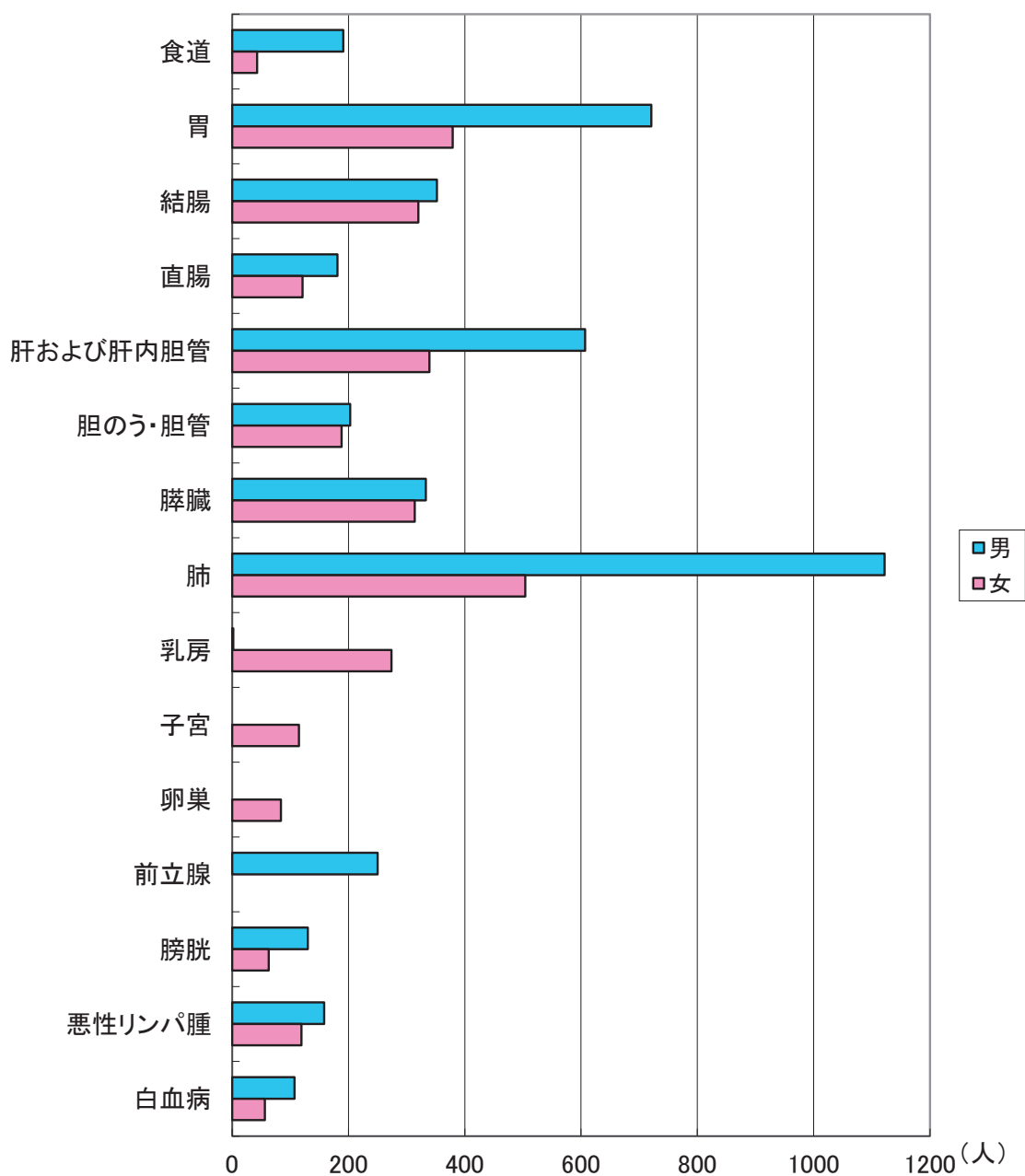


図1-1 部位別がん死亡数

(2) 全国との比較

全国を基準とする標準化死亡比は全部位で、男が1.00、女が0.96であった。部位別にみると、男女とも肝および肝内胆管がんの標準化死亡比が有意に高かった。また男では食道がん、直腸がん、女では結腸がん、胆のう・胆管がん、子宮がん、卵巣がん、白血病で有意に低かった。(図1-2、付表4-C1参照)

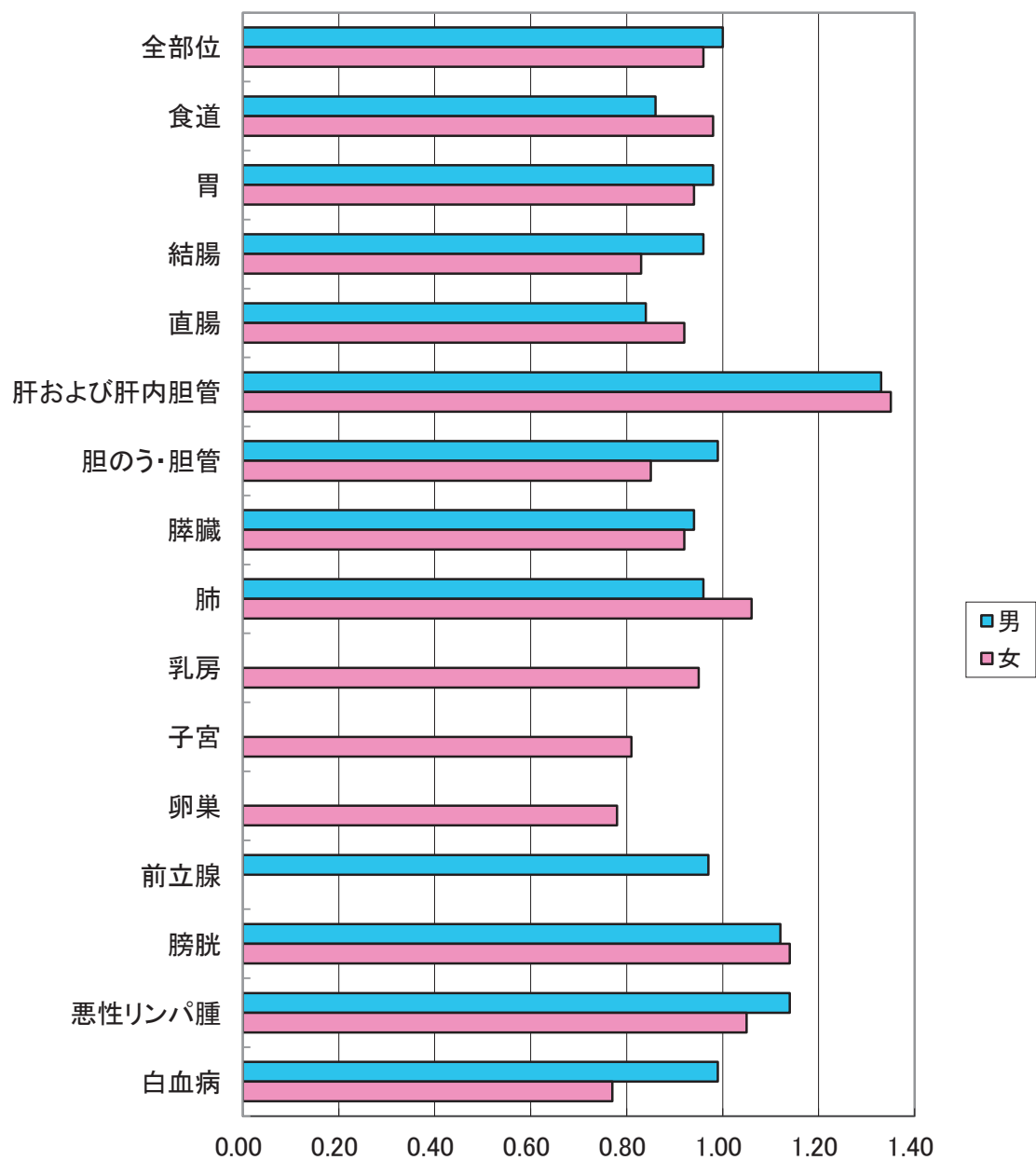
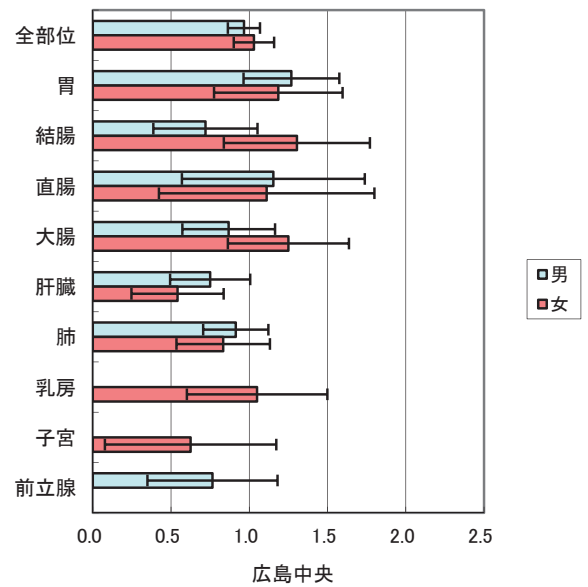
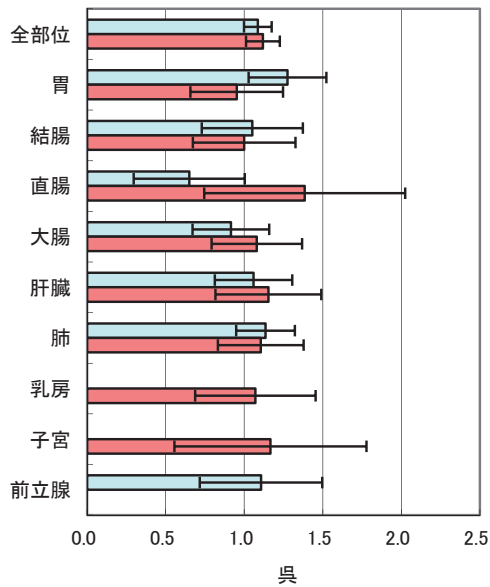
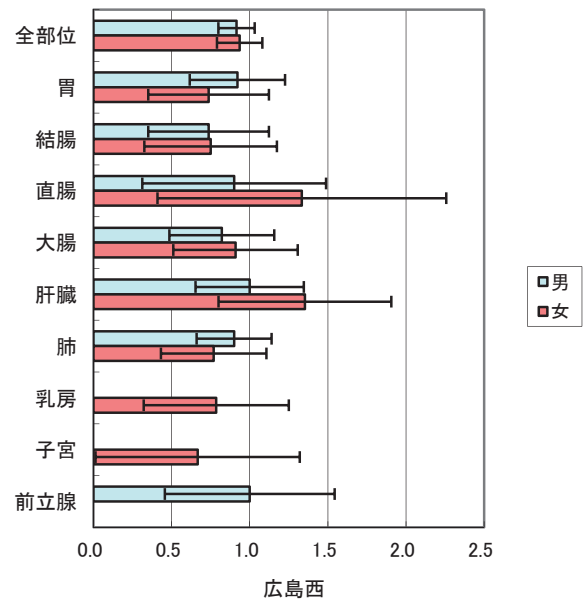
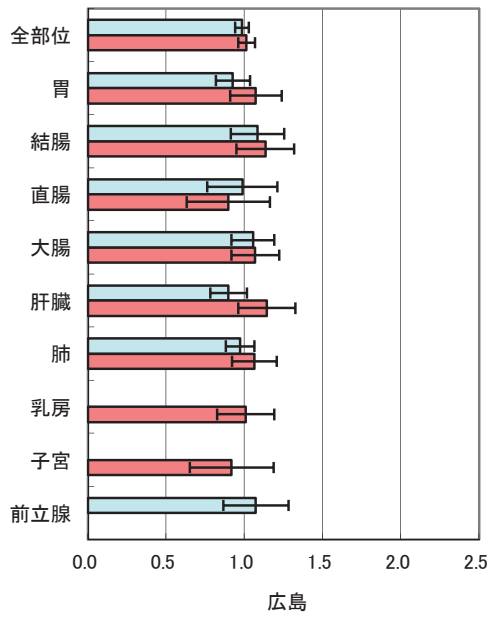


図1-2 部位別標準化死亡比 (全国を基準)

(3) 二次保健医療圏別の標準化死亡比

広島県を基準として二次保健医療圏別の標準化死亡比を見ると、全部位については男では有意な差がある圏域はなかった。また女では呉圏域が1.12と高かった*。(図1-3、付表4-C2参照)

*標準化死亡比は95%信頼区間が1を挟んでいる場合は、1と差がないとみなす。



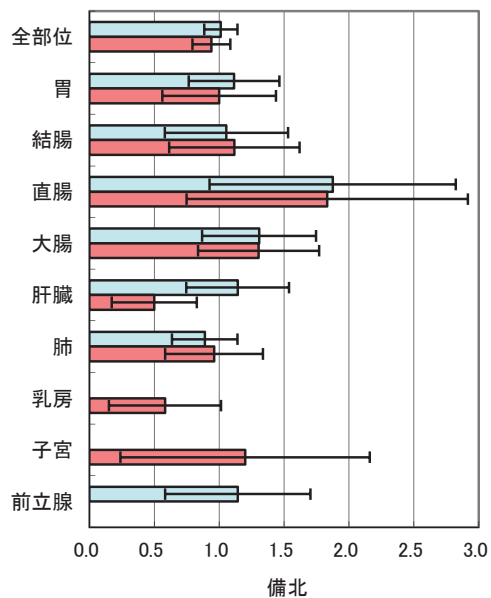
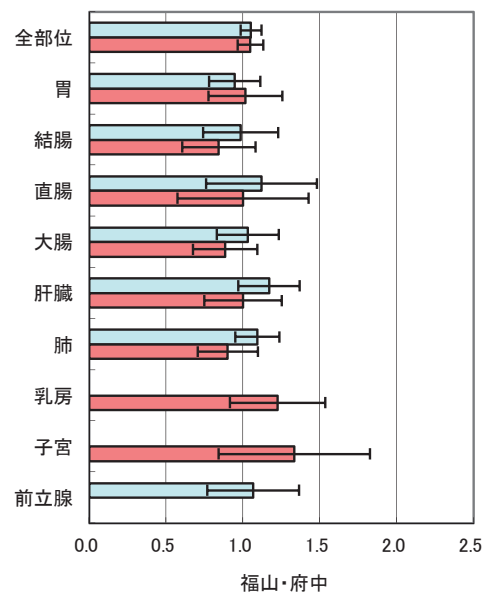
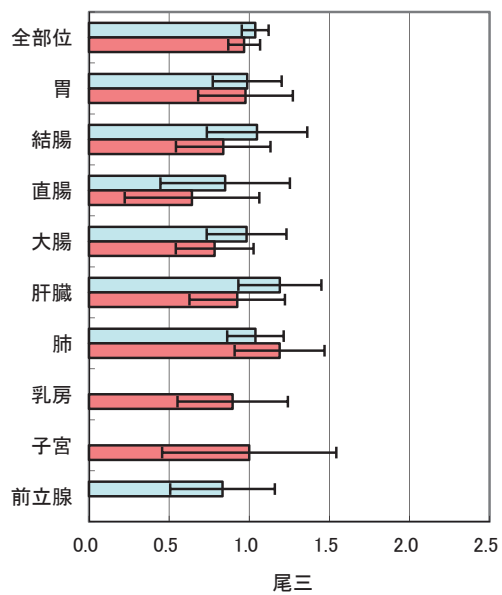


図1-3 二次保健医療圏別標準化死亡比（広島県を基準）

2. がん罹患

(1) 登録精度（上皮内がんを除く）

DCN*¹割合は全部位で6.6%（上皮内がんを含むと5.8%）であった。昨年度は6.7%（上皮内がんを含むと5.9%）であり、登録の完全性の精度が若干向上している。部位別にみると、DCN割合は、予後不良の部位において高く、肝および肝内胆管がんで16.5%、膵臓がんで14.4%、白血病で14.2%であった。DCO*²割合は全部位で2.6%（上皮内がんを含むと2.3%）であった。2012年死亡者の遡り調査では、対象医療機関を例年よりも拡大したため、昨年度の4.1%（上皮内がんを含むと3.6%）よりも向上した。（図2-1、表8-A、B参照）

*¹DCN（death certificate notification）：死亡票で初めて登録されたがん（7ページ参照）

*²DCO（death certification only）：死亡票のみで登録されたがん（7ページ参照）

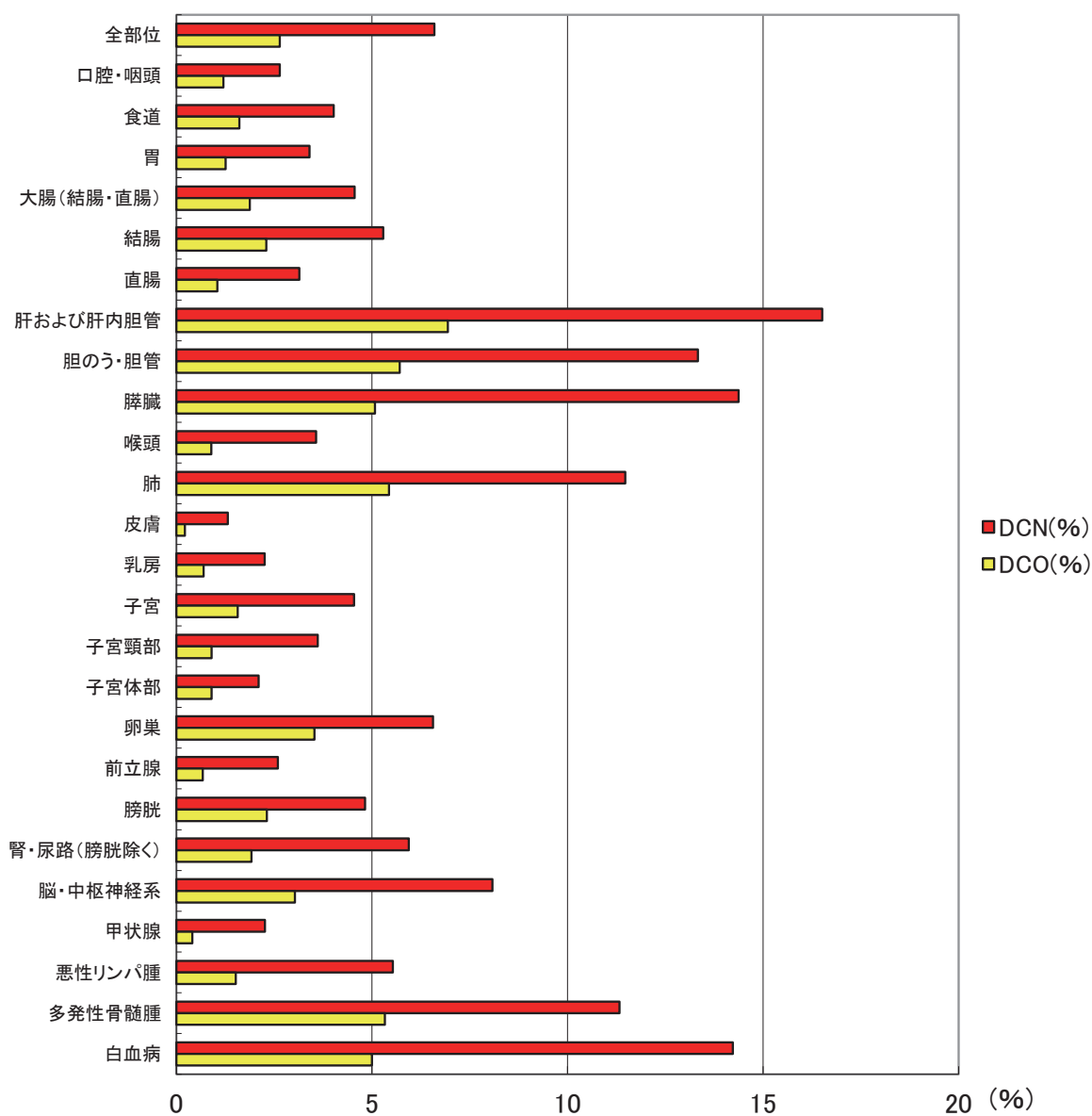


図2-1 部位別 DCN 割合・DCO 割合

注)「子宮」は頸部、体部、および部位不明を含む。

IM比*3は全部位で2.52（上皮内がんを含むと2.89）であった。昨年は2.53（上皮内がんを含むと2.88）であり、近年2.5前後で安定している。皮膚がん、甲状腺がん、子宮体がん、前立腺がん、乳がんなど比較的予後が良好な部位においてIM比が高かった。（図2-2、表8-A、B参照）

広島県地域がん登録は、国立がん研究センターの研究班による地域がん登録の精度基準のA基準である「DCO割合が10%未満、かつDCN割合が20%未満、かつIM比が2.0以上」を達成している。

*3IM比（incidence/mortality ratio）：がんの罹患数と死亡数の比（7ページ参照）

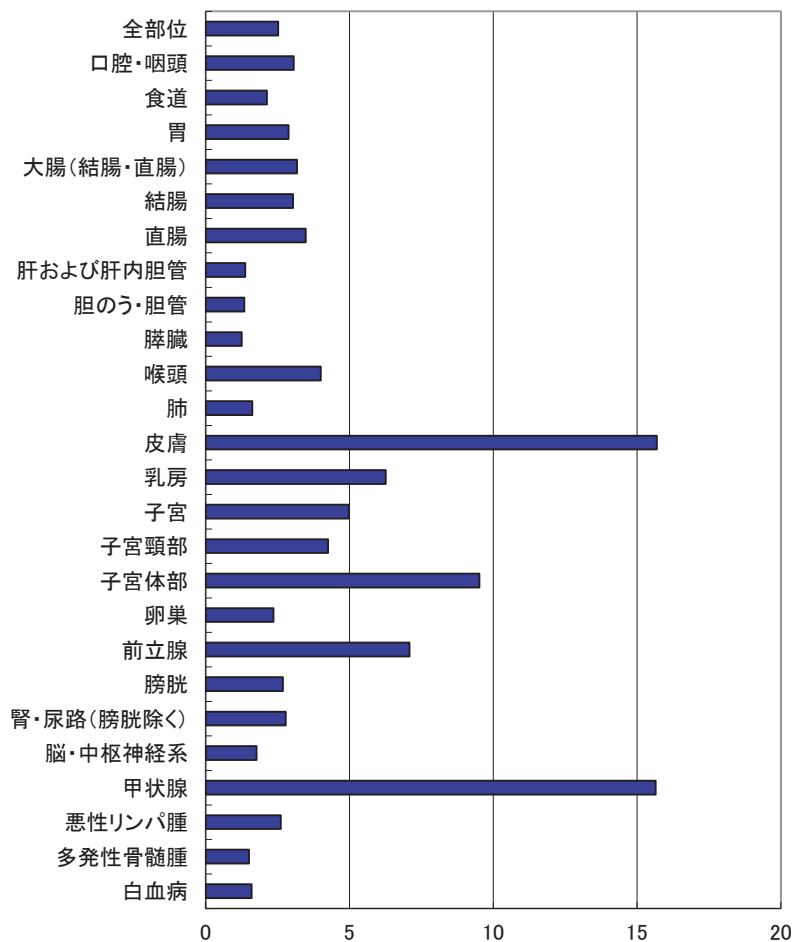


図2-2 部位別IM比

注)「子宮」は頸部、体部、および部位不明の子宮を含む。

罹患数における資料源をみると臨床登録からの届出情報が83.7%と最も多く、次いで病理登録からの届出情報が74.0%であった。

表D 広島県地域がん登録罹患数における資料源ごとの数および割合（上皮内がんを除く）

罹患数	広島県地域がん登録情報 (臨床登録)	広島県腫瘍登録情報 (病理登録)	広島市地域がん登録情報 (採録情報)	死亡情報で初めて把握された症例 (DCN)	死亡情報のみの症例 (DCO)
20,697	17,317	15,326	1,405	1,366	547
	83.7%	74.0%	6.8%	6.6%	2.6%

(2) 部位別がん罹患数および罹患割合

平成24年(2012)のがん罹患数は20,697件(上皮内がんを含むと23,680件)であった。男では11,994件(上皮内がんを含むと13,549件)、女では8,703件(上皮内がんを含むと10,131件)であった。また、がんの年齢調整罹患率(昭和60年日本人口で調整、人口10万対)は男473.7(上皮内がんを含むと538.6)、女316.8(上皮内がんを含むと395.3)であった。

がん罹患数を部位別にみると、男では胃がんが最も多く、次いで前立腺がん、肺がんの順に多かった。女では乳がんが最も多く、次いで胃がん、結腸がんの順に多かった。(図2-3、図2-4、図2-5、表1-A、B参照)なお、図2-4には主要な部位の上皮内がんを含む罹患数を示し、その他の部位については付表1(58ページ)に記載している。

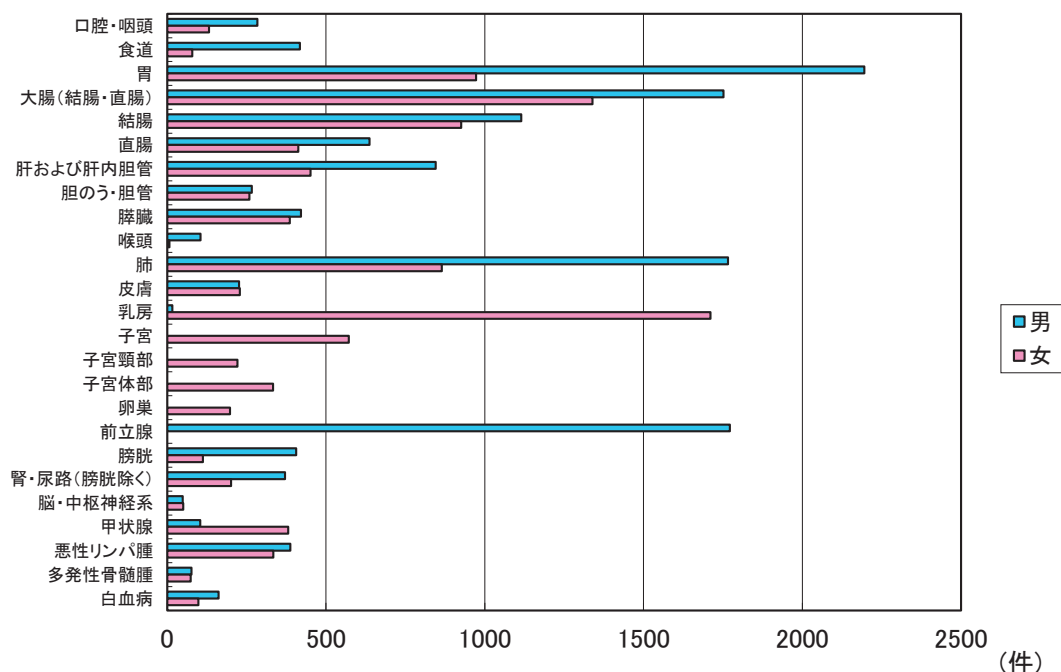


図2-3 部位別がん罹患数(上皮内がんを除く)

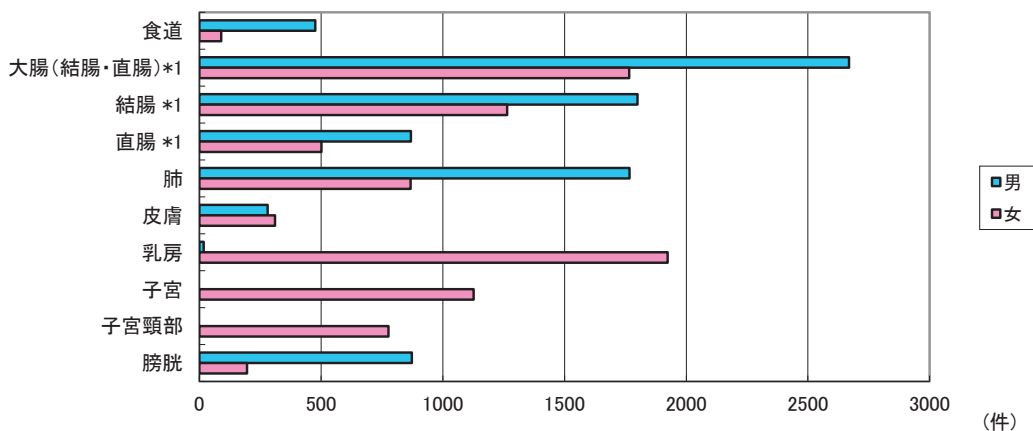


図2-4 部位別がん罹患数(上皮内がんを含む)
*1) 粘膜がんを含む。詳しくは16ページの注参照。
注) 子宮は、頸部、体部、および部位不明を含む。

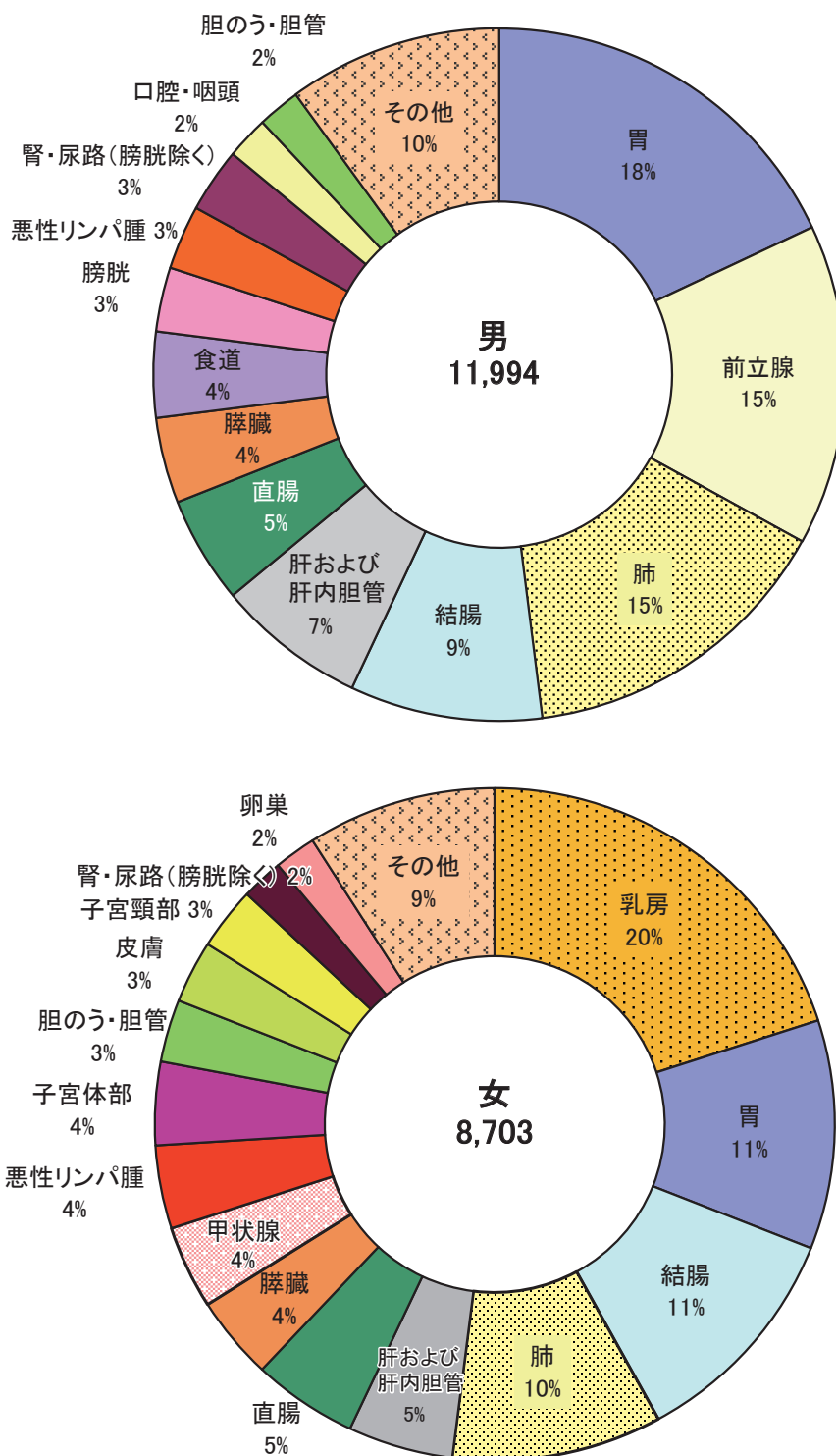


図 2-5 部位別がん罹患割合（上皮内がんを除く）

注) TNM 分類で Tis と表記される「上皮内癌」は ICD-O-3 の性状コード「/2 上皮内；非浸潤」のものを指し、「癌」が上皮内に限局し、粘膜固有層に浸潤していないものを指す。ただし、大腸（結腸・直腸）癌では例外的に、「癌」が粘膜固有層までにとどまるもの、すなわち「粘膜内癌（地域がん登録における「粘膜がん」）を浸潤の有無を問わず「上皮内癌」（Tis、性状コード /2）とする。地域がん登録データでは Tis を病巣の拡がりにおける「上皮内がん」とする。一方、性状コード「/3 悪性、原発」のもの（例えば胃の粘膜内癌）は「限局」以上の拡がりとする。なお、子宮頸部の CIN Ⅲ（Cervical intraepithelial neoplasia, grade Ⅲ）は性状コード「/2」として「上皮内がん」に分類する。

(3) 年齢階級別がん罹患率

全部位について性別年齢階級別にごん罹患率をみると、15～19歳を除き、54歳までの年齢階級では男より女の罹患率が高い。これらは乳がん、子宮がん、卵巣がん、甲状腺がんの影響である。それ以上の年齢階級では女より男の罹患率が約2倍高かった。(図2-6、表3-A、B参照)

多くの部位では、40歳ごろから罹患率が高くなっているが、乳がん、子宮がん、卵巣がん、甲状腺がんでは20歳代から罹患率が高くなってきている。子宮頸がんは上皮内がんを含めると20歳から罹患率が高くなってきており、特に20～40歳代では上皮内がんの割合が多い。脳・中枢神経系のがん、白血病は15歳未満の子供や、15～40歳の若年層でも一定の罹患率が観察されている。

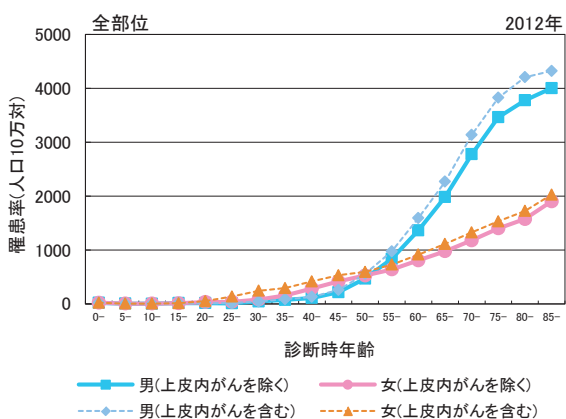


図2-6 a 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 全部位

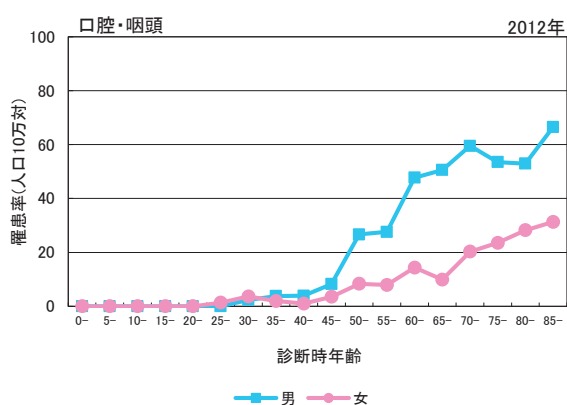


図2-6 b 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 口腔・咽頭

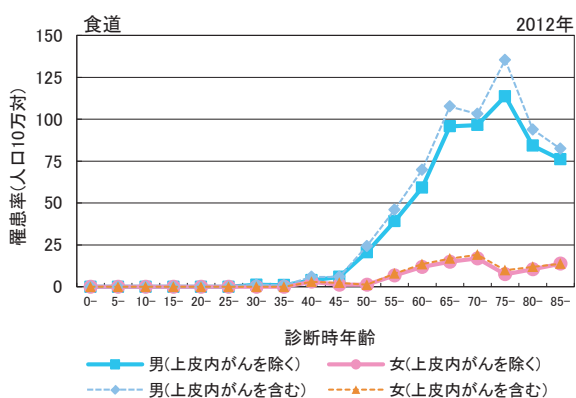


図2-6 c 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 食道

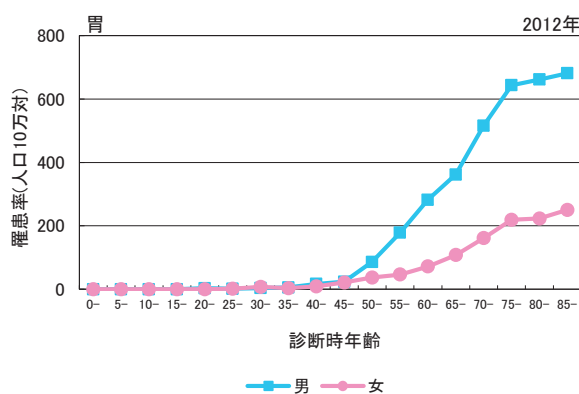


図2-6 d 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 胃

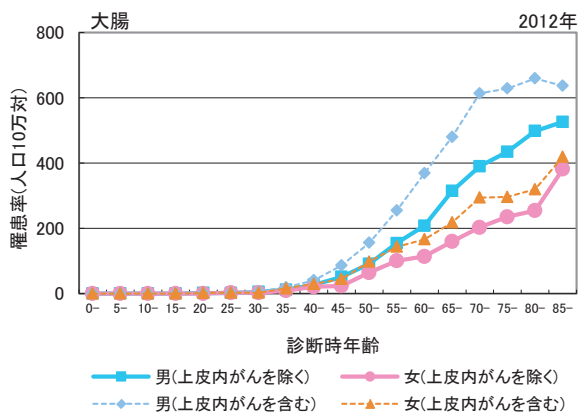


図 2-6 e 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 大腸

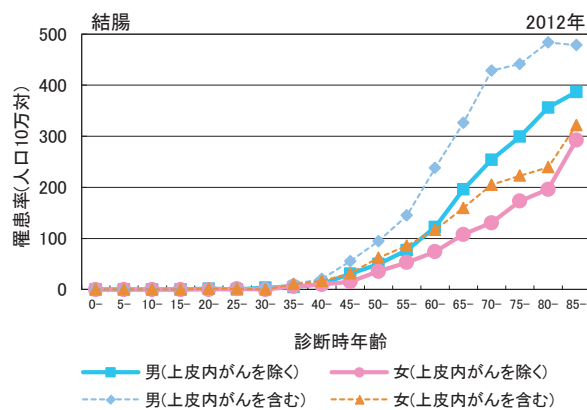


図 2-6 f 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 結腸

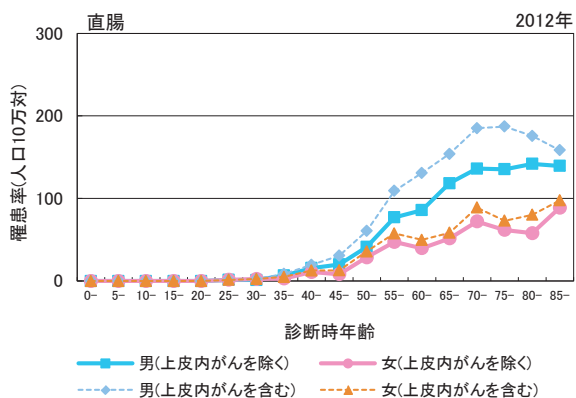


図 2-6 g 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 直腸

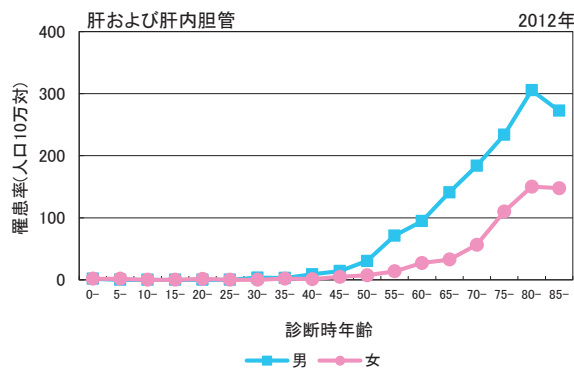


図 2-6 h 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 肝および肝内胆管

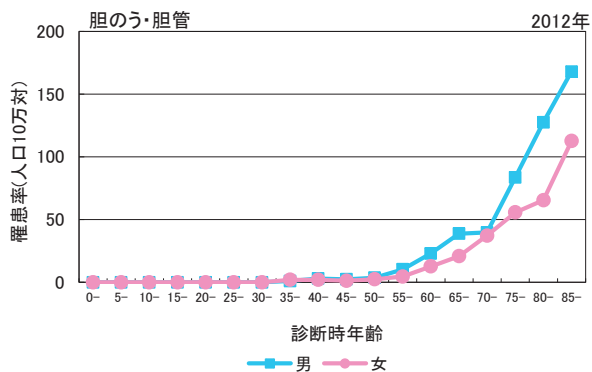


図 2-6 i 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 胆のう・胆管

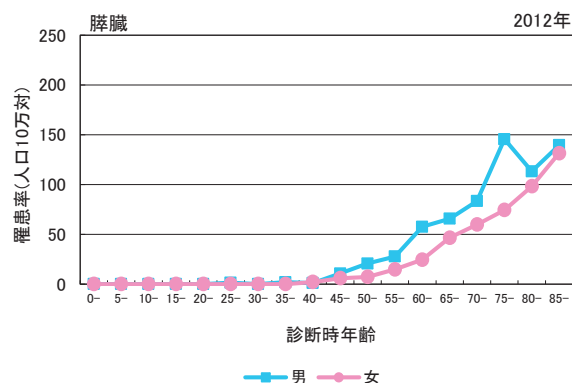


図 2-6 j 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 膵臓

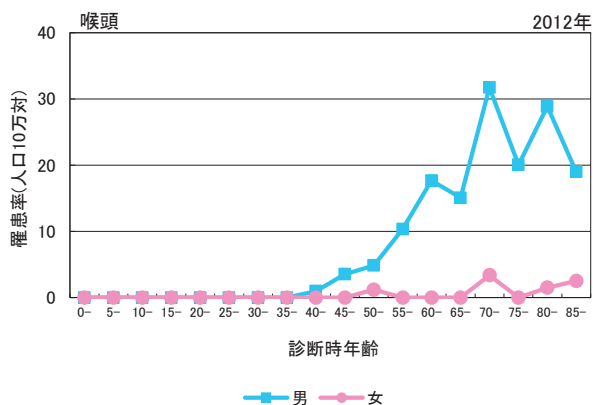


図 2-6 k 年齢階級別罹患率 (人口10万対);
喉頭

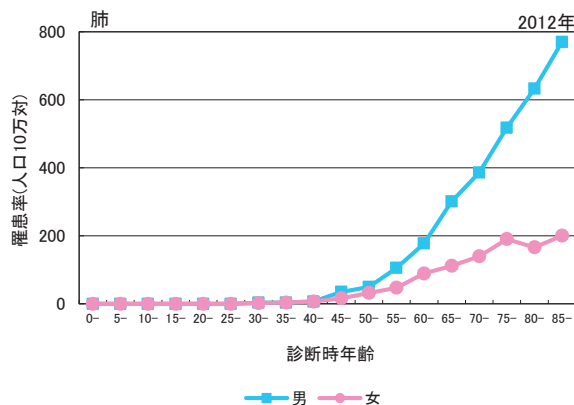


図 2-6 l 年齢階級別罹患率 (人口10万対);
肺

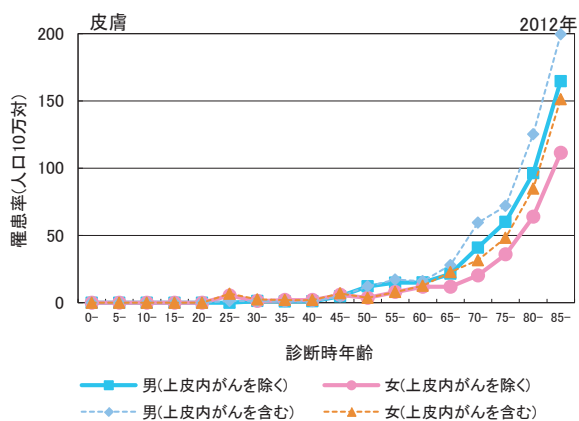


図 2-6 m 年齢階級別罹患率 (人口10万対);
皮膚

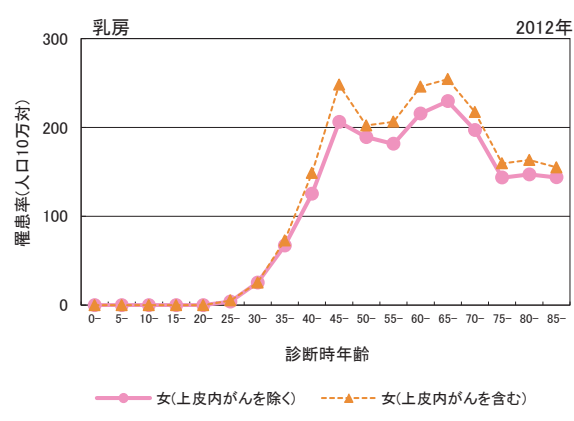


図 2-6 n 年齢階級別罹患率 (人口10万対);
乳房

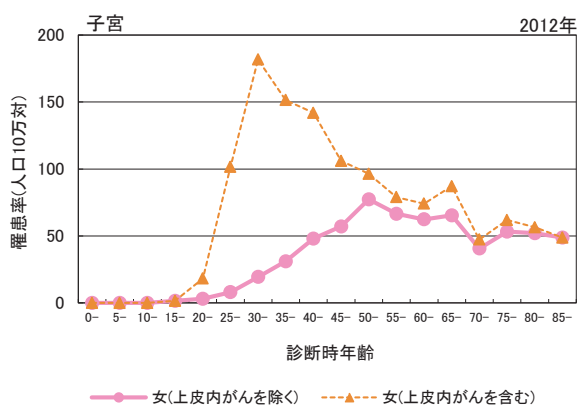


図 2-6 o 年齢階級別罹患率 (人口10万対);
子宮

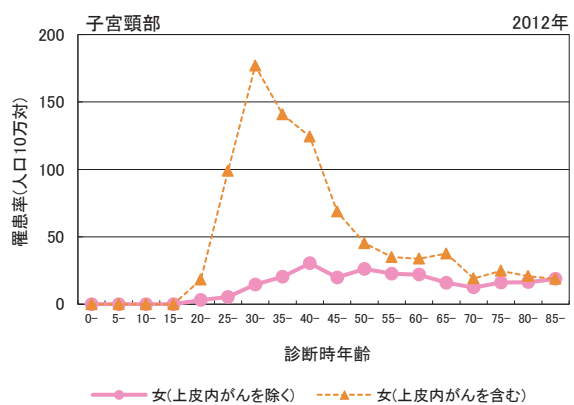


図 2-6 p 年齢階級別罹患率 (人口10万対);
子宮頸部

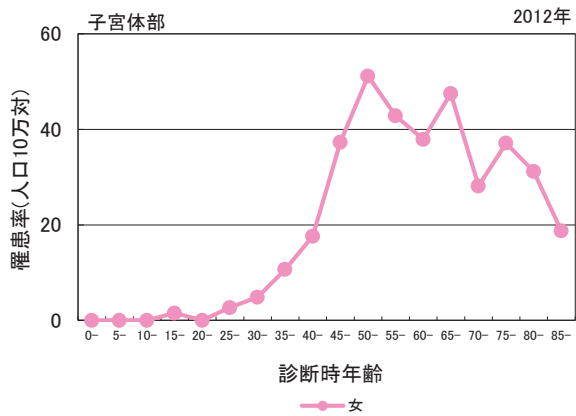


図2-6 q 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 子宮体部

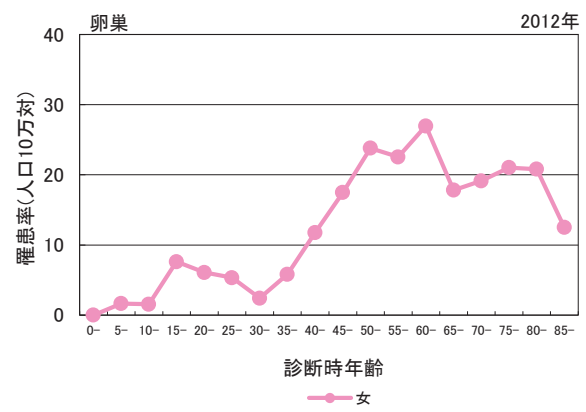


図2-6 r 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 卵巣

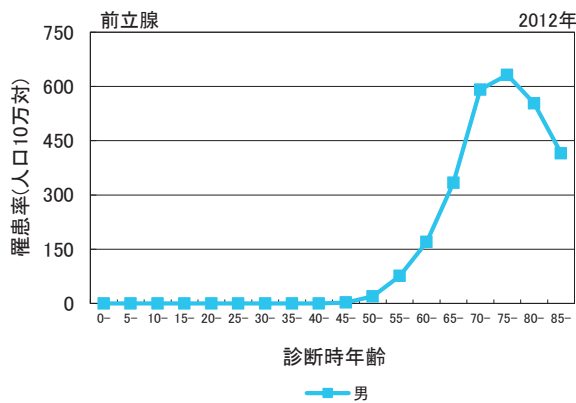


図2-6 s 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 前立腺

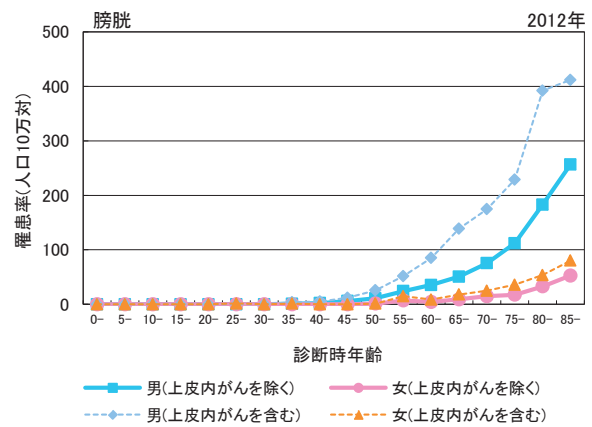


図2-6 t 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 膀胱

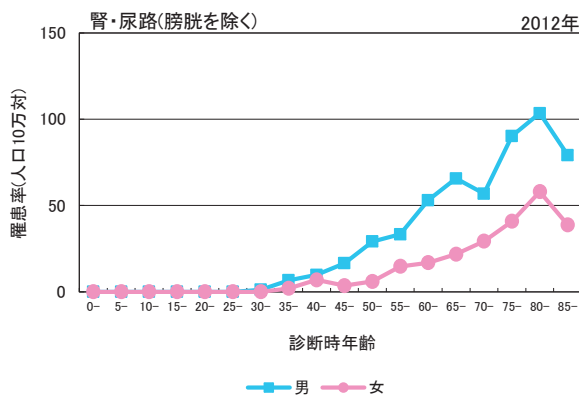


図2-6 u 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 腎・尿路 (膀胱を除く)

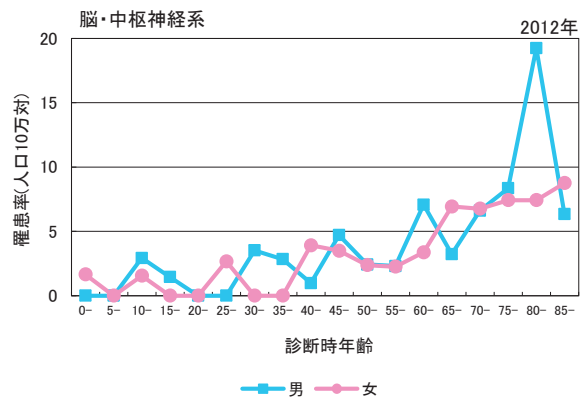


図2-6 v 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 脳・中枢神経系

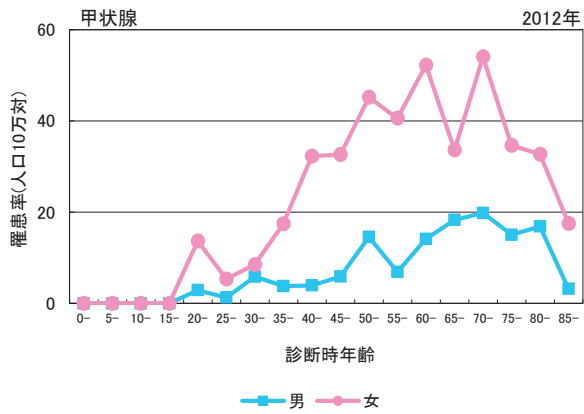


図 2-6 w 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 甲状腺

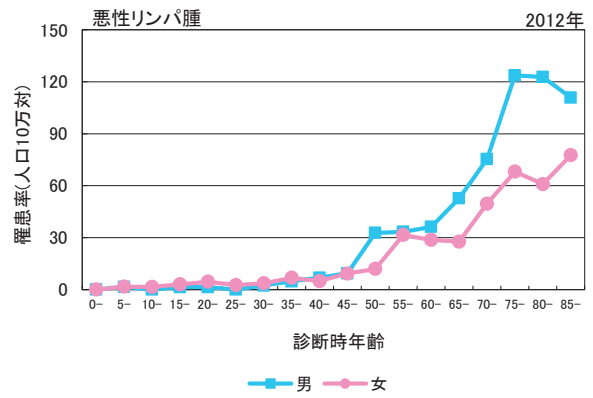


図 2-6 x 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 悪性リンパ腫

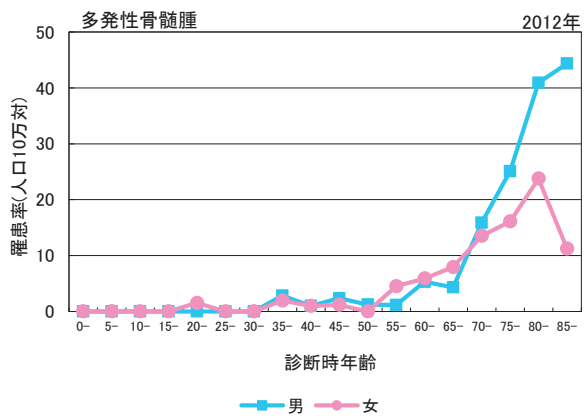


図 2-6 y 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 多発性骨髄腫

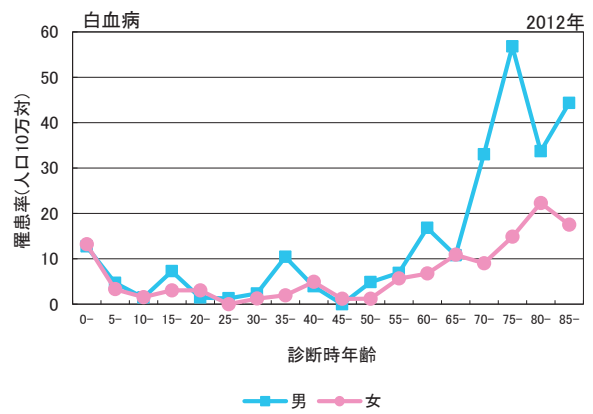


図 2-6 z 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 白血病

(4) 発見経緯

DCO*¹を除いて、部位別にかんと診断されるに至った発見経緯をみると、その他・不明が58.5%と最も多いが、これは自覚症状ありで受診したものを含んでいるためである。乳がん、子宮頸がんががん検診発見の割合が高く、甲状腺がんや前立腺がんは健診・人間ドックでの発見割合が高かった。肝および肝内胆管がんでは61.9%が他疾患経過観察中に発見されている。(図2-7、表4-A、B参照)

*¹DCO (death certification only)：死亡票のみで登録されたがん(7ページ参照)

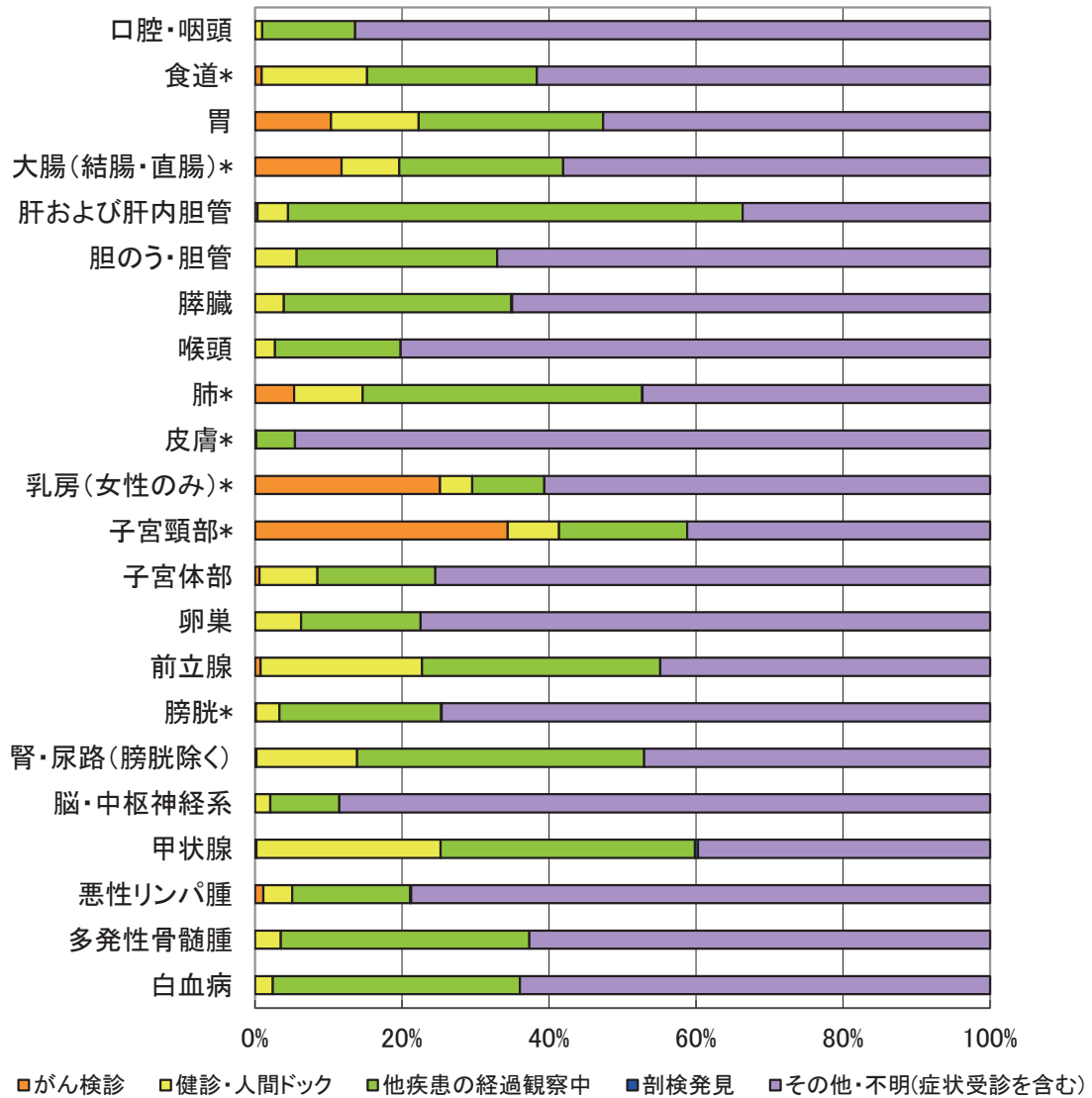


図2-7 部位別発見経緯 (DCOを除く)

* 上皮内がんを含む(16ページの注参照)。

(5) 臨床進行度

臨床進行度は、DCO*¹を除く全部位（上皮内がんを含む）で、上皮内がんが12.9%、限局40.5%、所属リンパ節転移7.5%、隣接臓器浸潤12.2%、遠隔転移14.9%、不明が12.0%であった。部位別に臨床進行度をみると、子宮頸がんは71.6%が上皮内がんであり、膀胱の上皮内がんや結腸の粘膜内がんも割合が高かった。また、喉頭がん、皮膚がんでは限局割合が高く、膵臓がんや悪性リンパ腫、肺がんでは遠隔転移割合が高かった。（図2-8、表5-A、B参照）

*¹DCO (death certification only)：死亡票のみで登録されたがん（7ページ参照）

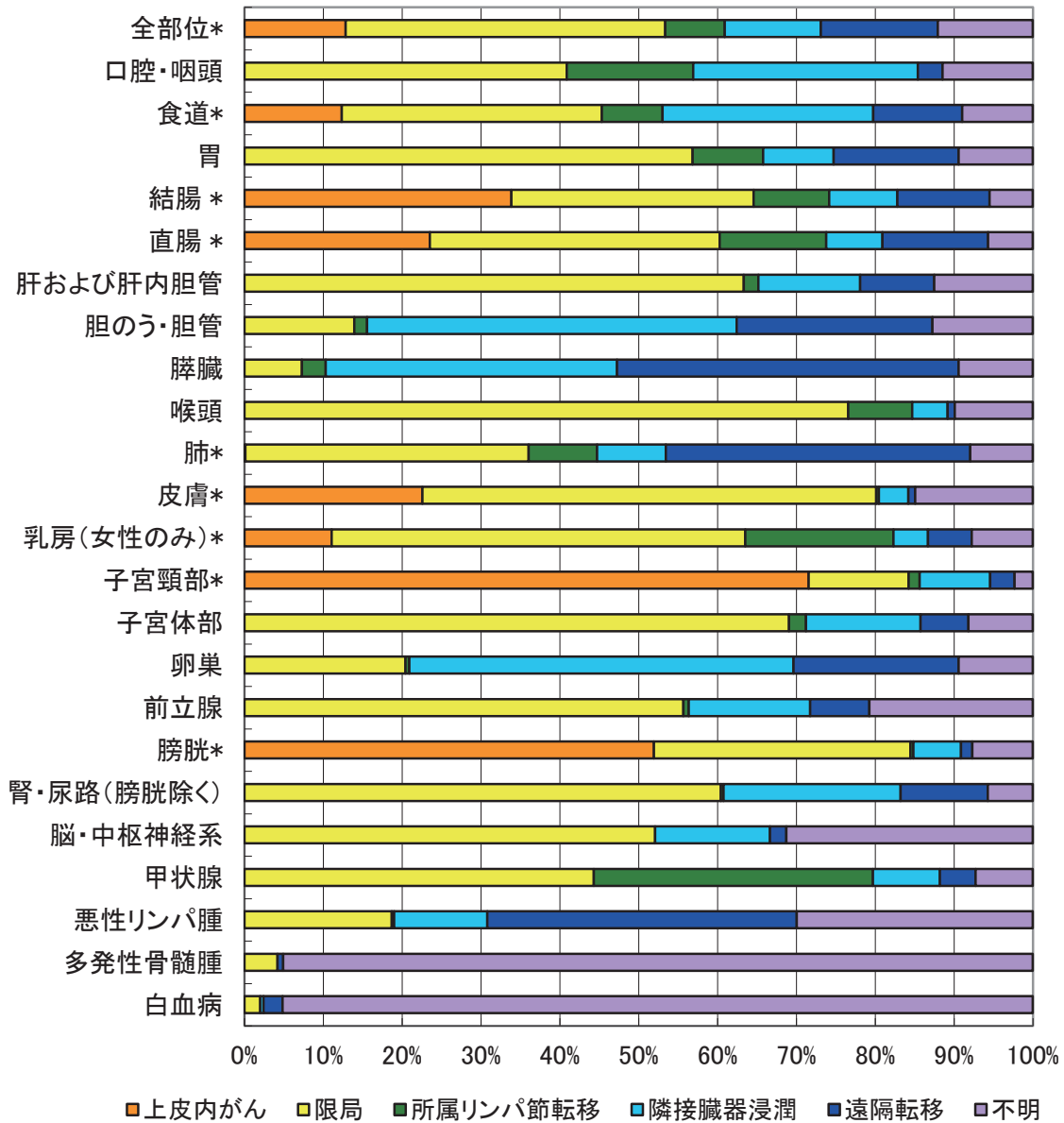


図2-8 部位別臨床進行度（対象はDCOを除く）

*上皮内がんを含む（16ページの注参照）。白血病の臨床進行度は、標準的な方法として空欄とすることが推奨されているが、成人T細胞性リンパ腫が本報告では白血病に分類されているため、臨床進行度が与えられているものがある。

(6) 受療割合

初回治療の方法について、「外科・体腔鏡・内視鏡的治療」、「放射線療法」、「化学・免疫・内分泌療法」、「特異療法なしまたは治療方法不明」に分けて、受けた治療の割合を求めた。部位別にみると、子宮体がん、甲状腺がん、直腸がん、結腸がん、乳がんで「外科・体腔鏡・内視鏡的治療」の割合が高く、喉頭がんや脳・中枢神経系のがん、口腔・咽頭がん「放射線療法」の割合が高かった。また白血病、乳がん、卵巣がん「化学・免疫・内分泌療法」の割合が高かった。(図2-9、表6-A、B参照)

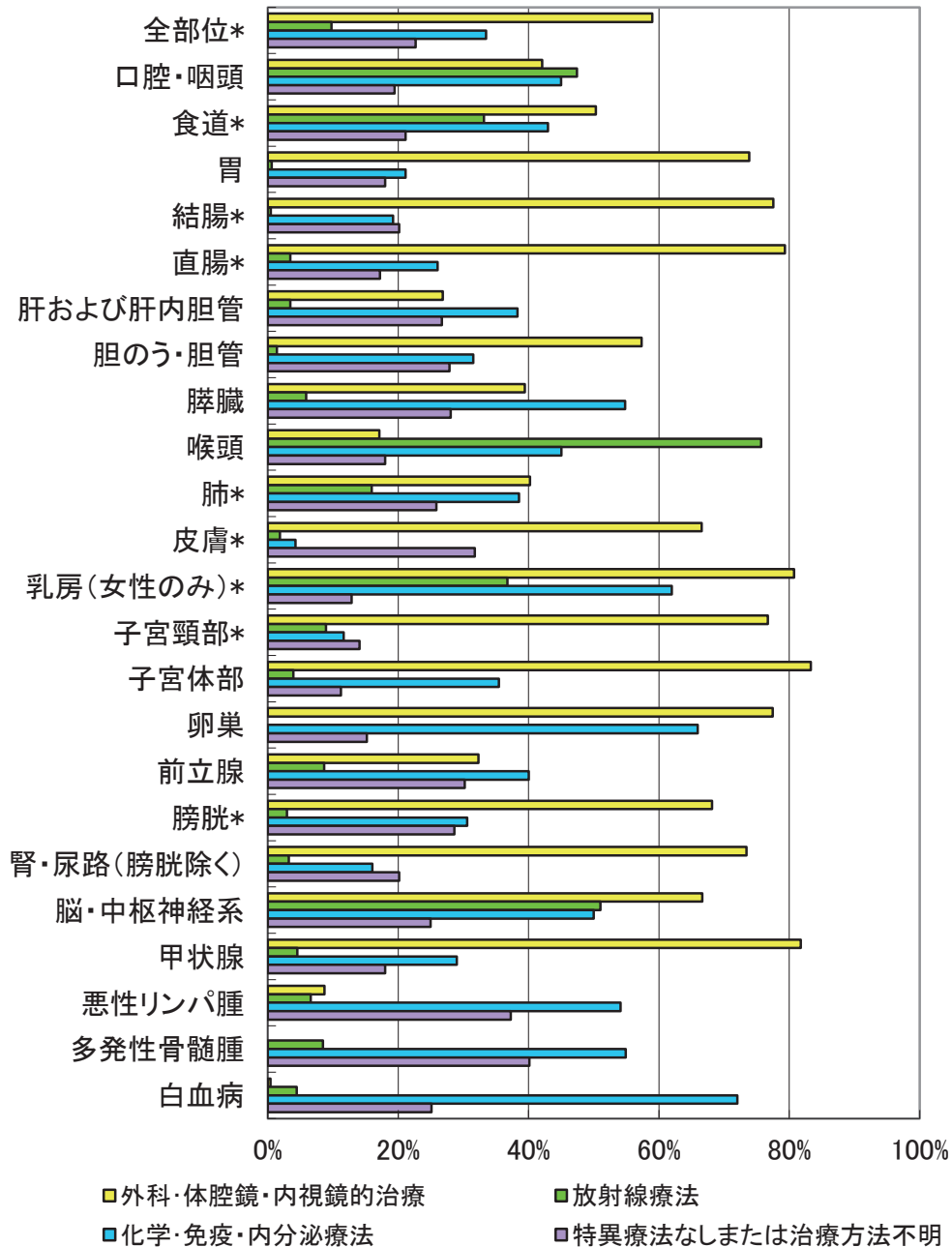


図2-9 部位別受療割合

* 上皮内がんを含む (16ページの注参照)。

(7) 二次保健医療圏別の登録精度（上皮内がんを除く）

二次保健医療圏別の登録精度を見ると、いずれの医療圏でも罹患数に対する届出票の割合は74.1%～91.8%で、全圏域で74%以上である。広島県腫瘍登録からの病理登録情報は、福山・府中圏域、広島中央圏域で低かったが、それでも病理登録情報をもつ割合は60%以上と確実に病理登録精度が良くなっている。また、DCN*¹割合は、福山・府中圏域では10%を超えていたが、呉圏域、広島西圏域、広島圏域で5%未満と低く完全性の精度は良かった。DCO*²割合はすべての圏域で5%未満と精度が良好であった。いずれの圏域も地域がん登録の精度基準のA*³基準であるDCN割合およびDCO割合の、「DCN20%未満かつDCO10%未満」を達成している。

*¹DCN (death certificate notification)：死亡票で初めて登録されたがん（7ページ参照）

*²DCO (death certification only)：死亡票のみで登録されたがん（7ページ参照）

*³A基準：DCO割合が10%未満、かつDCN割合が20%未満、かつIM比が2.0以上（7ページ参照）

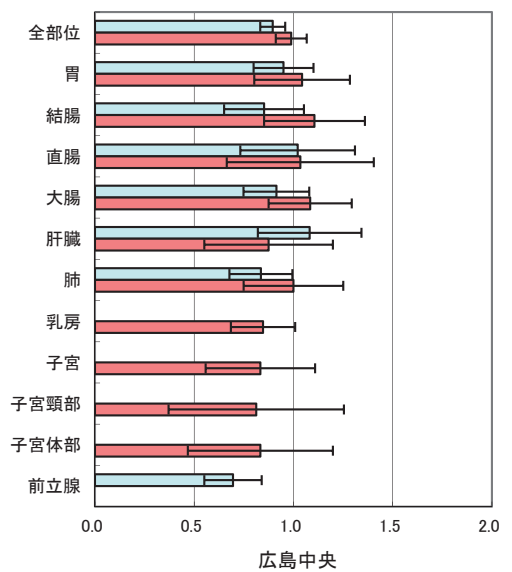
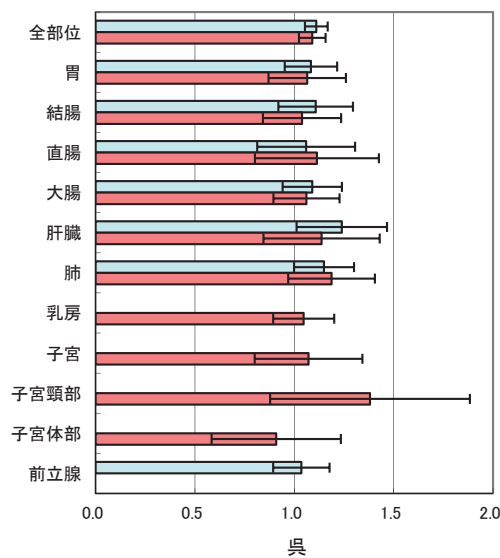
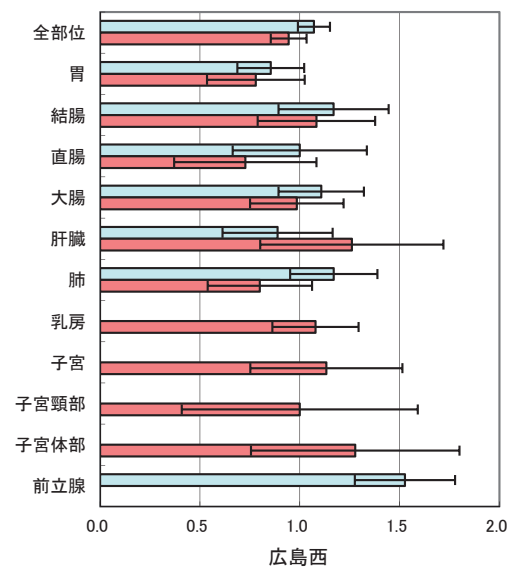
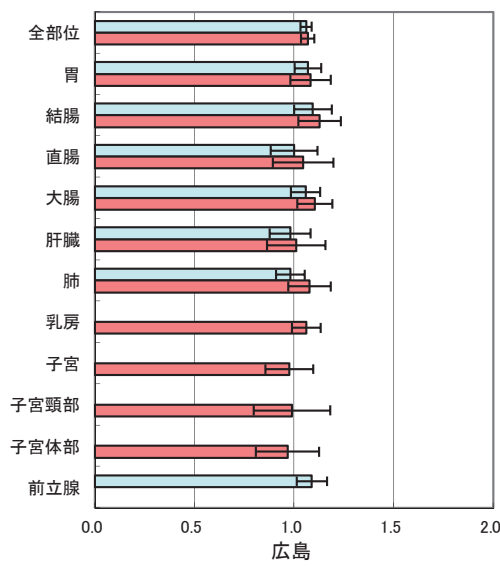
表E 二次保健医療圏別の罹患数に対する資料源の数および割合と登録精度（上皮内がんを除く）
(2012年)

医療圏 (保健所)	罹患数	広島県地域 がん登録情報 (届出情報)		広島県腫瘍 登録情報 (病理登録情報)		広島市地域 がん登録情報 (採録情報)		死亡情報で初めて 把握された症例 (DCN)		死亡情報のみの 症例 (DCO)	
広島県	20,697	17,317	83.7%	15,326	74.0%	1,405	6.8%	1,366	6.6%	547	2.6%
広島	9,319	7,908	84.9%	7,288	78.2%	1,404	15.1%	446	4.8%	186	2.0%
広島西	1,104	978	88.6%	863	78.2%	0	0.0%	45	4.1%	21	1.9%
呉	2,461	2,260	91.8%	1,845	75.0%	1*	0.0%	90	3.7%	49	2.0%
広島中央	1,399	1,239	88.6%	978	69.9%	0	0.0%	100	7.1%	36	2.6%
尾三	2,117	1,726	81.5%	1,488	70.3%	0	0.0%	196	9.3%	68	3.2%
福山・府中	3,410	2,549	74.8%	2,162	63.4%	0	0.0%	419	12.3%	167	4.9%
備北	885	656	74.1%	700	79.1%	0	0.0%	70	7.9%	20	2.3%
不明	2	1	50.0%	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

*データ処理のアルゴリズム上、広島市外に居住する患者のがんが、例外的に広島市地域がん登録の症例として計上された

(8) 二次保健医療圏別の標準化罹患比（上皮内がんを除く）

二次保健医療圏別に広島県全域の罹患率を1として、標準化罹患比を見ると、全部位では男では呉圏域が1.11、広島圏域で1.06と高く、広島中央圏域と福山・府中圏域で0.90、尾三圏域で0.94と低かった。女では呉圏域で1.09、広島圏域で1.07と高く、福山・府中圏域で0.93と低かった。部位別に見ると、男では広島西圏域の前立腺で1.53、呉圏域の肝および肝内胆管で1.24、広島圏域の前立腺で1.09と高く、福山・府中圏域の前立腺で0.78、結腸で0.87、広島中央圏域の肺で0.84、尾三圏域の結腸で0.84と低かった。女では備北圏域の子宮体部で1.92、広島圏域の結腸で1.13、大腸で1.10と高く、備北圏域の肝および肝内胆管で0.65、福山・府中圏域の結腸で0.79、大腸で0.85と低かった。（図2-10、付表4-D参照）



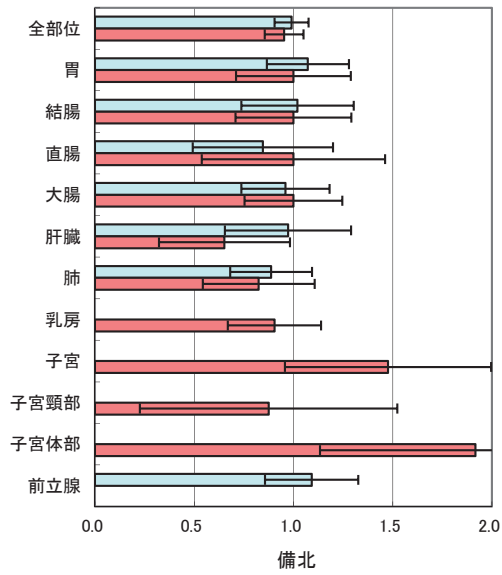
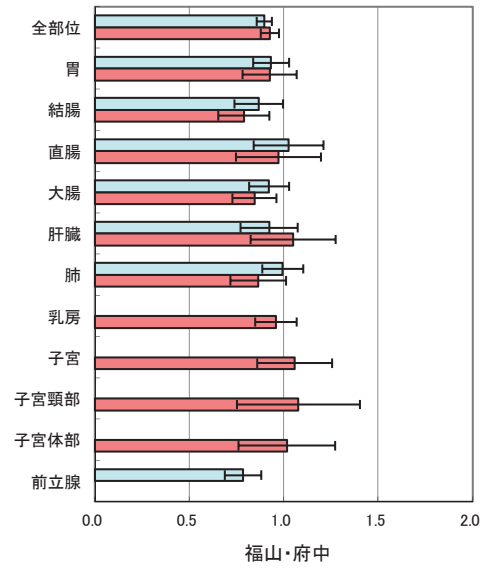
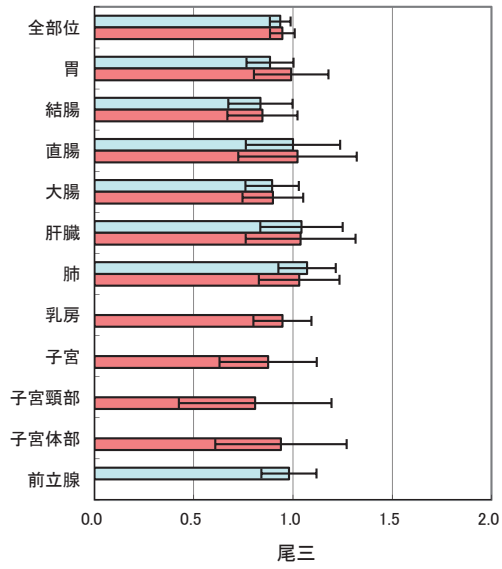


図 2-10 二次保健医療圏別の部位別標準化罹患比 (広島県の罹患率を基準とする)

3. 5年相対生存率（2008年診断）

2008年診断患者における、全がん5年相対生存率は66.1%であった。

部位別の5年相対生存率は、前立腺、甲状腺、皮膚、乳房が90%以上、子宮体部、小児がん、子宮（頸部、体部、および部位不明を含む）で80%以上と高かった。また、食道、肝および肝内胆管、多発性骨髄腫、白血病、脳・中枢神経系、肺、胆のう・胆管が30%台、膵臓が8.5%と低くなっていた。（図3-1、表12-A参照）

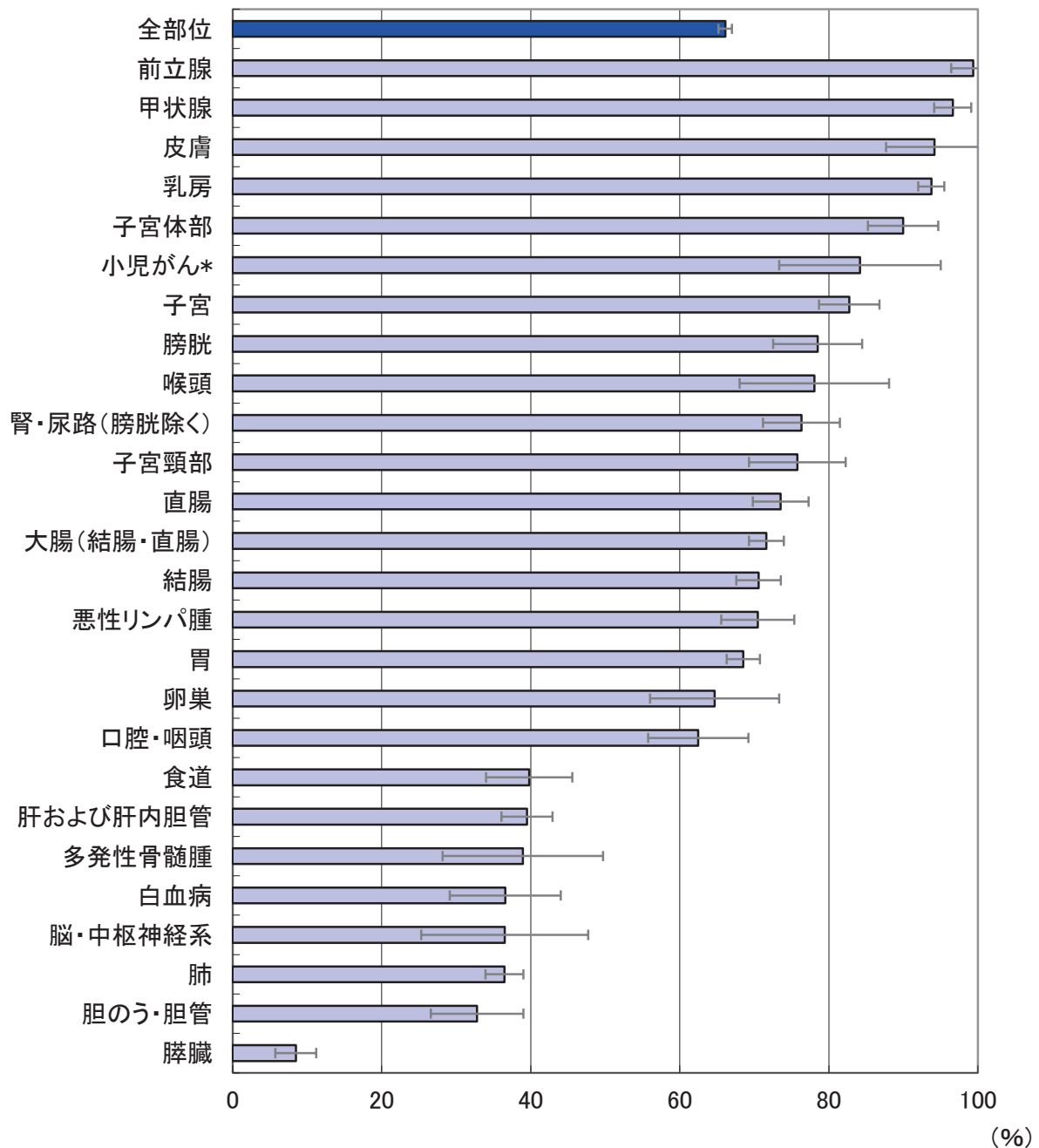


図3-1 部位別5年相対生存率

*小児がんは診断時年齢が0歳～14歳のものを対象としている

注) 子宮は、頸部、体部、および部位不明を含む。

臨床進行度別に見ると、全部位で「限局」群の5年相対生存率は93.0%、「領域」群で59.5%、「遠隔」群では13.8%であった。部位別に「限局」群の生存率を見ると、前立腺では100%であり、乳房、子宮体部、胃、結腸、子宮頸部、直腸においても90%以上と良好であった。肺においても「限局」群は88.4%と比較的良好であったが、肝および肝内胆管では55.3%と低かった。(図3-2、表12-B参照)

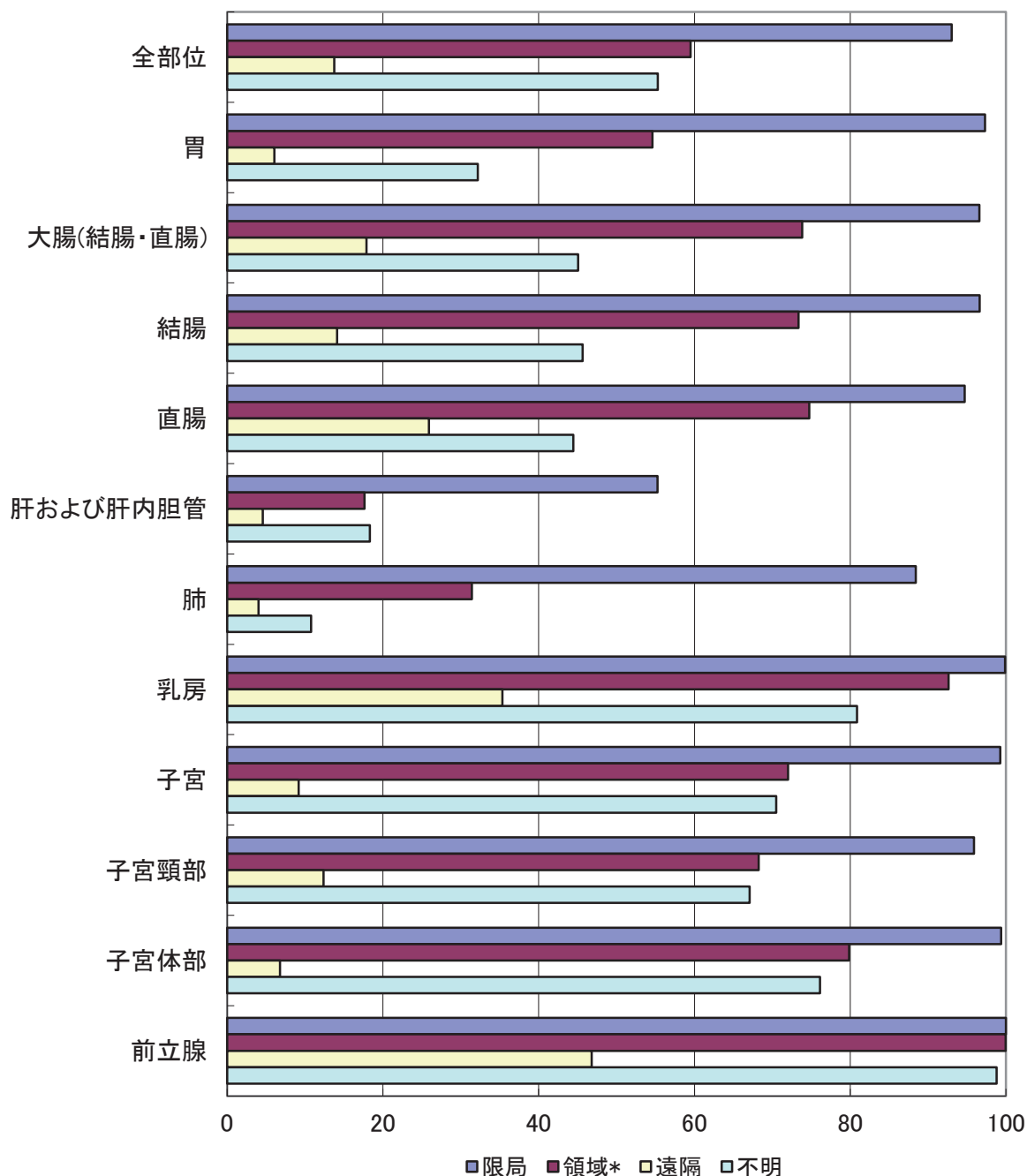


図3-2 部位別・臨床進行度別5年生存率
 *領域：所属リンパ節転移もしくは隣接臓器浸潤
 注) 子宮は、頸部、体部、および部位不明を含む。

4. 罹患（罹患数、年齢調整罹患率）と死亡（死亡数、年齢調整死亡率）の年次推移（2003年～2012年）

全がんにおける罹患数は男女ともに2011年まで増加傾向にあったが、2012年には若干減少している。死亡数は男性では増加傾向が見られ、女性では横ばいになってきている。年齢調整罹患率は男性では近年に若干の増加傾向、女性では一貫した増加傾向が見られたが、2012年には減少している。年齢調整死亡率は男性では減少傾向が見られるが、女性は若干減少しているものの男性に比べ緩やかである。（図4-1～図4-10、付表7-1～付表7-4参照）

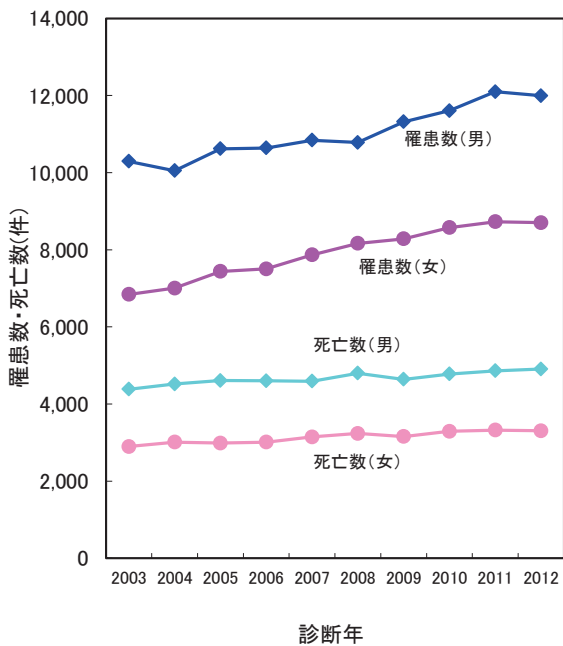


図4-1 罹患数・死亡数の年次推移

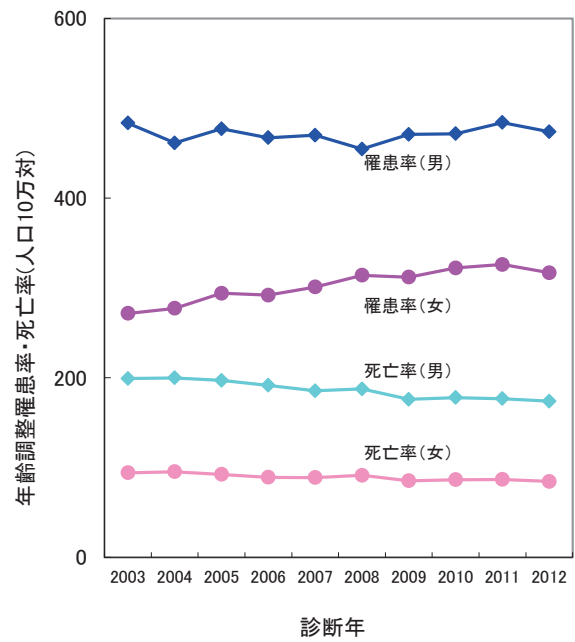


図4-2 年齢調整罹患率・死亡率の年次推移

罹患数の年次推移を部位別に見ると、男性では肺がんでゆるやかな増加傾向、前立腺がんで2009年から増加傾向が見られたが、2012年には減少している。肝および肝内胆管がんでは減少傾向が続いている。女性では乳がんの増加が著しい。大腸がん、子宮がんでは増加傾向が続いている。肺がん、甲状腺がんは増加傾向が見られたが、2012年には減少している。胃がん、肝および肝内胆管がんで減少傾向が見られる。

年齢調整罹患率は、男性では胃がん、肝および肝内胆管がんで減少していた。前立腺がんは2008年まで減少していたが、2009年から増加し、2012年には減少している。女性では胃がん、肝および肝内胆管がんで減少傾向が見られる。乳がんの増加は著しく、全部位での増加傾向に影響していたが、2010年から横ばいになってきている。甲状腺がんは増加傾向であったが、2012年には減少している。

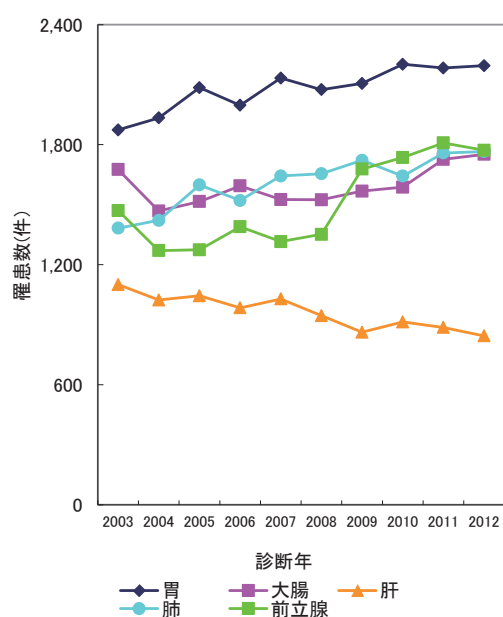


図 4-3 罹患数の年次推移 (男)

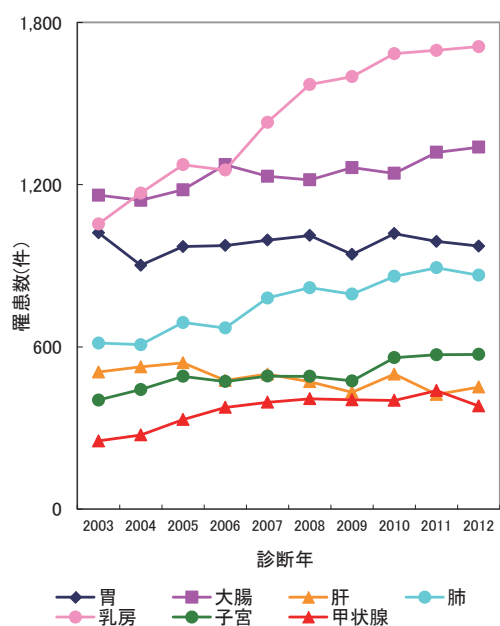


図 4-4 罹患数の年次推移 (女)

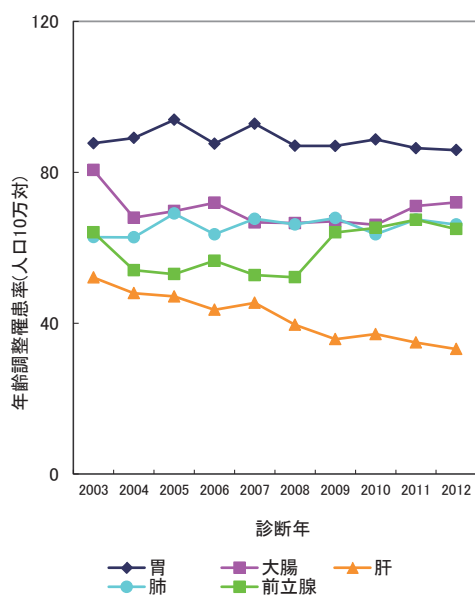


図 4-5 年齢調整罹患率の年次推移 (男)

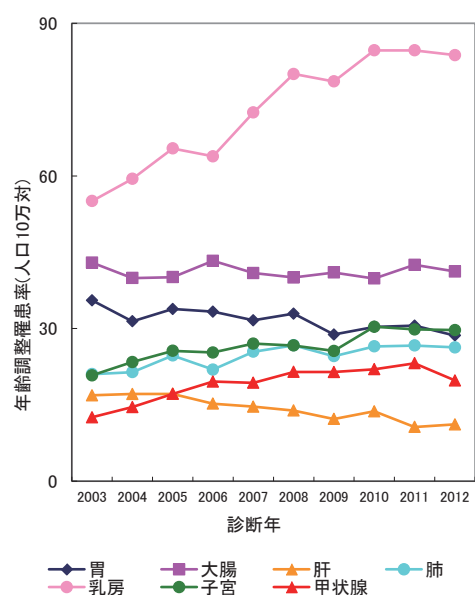


図 4-6 年齢調整罹患率の年次推移 (女)

死亡数は男女ともに肝および肝内胆管がんで2009年まで減少傾向が見られていたが、2010年に増加し、再び減少している。男女とも肺がん、大腸がん、膵臓がんは増加傾向にあり、女性では乳がんも増加傾向にある。

年齢調整死亡率では、男女ともに特に胃がん、肝および肝内胆管がんが減少しており、男性では2009年頃より肺がんも減少傾向が見られたが、近年は若干増加している。

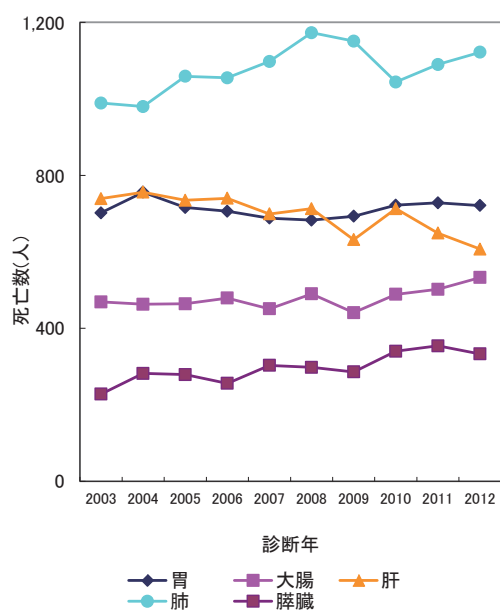


図 4-7 死亡数の年次推移 (男)

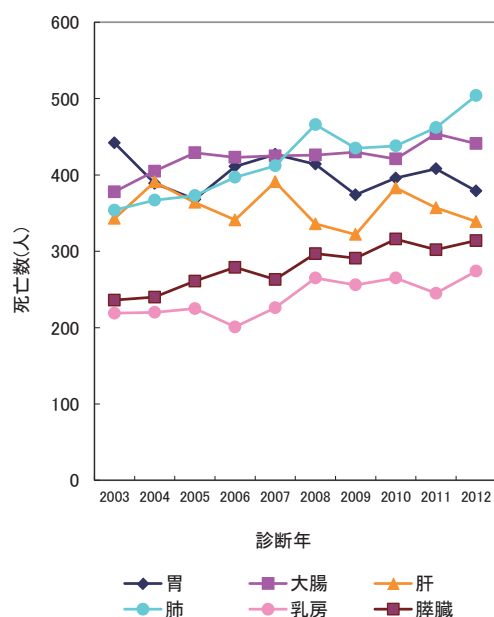


図 4-8 死亡数の年次推移 (女)

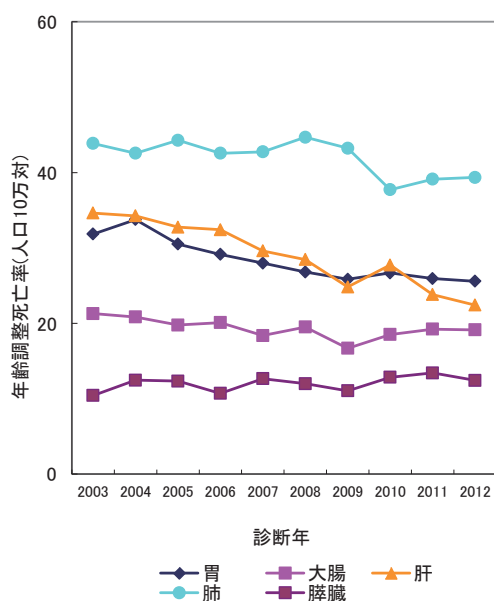


図 4-9 年齢調整死亡率の年次推移 (男)

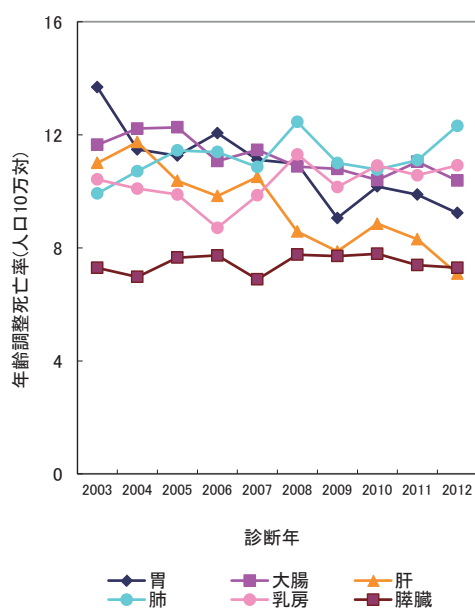


図 4-10 年齢調整死亡率の年次推移 (女)

5. 登録精度指標の推移

広島県および全国がん罹患モニタリング集計における年齢調整罹患率と登録精度の年次推移を示す。全国と比較すると、平成16年（2004）以前は広島県のDCN*¹割合、DCO*²割合ともに高いが、平成17年（2005）診断患者からは、DCN割合が減少し、登録の完全性が向上している。さらに平成17年（2005）診断からは遡り調査を開始したことで、DCO割合が著しく向上している。平成26年度（2014）に実施した平成24年（2012）死亡者の遡り調査では、平成28年（2016）からの全国がん登録を見据え、遡り調査の対象医療機関を例年よりも拡大したため、平成24年（2012）診断において、DCO割合が顕著に向上した。全国と比較してIM比*³が高いのは、病理登録で外来での生検症例も得られていることが大きいと思われる。

*¹DCN（death certificate notification）：死亡票で初めて登録されたがん（7ページ参照）

*²DCO（death certification only）：死亡票のみで登録されたがん（7ページ参照）

*³IM比（incidence/mortality ratio）：がんの罹患数と死亡数の比（7ページ参照）

表F 広島県および全国における年齢調整罹患率および登録精度の年次推移

	年齢調整罹患率 ¹⁾				DCN(%) ⁴⁾		DCO(%) ⁴⁾		IM比 ⁴⁾		MV(%) ³⁾⁴⁾	
	広島県		全国 ²⁾		広島県	全国 ²⁾	広島県	全国 ²⁾	広島県	全国 ²⁾	広島県	全国 ²⁾
	(上皮内がんを含む)	(上皮内がんを含まない)	(上皮内がんを含む)	(上皮内がんを含まない)								
2002	-	388.2	-	-	28.2	-	28.2	-	2.32	-	-	-
2003	400.4	379.6	322.3	-	27.5	25.0	27.5	19.5	2.64	1.91	70.8	72.8
2004	381.5	358.2	321.5	-	26.8	26.2	26.8	20.0	2.44	1.86	71.6	71.8
2005	414.0	380.6	328.2	310.6	18.2	21.9	9.4	17.0	2.63	1.96	94.9	73.0
2006	391.0	357.8	329.7	312.1	14.6	22.5	5.9	17.1	2.53	1.97	90.2	72.1
2007	420.6	374.1	346.5	323.6	11.3	21.5	5.4	16.2	2.43	2.01	89.7	73.6
2008	420.9	341.4	366.3	337.5	9.9	20.4	5.2	14.6	2.36	2.07	91.3	75.2
2009	439.9	378.5	374.0	342.7	8.1	20.4	5.0	14.1	2.52	2.15	88.2	75.7
2010	444.1	381.1	390.9	351.4	7.2	18.8	4.8	13.2	2.49	2.21	87.4	77.8
2011	456.1	388.6	436.8	365.8	6.7	11.5	4.1	5.6	2.53	2.31	87.4	83.5
2012	453.1	383.1	-	-	6.6	-	2.6	-	2.52	-	87.6	-

- 1) 基準人口を昭和60年(1985)日本モデル人口とした場合の年齢調整罹患率
- 2) 国立がん研究センターがん対策情報センターが発行しているMCIJ(Monitoring of Cancer Incidence in Japan)2002～2011で報告された、推計参加登録から推計された値を引用。
ただし、MCIJ2002～2010の推計参加登録は、MCIJ2011におけるB基準①「罹患患者中死亡情報のみで登録された患者」(DCO)割合<25%、あるいは、「死亡情報で初めて把握された患者」(DCN)割合<30%、かつ、②「罹患数と人口動態統計によるがん死亡数との比」(IM比)≥1.5の両条件を満たす登録であり、MCIJ2011の推計参加登録は、A基準①DCO割合<10%、かつ、②DCN割合<20%、かつ、③IM比≥2.0の3条件を満たす登録である。
- 3) 罹患数全体における病理診断のある症例の割合
- 4) 2000～2006年は上皮内がんを含む。2007年以降は上皮内がんを含まない。

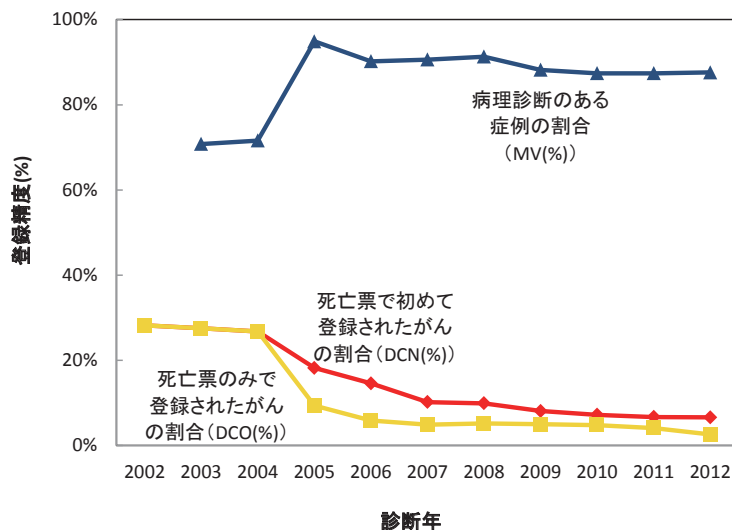


図5 広島県における登録精度の年次推移

Ⅲ おわりに

平成24年（2012）診断分の広島県のがん登録報告書が完成いたしました。広島県で地域がん登録が始まってから10年が経過した時点の、県内で発症したがんの集計となり、ますます成熟した登録データになっています。

さて、本報告書における5年相対生存率の記載は、平成22年（2010）集計より始めました。今回は、平成24年（2012）診断のデータです。全部位での5年相対生存率は66.1%（男性；62.9%、女性；70.1%）であり、最も高かった前立腺では99.4%、最も低かった膵臓では8.5%でした。本データを、広島県のがん対策に役立て、県民の健康増進に有意義に使用されることを願います。

また、本報告書での集計においても、本県の登録精度の高さは維持されています。DCN割合は平成23年（2011）集計の6.7%から6.6%、DCO割合は4.1%から2.6%へと向上しております。遡り調査の回収率の高さも反映されていることは間違いありません。DCN割合、DCO割合の向上は全国に誇る数字であり、これはひとえに日々の登録業務にあたっていただいている医療機関の皆様のご理解とご協力の賜と深謝いたします。

ご承知の通り、平成28年（2016）1月から全国がん登録がスタートいたします。これまで地域がん登録で集積したデータは、全国がん登録となり、さらに精度の上がったデータとなることが期待されます。がん対策の推進や医療機関へのフィードバックによる利活用など、これまで以上に有機的に利用されることを、医療関係団体としても切に願っております。

今後とも、広島県のがん登録にご協力いただいております医療機関の皆様に更なるご理解とご協力をお願いいたします。

平成28年（2016）1月

広島県医師会常任理事 山田 博康
野間 純
津谷 隆史

IV 付 表

平成24年(2012)

表1. 罹患数、罹患割合(%)、粗罹患率、年齢調整罹患率(人口10万対)及び累積罹患率(人口100対)； 部位別、性別

2012年

A. 上皮内がんを除く

部位	罹患数		罹患割合(%)				粗罹患率				年齢調整罹患率				累積罹患率(0-74歳)			
	ICD-10		男		女		男		女		男		女		男		女	
	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
全部位	11,994	8,703	20,697	100.0	100.0	100.0	873.6	590.1	726.8	473.7	316.8	383.1	335.4	237.7	279.2	39.9	26.1	32.5
口腔・咽頭	284	132	416	2.4	1.5	2.0	20.7	9.0	14.6	12.5	4.4	8.2	9.3	3.3	6.1	1.2	0.4	0.7
食道	418	79	497	3.5	0.9	2.4	30.4	5.4	17.5	17.2	2.7	9.4	12.4	2.0	6.9	1.6	0.3	0.9
胃	2,195	973	3,168	18.3	11.2	15.3	159.9	66.0	111.2	85.9	28.6	54.6	60.3	20.1	38.6	7.4	2.3	4.7
大腸(結腸・直腸)	1,752	1,339	3,091	14.6	15.4	14.9	127.6	90.8	108.5	72.0	41.2	55.4	51.5	29.7	39.8	6.3	3.5	4.8
結腸	1,115	926	2,041	9.3	10.6	9.9	81.2	62.8	71.7	44.2	26.5	34.6	31.2	18.8	24.5	3.7	2.2	2.9
直腸	637	413	1,050	5.3	4.7	5.1	46.4	28.0	36.9	27.8	14.7	20.8	20.3	10.8	15.3	2.5	1.3	1.9
肝および肝内胆管	845	451	1,296	7.0	5.2	6.3	61.5	30.6	45.5	33.2	11.1	21.3	23.2	7.6	14.9	2.8	0.7	1.7
胆のう・胆管	266	259	525	2.2	3.0	2.5	19.4	17.6	18.4	9.2	5.8	7.3	6.2	3.9	4.9	0.6	0.4	0.5
膵臓	421	386	807	3.5	4.4	3.9	30.7	26.2	28.3	16.6	9.9	13.1	11.7	6.9	9.2	1.3	0.8	1.1
喉頭	105	7	112	0.9	0.1	0.5	7.6	0.5	3.9	4.4	0.2	2.1	3.2	0.1	1.6	0.4	0.0	0.2
肺	1,766	865	2,631	14.7	9.9	12.7	128.6	58.6	92.4	66.1	26.3	43.8	45.7	18.7	30.7	5.3	2.2	3.7
皮膚	226	229	455	1.9	2.6	2.2	16.5	15.5	16.0	8.3	5.6	6.8	5.6	4.0	4.7	0.6	0.4	0.5
乳房	16	1,711	1,727	0.1	19.7	8.3	1.2	116.0	60.6	0.6	83.8	43.4	0.4	64.8	33.4	0.0	7.2	3.7
子宮	-	572	572	-	6.6	2.8	-	38.8	-	-	29.7	-	-	23.2	-	-	2.4	-
子宮頸部	-	221	221	-	2.5	1.1	-	15.0	-	-	12.6	-	-	9.9	-	-	1.0	-
子宮体部	-	333	333	-	3.8	1.6	-	22.6	-	-	16.7	-	-	13.0	-	-	1.4	-
卵巣	-	198	198	-	2.3	1.0	-	13.4	-	-	10.4	-	-	8.6	-	-	0.8	-
前立腺	1,772	-	1,772	14.8	-	8.6	129.1	-	-	64.9	-	-	43.9	-	-	6.0	-	-
膀胱	406	112	518	3.4	1.3	2.5	29.6	7.6	18.2	14.4	2.5	7.7	9.8	1.7	5.2	1.0	0.2	0.6
腎・尿路(膀胱除く)	371	201	572	3.1	2.3	2.8	27.0	13.6	20.1	16.3	6.3	11.0	11.9	4.4	8.0	1.4	0.5	0.9
脳・中枢神経系	49	50	99	0.4	0.6	0.5	3.6	3.4	3.5	2.6	2.2	2.4	2.1	1.8	1.9	0.2	0.2	0.2
甲状腺	104	381	485	0.9	4.4	2.3	7.6	25.8	17.0	5.5	19.8	12.8	4.3	15.6	10.0	0.5	1.7	1.1
悪性リンパ腫	388	334	722	3.2	3.8	3.5	28.3	22.6	25.4	16.5	11.7	13.8	11.7	8.8	10.1	1.3	0.9	1.1
多発性骨髄腫	76	74	150	0.6	0.9	0.7	5.5	5.0	5.3	2.7	2.3	2.4	1.8	1.6	1.7	0.2	0.2	0.2
白血病	162	98	260	1.4	1.1	1.3	11.8	6.6	9.1	8.0	4.4	6.0	7.1	4.5	5.7	0.6	0.3	0.5

表1. 罹患数、罹患割合(%)、粗罹患率、年齢調整罹患率(人口10万対)及び累積罹患率(人口100対)； 部位別、性別
 B. 上皮内がんを含む

2012年

部位	ICD-10	罹患数				罹患割合(%)				粗罹患率				年齢調整罹患率				世界人口				累積罹患率(0-74歳)			
		男		女		男		女		男		女		男		女		男		女		男		女	
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
全部位	C00-C96 D00-D09	13,549	10,131	23,680	100.0	100.0	100.0	986.8	686.9	831.5	538.6	395.3	453.1	382.3	300.5	332.9	45.8	32.1	38.4	45.8	32.1	38.4	45.8	32.1	38.4
食道	C15 D001	476	90	566	3.5	0.9	2.4	34.7	6.1	19.9	19.7	3.1	10.8	14.2	2.3	7.9	1.8	0.3	1.0	1.8	0.3	1.0	1.8	0.3	1.0
大腸(結腸・直腸)*1	C18-C20 D010-D012	2,669	1,765	4,434	19.7	17.4	18.7	194.4	119.7	155.7	112.6	58.0	83.3	81.5	42.1	60.6	10.1	5.1	7.5	10.1	5.1	7.5	10.1	5.1	7.5
結腸*1	C18 D010	1,800	1,264	3,064	13.3	12.5	12.9	131.1	85.7	107.6	74.1	39.9	55.6	53.2	28.8	40.2	6.6	3.4	5.0	6.6	3.4	5.0	6.6	3.4	5.0
直腸*1	C19-C20 D011-D012	869	501	1,370	6.4	4.9	5.8	63.3	34.0	48.1	38.5	18.1	27.7	28.3	13.3	20.4	3.5	1.6	2.5	3.5	1.6	2.5	3.5	1.6	2.5
肺	C33-C34 D021-D022	1,767	868	2,635	13.0	8.6	11.1	128.7	58.9	92.5	66.2	26.4	43.8	45.8	18.8	30.8	5.3	2.3	3.7	5.3	2.3	3.7	5.3	2.3	3.7
皮膚	C43-C44 D030-D049	280	310	590	2.1	3.1	2.5	20.4	21.0	20.7	10.1	7.4	8.6	6.9	5.3	6.0	0.7	0.5	0.6	0.7	0.5	0.6	0.7	0.5	0.6
乳房	C50 D05	17	1,923	1,940	0.1	19.0	8.2	1.2	130.4	68.1	0.6	94.8	49.1	0.4	73.5	37.9	0.1	8.1	4.2	0.1	8.1	4.2	0.1	8.1	4.2
子宮	C53-C55 D06	-	1,127	1,127	-	11.1	4.8	-	76.4	-	-	73.9	-	-	60.2	-	-	5.4	-	-	5.4	-	-	-	5.4
子宮頸部	C53 D06	-	776	776	-	7.7	3.3	-	52.6	-	-	56.8	-	-	47.0	-	-	4.0	-	-	4.0	-	-	-	4.0
膀胱	C67 D090	872	195	1,067	6.4	1.9	4.5	63.5	13.2	37.5	32.0	4.7	16.8	21.9	3.2	11.6	2.5	0.3	1.4	2.5	0.3	1.4	2.5	0.3	1.4

*1 粘膜がんを含む

表3. 年齢階級別罹患率（人口10万対）； 部位別、性別
 B. 上皮内がんを含む

2012年

性別	部位	ICD-10	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上	
男	全部位	C00-C96 D00-D09	22.2	7.8	5.9	16.0	15.9	15.4	48.1	87.1	131.2	261.4	560.1	977.2	1,595.9	2,268.8	3,137.2	3,826.9	4,206.2	4,323.9	
	食道	C15 D001	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.9	5.9	5.9	24.2	46.0	69.8	107.6	103.1	135.4	93.8	82.4	
	大腸（結腸・直腸）*1	C18-C20 D010-D012	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	2.6	5.9	18.9	40.1	86.0	155.2	254.1	368.5	479.8	613.4	628.4	659.3	636.7	
	結腸*1	C18 D010	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	1.3	3.5	10.4	20.6	55.3	94.6	144.9	237.7	326.0	428.3	441.2	483.7	478.3	
	直腸*1	C19-C20 D011-D012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	2.3	8.5	19.6	30.6	60.6	109.2	130.8	153.8	185.1	187.2	175.7	158.4	
	肺	C33-C34 D021-D022	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	3.8	6.9	35.3	49.7	105.8	177.6	301.2	386.0	518.1	635.3	769.7
	皮膚	C43-C44 D030-D049	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	1.2	0.9	1.0	4.7	12.1	17.2	15.9	28.0	59.5	71.9	125.1	199.6	
	乳房	C50 D05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.9	0.0	7.9	3.3	4.8	12.7	
	膀胱	C67 D090	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	4.9	11.8	25.5	51.7	84.8	138.8	174.5	228.9	392.2	411.8	
	女	全部位	C00-C96 D00-D09	23.1	8.3	7.8	15.2	53.2	138.9	245.9	296.0	418.0	533.6	596.1	732.0	916.8	1,113.5	1,329.0	1,533.0	1,725.3	2,029.1
	食道	C15 D001	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	2.3	1.2	7.9	13.5	16.8	19.1	9.9	11.9	13.8	
	大腸（結腸・直腸）*1	C18-C20 D010-D012	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	2.7	2.4	15.5	29.4	44.3	97.6	143.2	166.0	217.8	294.0	295.7	319.5	419.1	
	結腸*1	C18 D010	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.3	0.0	10.7	16.6	31.5	61.9	85.7	116.3	159.4	205.0	222.7	239.3	321.5	
	直腸*1	C19-C20 D011-D012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	2.4	4.9	12.7	12.8	35.7	57.5	49.7	58.4	89.0	73.0	80.2	97.6	
	肺	C33-C34 D021-D022	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	3.9	6.9	16.3	32.1	48.5	90.2	111.8	139.7	190.5	166.4	201.4
	皮膚	C43-C44 D030-D049	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	2.4	1.9	2.0	7.0	3.6	7.9	12.6	22.8	31.5	48.3	84.7	151.4
	乳房	C50 D05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	25.4	72.8	148.8	248.1	202.3	206.4	246.1	254.4	217.4	159.6	163.5	155.1
子宮	C53-C55 D06	0.0	0.0	0.0	1.5	18.2	101.5	181.7	151.4	141.9	106.0	96.4	78.9	74.2	87.1	47.3	61.9	56.5	48.8		
子宮頸部	C53 D06	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	98.8	176.9	140.7	124.3	68.7	45.2	35.0	33.7	37.6	19.1	24.7	20.8	18.8		
膀胱	C67 D090	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	1.0	0.0	0.0	1.2	14.7	8.4	17.8	24.8	35.9	53.5	80.1		
男女計	全部位	C00-C96 D00-D09	22.7	8.0	6.8	15.6	34.1	76.0	145.4	190.3	274.6	398.2	578.2	853.4	1,248.3	1,667.1	2,160.8	2,508.9	2,672.5	2,678.8	
食道	C15 D001	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.5	4.4	4.1	12.6	26.8	41.0	60.3	57.8	63.3	43.2	33.2	
大腸（結腸・直腸）*1	C18-C20 D010-D012	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	2.6	4.2	17.3	34.8	65.0	126.1	198.1	264.8	343.3	440.9	437.2	449.2	480.7		
結腸*1	C18 D010	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.3	1.8	10.5	18.6	43.3	78.1	115.0	175.6	239.2	307.7	315.7	332.6	365.9		
直腸*1	C19-C20 D011-D012	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	2.4	6.7	16.2	21.7	48.0	83.1	89.3	104.1	133.2	121.6	116.7	114.8		
肺	C33-C34 D021-D022	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	3.8	6.9	25.8	40.8	76.9	132.9	202.6	253.0	329.9	345.4	362.3	
皮膚	C43-C44 D030-D049	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9	1.8	1.4	1.5	5.9	7.8	12.5	14.2	25.3	44.4	58.3	100.1	165.0	
乳房	C50 D05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	12.5	35.9	74.4	124.7	102.1	105.3	126.4	132.5	121.0	93.1	102.9	114.8	
膀胱	C67 D090	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	2.4	2.4	5.9	13.2	33.0	45.7	75.8	93.7	118.0	182.8	174.0	

*1 粘膜がんを含む

表4. 発見経緯 (%) ; 部位別
A. 上皮内がんを除く

国内D00を除く届出患者、男女計 2012年

部位	ICD-10	集計対象数	がん検診	健診 人間ドック	他疾患の 経過観察中	剖検発見	その他・不明 (症状受診を含む)
全部位	000-C96	20,150	6.1	8.9	26.5	0.0	58.5
口腔・咽頭	000-C14	411	0.0	1.0	12.7	0.0	86.4
食道	C15	489	1.0	14.1	21.5	0.0	63.4
胃	C16	3,128	10.4	11.9	25.1	0.0	52.7
大腸(結腸・直腸)	C18-C20	3,033	9.4	6.9	20.9	0.0	62.7
結腸	C18	1,994	9.0	7.1	23.9	0.0	60.0
直腸	C19-C20	1,039	10.2	6.6	15.2	0.0	67.9
肝および肝内胆管	C22	1,206	0.3	4.1	61.9	0.0	33.7
胆のう・胆管	C23-C24	495	0.0	5.7	27.3	0.0	67.1
膵臓	C25	766	0.0	3.9	30.9	0.1	65.0
喉頭	C32	111	0.0	2.7	17.1	0.0	80.2
肺	C33-C34	2,488	5.3	9.3	38.0	0.0	47.3
皮膚	C43-C44	454	0.0	0.2	5.5	0.0	94.3
乳房	C50	1,715	23.8	4.1	8.7	0.0	63.4
乳房(女性のみ)	C50	1,699	24.0	4.2	8.7	0.0	63.2
子宮	C53-C55	563	6.4	5.5	14.4	0.0	73.7
子宮頸部	C53	219	15.5	1.8	12.3	0.0	70.3
子宮体部	C54	330	0.6	7.9	16.1	0.0	75.5
卵巣	C56	191	0.0	6.3	16.2	0.0	77.5
前立腺	C61	1,760	0.7	22.0	32.4	0.0	44.9
膀胱	C67	506	0.0	3.4	20.8	0.0	75.9
腎・尿路(膀胱除く)	C64-C66 C68	561	0.2	13.7	39.0	0.0	47.1
脳・中枢神経系	C70-C72	96	0.0	2.1	9.4	0.0	88.5
甲状腺	C73	483	0.2	25.1	34.6	0.4	39.8
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	711	1.1	3.9	16.0	0.1	78.8
多発性骨髄腫	C88-C90	142	0.0	3.5	33.8	0.0	62.7
白血病	C91-C95	247	0.0	2.4	33.6	0.0	64.0

表4. 発見経緯 (%) ; 部位別

B. 上皮内がんを含む

国内DCOを除く届出患者、男女計

2012年

部位	ICD-10	集計対象数	がん検診	健診 人間ドック	他疾患の 経過観察中	剖検発見	その他・不明 (症状受診を含む)
全部位	000-C96 D00-D09	23,133	7.6	8.7	26.1	0.0	57.6
食道	C15 D001	558	0.9	14.3	23.1	0.0	61.6
大腸 (結腸・直腸) *1	C18-C20 D010-D012	4,376	11.8	7.8	22.3	0.0	58.1
結腸 *1	C18 D010	3,017	12.0	8.1	24.4	0.0	55.5
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	1,359	11.3	7.3	17.5	0.0	63.9
肺	C33-C34 D021-D022	2,492	5.3	9.3	38.0	0.0	47.3
皮膚	C43-C44 D030-D049	589	0.0	0.2	5.3	0.0	94.6
乳房	C50 D05	1,928	24.9	4.4	9.8	0.0	60.9
乳房 (女性のみ)	C50 D05	1,911	25.2	4.4	9.8	0.0	60.6
子宮	C53-C55 D06	1,118	24.0	7.2	16.9	0.0	51.9
子宮頸部	C53 D06	774	34.4	7.0	17.4	0.0	41.2
膀胱	C67 D090	1,055	0.1	3.2	22.0	0.1	74.6

*1 粘膜がんを含む

表5. 臨床進行度分布 (%) ; 部位別

A. 上皮内がんを除く

国内D00を除く届出患者、男女計

2012年

部位	ICD-10	集計対象数	限局	所属リンパ節 転移	隣接臓器 浸潤	遠隔転移	不明
全部位	C00-C96	20,150	46.5	8.7	14.0	17.1	13.8
口腔・咽頭	C00-C14	411	40.9	16.1	28.5	3.2	11.4
食道	C15	489	37.6	8.8	30.5	12.9	10.2
胃	C16	3,128	56.8	9.0	9.0	15.9	9.4
大腸 (結腸・直腸)	C18-C20	3,033	47.0	15.6	11.8	17.6	8.0
結腸	C18	1,994	46.5	14.5	13.0	17.7	8.3
直腸	C19-C20	1,039	48.0	17.7	9.3	17.5	7.4
肝および肝内胆管	C22	1,206	63.3	1.8	12.9	9.4	12.5
胆のう・胆管	C23-C24	495	13.9	1.6	46.9	24.8	12.7
膵臓	C25	766	7.3	3.0	36.9	43.3	9.4
喉頭	C32	111	76.6	8.1	4.5	0.9	9.9
肺	C33-C34	2,488	36.0	8.7	8.7	38.7	7.9
皮膚	C43-C44	454	74.7	0.4	4.8	1.1	18.9
乳房	C50	1,715	58.9	21.1	5.1	6.2	8.7
乳房 (女性のみ)	C50	1,699	59.0	21.1	4.9	6.2	8.7
子宮	C53-C55	563	58.4	3.2	21.0	8.2	9.2
子宮頸部	C53	219	44.7	5.0	31.5	11.0	7.8
子宮体部	C54	330	69.1	2.1	14.5	6.1	8.2
卵巣	C56	191	20.4	0.5	48.7	20.9	9.4
前立腺	C61	1,760	55.7	0.7	15.4	7.5	20.7
膀胱	C67	506	67.8	0.8	12.6	3.0	15.8
腎・尿路 (膀胱除く)	C64-C66 C68	561	60.4	0.4	22.5	11.1	5.7
脳・中枢神経系	C70-C72	96	52.1	0.0	14.6	2.1	31.3
甲状腺	C73	483	44.3	35.4	8.5	4.6	7.2
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	711	18.7	0.3	11.8	39.2	30.0
多発性骨髄腫	C88-C90	142	4.2	0.0	0.0	0.7	95.1
白血病	C91-C95	247	2.0	0.0	0.4	2.4	95.1

表5. 臨床進行度分布 (%) ; 部位別

B. 上皮内がんを含む

国内D00を除く届出患者、男女計

2012年

部位	ICD-10	集計対象数	上皮内がん	限局	所属リンパ節 転移	隣接臓器 浸潤	遠隔転移	不明
全部位	C00-C96 D00-D09	23,133	12.9	40.5	7.5	12.2	14.9	12.0
食道	C15 D001	558	12.4	33.0	7.7	26.7	11.3	9.0
大腸 (結腸・直腸) *1	C18-C20 D010-D012	4,376	30.7	32.6	10.8	8.2	12.2	5.6
結腸 *1	C18 D010	3,017	33.9	30.7	9.6	8.6	11.7	5.5
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	1,359	23.5	36.7	13.5	7.1	13.4	5.7
肺	C33-C34 D021-D022	2,492	0.1	36.0	8.7	8.7	38.6	7.9
皮膚	C43-C44 D030-D049	589	22.6	57.6	0.3	3.7	0.8	14.9
乳房	C50 D05	1,928	11.0	52.4	18.8	4.5	5.5	7.8
乳房 (女性のみ)	C50 D05	1,911	11.1	52.4	18.8	4.4	5.5	7.7
子宮	C53-C55 D06	1,118	49.6	29.4	1.6	10.6	4.1	4.7
子宮頸部	C53 D06	774	71.6	12.7	1.4	8.9	3.1	2.3
膀胱	C67 D090	1,055	51.9	32.5	0.4	6.1	1.4	7.7

*1 粘膜がんを含む

表6. 受療割合 (%) ; 部位別 *1

A. 上皮内がんを除く

国内D00を除く届出患者、男女計

2012年

部位	ICD-10	集計対象数	外科・体腔鏡 内視鏡的治療	放射線療法	化学・免疫・ 内分泌療法	特異療法なしまたは 治療方法不明
全部位	000-C96	20,150	56.9	10.7	37.4	22.3
口腔・咽頭	000-C14	411	42.1	47.4	45.0	19.5
食道	C15	489	47.2	37.8	48.9	20.4
胃	C16	3,128	73.8	0.6	21.2	18.0
大腸 (結腸・直腸)	C18-C20	3,033	80.8	2.0	30.7	15.4
結腸	C18	1,994	80.5	0.7	28.9	16.0
直腸	C19-C20	1,039	81.4	4.5	34.1	14.1
肝および肝内胆管	C22	1,206	26.9	3.5	38.3	26.7
胆のう・胆管	C23-C24	495	57.4	1.4	31.5	27.9
膵臓	C25	766	39.4	5.9	54.8	28.1
喉頭	C32	111	17.1	75.7	45.0	18.0
肺	C33-C34	2,488	40.2	16.0	38.6	25.8
皮膚	C43-C44	454	67.2	2.2	5.1	31.3
乳房	C50	1,715	80.3	36.0	66.2	12.6
乳房 (女性のみ)	C50	1,699	80.3	36.3	66.4	12.6
子宮	C53-C55	563	70.7	14.6	36.9	15.3
子宮頸部	C53	219	55.3	31.5	41.1	17.4
子宮体部	C54	330	83.3	3.9	35.5	11.2
卵巣	C56	191	77.5	0.0	66.0	15.2
前立腺	C61	1,760	32.3	8.6	40.1	30.2
膀胱	C67	506	72.3	5.9	34.0	24.1
腎・尿路 (膀胱除く)	C64-C66 C68	561	73.4	3.2	16.0	20.1
脳・中枢神経系	C70-C72	96	66.7	51.0	50.0	25.0
甲状腺	C73	483	81.8	4.6	29.0	18.0
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	711	8.7	6.6	54.1	37.3
多発性骨髄腫	C88-C90	142	0.0	8.5	54.9	40.1
白血病	C91-C95	247	0.4	4.5	72.1	25.1

*1 重複を含むため合計は100%にならない

表6. 受療割合 (%) ; 部位別 *1

B. 上皮内がんを含む

国内D00を除く届出患者、男女計 2012年

部位	ICD-10	集計対象数	外科・体腔鏡 内視鏡的治療	放射線療法	化学・免疫・ 内分泌療法	特異療法なしまたは 治療方法不明
全部位	000-C96 D00-D09	23,133	59.0	9.8	33.5	22.7
食道	C15 D001	558	50.4	33.2	43.0	21.1
大腸 (結腸・直腸) *2	C18-C20 D010-D012	4,376	78.1	1.4	21.3	19.3
結腸 *2	C18 D010	3,017	77.6	0.5	19.2	20.2
直腸 *2	C19-C20 D011-D012	1,359	79.3	3.5	26.0	17.2
肺	C33-C34 D021-D022	2,492	40.2	16.0	38.6	25.9
皮膚	C43-C44 D030-D049	589	66.6	1.9	4.2	31.7
乳房	C50 D05	1,928	80.8	36.5	61.9	12.9
乳房 (女性のみ)	C50 D05	1,911	80.7	36.8	62.0	12.9
子宮	C53-C55 D06	1,118	77.9	7.3	18.6	14.0
子宮頸部	C53 D06	774	76.7	8.9	11.6	14.1
膀胱	C67 D090	1,055	68.2	2.9	30.6	28.6

*1 重複を含むため合計は100%にならない

*2 粘膜がんを含む

表7. 切除内容 (%) ; 部位別

A. 上皮内がんを除く

国内DC0を除く届出患者、男女計

2012年

部位	ICD-10	外科・体腔鏡 内視鏡治療数	完全切除	不完全切除	治癒度不明	姑息・対症 転移集切除	不明
全部位	C00-C96	11,470	81.9	8.7	3.1	4.6	1.6
口腔・咽頭	C00-C14	173	75.7	9.2	4.6	9.8	0.6
食道	C15	231	88.3	5.6	0.9	5.2	0.0
胃	C16	2,310	85.7	7.8	1.1	3.8	1.6
大腸 (結腸・直腸)	C18-C20	2,452	80.6	11.4	1.5	4.5	1.9
結腸	C18	1,606	80.9	12.3	1.3	3.4	2.1
直腸	C19-C20	846	80.0	9.7	1.9	6.7	1.7
肝および肝内胆管	C22	324	81.5	7.7	4.3	5.6	0.9
胆のう・胆管	C23-C24	284	54.9	8.5	1.4	34.2	1.1
膵臓	C25	302	54.6	10.6	2.6	30.1	2.0
喉頭	C32	19	52.6	26.3	10.5	10.5	0.0
肺	C33-C34	1,001	87.8	4.8	2.4	3.7	1.3
皮膚	C43-C44	305	91.1	4.9	3.0	0.0	1.0
乳房	C50	1,377	91.4	4.1	3.3	0.1	1.0
乳房 (女性のみ)	C50	1,364	91.4	4.2	3.4	0.1	1.0
子宮	C53-C55	398	82.7	4.5	11.6	0.3	1.0
子宮頸部	C53	121	80.2	5.0	12.4	0.8	1.7
子宮体部	C54	275	83.6	4.4	11.3	0.0	0.7
卵巣	C56	148	59.5	27.7	9.5	2.7	0.7
前立腺	C61	569	84.9	8.6	4.6	0.9	1.1
膀胱	C67	366	70.8	14.8	7.9	0.8	5.7
腎・尿路 (膀胱除く)	C64-C66 C68	412	88.1	6.1	2.7	1.0	2.2
脳・中枢神経系	C70-C72	64	18.8	54.7	14.1	7.8	4.7
甲状腺	C73	395	90.4	4.6	3.8	0.3	1.0
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	62	37.1	30.6	16.1	14.5	1.6
多発性骨髄腫	C88-C90	0
白血病	C91-C95	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

表7. 切除内容 (%) ; 部位別

B. 上皮内がんを含む

国内D00を除く届出患者、男女計

2012年

部位	ICD-10	外科・体腔鏡 内視鏡治療数	完全切除	不完全切除	治癒度不明	姑息・対症 転移集切除	不明
全部位	C00-C96 D00-D09	13,647	83.4	7.6	3.4	3.9	1.7
食道	C15 D001	281	90.0	4.6	0.7	4.3	0.4
大腸 (結腸・直腸) *1	C18-C20 D010-D012	3,418	84.9	8.4	1.5	3.2	2.0
結腸 *1	C18 D010	2,340	85.6	8.6	1.4	2.3	2.1
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	1,078	83.3	8.0	1.7	5.3	1.8
肺	C33-C34 D021-D022	1,003	87.7	4.9	2.4	3.7	1.3
皮膚	C43-C44 D030-D049	392	91.8	4.1	3.1	0.0	1.0
乳房	C50 D05	1,557	91.7	4.0	3.1	0.1	1.1
乳房 (女性のみ)	C50 D05	1,543	91.7	4.1	3.1	0.1	1.0
子宮	C53-C55 D06	871	85.1	2.8	11.1	0.1	0.9
子宮頸部	C53 D06	594	85.7	2.0	11.1	0.2	1.0
膀胱	C67 D090	719	76.5	10.0	7.8	0.4	5.3

*1 粘膜がんを含む

表8. 精度指標：部位別、性別
A. 上皮内がんを除く

2012年

部位	罹患/死亡比 (IM比)		死亡情報で初めて把握された症例 DCN(%)		死亡情報のみの症例 DC0(%)		国際 DC0(%)		病理学的裏付けのある症例 MV(%)		組織学的裏付けのある症例 HV(%)							
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
ICD-10																		
全部位	2.45	2.63	2.52	5.7	7.8	6.6	2.2	3.3	2.6	1.9	3.1	2.4	88.1	86.9	87.6	84.4	83.3	83.9
C00-C06	3.51	2.40	3.06	0.7	6.8	2.6	0.4	3.0	1.2	0.4	2.3	1.0	98.2	95.5	97.4	97.9	95.5	97.1
C00-C14	2.19	1.84	2.12	4.1	3.8	4.0	1.7	1.3	1.6	1.7	1.3	1.6	95.9	94.9	95.8	95.2	94.9	95.2
C15	3.04	2.57	2.88	2.6	5.3	3.4	0.8	2.3	1.3	0.8	2.3	1.2	97.6	94.5	96.7	97.4	94.0	96.4
C16	3.29	3.04	3.17	2.9	6.7	4.6	1.0	3.0	1.9	1.0	3.0	1.9	95.7	91.3	93.8	95.7	91.3	93.8
C18-C20	3.17	2.89	3.04	3.3	7.7	5.3	1.3	3.6	2.3	1.3	3.6	2.3	94.6	90.1	92.6	94.6	90.1	92.6
C18	3.52	3.41	3.48	2.2	4.6	3.1	0.6	1.7	1.0	0.6	1.7	1.0	97.6	94.2	96.3	97.6	94.2	96.3
C19-C20	1.39	1.33	1.37	12.7	23.7	16.5	4.6	11.3	6.9	4.6	11.1	6.9	43.6	29.0	38.5	42.5	28.6	37.7
C22	1.31	1.38	1.34	12.4	14.3	13.3	4.1	7.3	5.7	4.1	7.3	5.7	71.8	69.1	70.5	57.9	54.1	56.0
C23-C24	1.26	1.23	1.25	10.9	18.1	14.4	3.1	7.3	5.1	3.1	7.3	5.1	67.5	53.9	61.0	56.3	42.5	49.7
C25	3.89	7.00	4.00	3.8	0.0	3.6	1.0	0.0	0.9	1.0	0.0	0.9	97.1	100.0	97.3	97.1	100.0	97.3
C32	1.57	1.72	1.62	11.0	12.5	11.5	5.3	5.8	5.4	4.4	5.4	4.7	80.5	82.1	81.0	66.5	69.4	67.5
C33-C34	14.13	17.62	15.69	0.9	1.7	1.3	0.4	0.0	0.2	0.4	0.0	0.2	99.6	100.0	99.8	99.6	100.0	99.8
C43-C44	8.00	6.24	6.26	0.0	2.3	2.3	0.0	0.7	0.7	0.0	0.7	0.7	100.0	98.2	98.2	100.0	97.1	97.1
C50	-	4.97	4.97	-	4.5	4.5	-	1.6	1.6	-	1.6	1.6	-	95.8	95.8	-	93.9	93.9
C53-C55	-	4.25	4.25	-	3.6	3.6	-	0.9	0.9	-	0.9	0.9	-	96.4	96.4	-	92.8	92.8
C53	-	9.51	9.51	-	2.1	2.1	-	0.9	0.9	-	0.9	0.9	-	99.1	99.1	-	98.2	98.2
C54	-	2.36	2.36	-	6.6	6.6	-	3.5	3.5	-	3.5	3.5	-	91.9	91.9	-	87.4	87.4
C56	7.09	-	7.09	2.6	-	2.6	0.7	-	0.7	0.6	-	0.6	95.5	-	95.5	95.1	-	95.1
C61	3.12	1.78	2.68	3.7	8.9	4.8	1.7	4.5	2.3	1.7	4.5	2.3	93.6	82.1	91.1	89.2	75.0	86.1
C67	2.90	2.58	2.78	5.4	7.0	5.9	1.6	2.5	1.9	1.6	2.0	1.7	87.3	84.1	86.2	83.3	78.6	81.6
C64-C66 C68	1.36	2.50	1.77	8.2	8.0	8.1	0.0	6.0	3.0	0.0	2.0	1.0	91.8	82.0	86.9	91.8	80.0	85.9
C70-C72	17.33	15.24	15.65	1.9	2.4	2.3	0.0	0.5	0.4	0.0	0.5	0.4	97.1	97.6	97.5	93.3	94.8	94.4
C73	2.46	2.81	2.61	5.9	5.1	5.5	2.1	0.9	1.5	1.5	0.9	1.2	92.3	94.3	93.2	89.7	91.0	90.3
C81-C85 C96	1.46	1.54	1.50	10.5	12.2	11.3	3.9	6.8	5.3	3.9	6.8	5.3	92.1	86.5	89.3	88.2	86.5	87.3
C88-C90	1.51	1.75	1.60	15.4	12.2	14.2	4.9	5.1	5.0	1.9	0.0	1.2	98.1	100.0	98.8	82.7	78.6	81.2
C91-C95																		

表8. 精度指標：部位別、性別
A. 上皮内がんを除く

2012年

部位	ICD-10						死亡情報で初めて把握された症例 DON(%)						死亡情報のみの症例 DOO(%)						国際 DCO (%)						病理学的裏付けのある症例 MW (%)						組織学的裏付けのある症例 HW (%)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	男		女		男女計		男		女		男女計		男		女		男女計		男		女		男女計		男		女		男女計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	男	女	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
全部位	5.7	7.8	6.6	2.2	3.3	2.6	1.9	3.1	2.4	88.1	86.9	87.6	84.4	83.3	83.9	0.7	6.8	2.6	0.4	3.0	1.2	0.4	2.3	1.0	98.2	95.5	97.4	97.9	95.5	97.1	4.1	3.8	4.0	1.7	1.3	1.6	1.7	1.3	1.6	95.9	94.9	95.8	95.2	94.9	95.2	2.6	5.3	3.4	0.8	2.3	1.3	0.8	2.3	1.2	97.6	94.5	96.7	97.4	94.0	96.4	2.9	6.7	4.6	1.0	3.0	1.9	1.0	3.0	1.9	95.7	91.3	93.8	95.7	91.3	93.8	3.3	7.7	5.3	1.3	3.6	2.3	1.3	3.6	2.3	94.6	90.1	92.6	94.6	90.1	92.6	2.2	4.6	3.1	0.6	1.7	1.0	0.6	1.7	1.0	97.6	94.2	96.3	97.6	94.2	96.3	12.7	23.7	16.5	4.6	11.3	6.9	4.6	11.1	6.9	43.6	29.0	38.5	42.5	28.6	37.7	12.4	14.3	13.3	4.1	7.3	5.7	4.1	7.3	5.7	71.8	69.1	70.5	57.9	54.1	56.0	10.9	18.1	14.4	3.1	7.3	5.1	3.1	7.3	5.1	67.5	53.9	61.0	56.3	42.5	49.7	3.8	0.0	3.6	1.0	0.0	0.9	1.0	0.0	0.9	97.1	100.0	97.3	97.1	100.0	97.3	11.0	12.5	11.5	5.3	5.8	5.4	4.4	5.4	4.7	80.5	82.1	81.0	66.5	69.4	67.5	0.9	1.7	1.3	0.4	0.0	0.2	0.4	0.0	0.2	99.6	100.0	99.8	99.6	100.0	99.8	0.0	2.3	2.3	0.0	0.7	0.7	0.0	0.7	0.7	100.0	98.2	98.2	100.0	97.1	97.1	-	4.5	4.5	-	1.6	1.6	-	1.6	1.6	-	95.8	95.8	-	-	93.9	93.9	-	3.6	3.6	-	0.9	0.9	-	0.9	0.9	-	96.4	96.4	-	-	92.8	92.8	-	2.1	2.1	-	0.9	0.9	-	0.9	0.9	-	99.1	99.1	-	-	98.2	98.2	-	6.6	6.6	-	3.5	3.5	-	3.5	3.5	-	91.9	91.9	-	-	87.4	87.4	2.6	-	2.6	0.7	-	0.7	0.6	-	0.6	95.5	-	95.5	95.1	-	95.1	3.7	8.9	4.8	1.7	4.5	2.3	1.7	4.5	2.3	93.6	82.1	91.1	89.2	75.0	86.1	5.4	7.0	5.9	1.6	2.5	1.9	1.6	2.0	1.7	87.3	84.1	86.2	83.3	78.6	81.6	8.2	8.0	8.1	0.0	6.0	3.0	0.0	2.0	1.0	91.8	82.0	86.9	91.8	80.0	85.9	1.9	2.4	2.3	0.0	0.5	0.4	0.0	0.5	0.4	97.1	97.6	97.5	93.3	94.8	94.4	5.9	5.1	5.5	2.1	0.9	1.5	1.5	0.9	1.2	92.3	94.3	93.2	89.7	91.0	90.3	10.5	12.2	11.3	3.9	6.8	5.3	3.9	6.8	5.3	92.1	86.5	89.3	88.2	86.5	87.3	15.4	12.2	14.2	4.9	5.1	5.0	1.9	0.0	1.2	98.1	100.0	98.8	82.7	78.6	81.2

表8. 精度指標； 部位別、性別
B. 上皮内がんを含む

2012年

部位	罹患／死亡比 (IM比)						死亡情報で初めて把握された症例 DGN (%)						死亡情報のみの症例 DCO (%)						病理学的裏付けのある症例 MV (%)						組織学的裏付けのある症例 HV (%)										
	男		女		男女計		男		女		男女計		男		女		男女計		男		女		男女計		男		女		男女計						
	ICD-10						ICD-10						ICD-10						ICD-10						ICD-10						ICD-10				
全部位	2.76	3.07	2.89	5.1	6.7	5.8	1.9	2.9	2.3	1.7	2.7	2.1	89.5	88.7	89.2	86.2	85.6	85.9	89.5	88.7	89.2	86.2	85.6	85.9	89.5	88.7	89.2	86.2	85.6	85.9					
食道	2.49	2.09	2.42	3.6	3.3	3.5	1.5	1.1	1.4	1.5	1.1	1.4	96.4	95.6	96.3	95.8	95.6	95.8	96.4	95.6	96.3	95.8	95.6	95.8	96.4	95.6	96.3	95.8	95.6	95.8					
大腸 (結腸・直腸) *1	5.01	4.00	4.55	1.9	5.1	3.2	0.7	2.3	1.3	0.7	2.3	1.3	97.2	93.4	95.7	97.2	93.4	95.7	97.2	93.4	95.7	97.2	93.4	95.7	97.2	93.4	95.7	97.2	93.4	95.7					
結腸 *1	5.11	3.95	4.56	2.1	5.6	3.6	0.8	2.6	1.5	0.8	2.6	1.5	96.7	92.7	95.0	96.6	92.7	95.0	96.7	92.7	95.0	96.6	92.7	95.0	96.7	92.7	95.0	96.6	92.7	95.0					
直腸 *1	4.80	4.14	4.54	1.6	3.8	2.4	0.5	1.4	0.8	0.5	1.4	0.8	98.3	95.2	97.2	98.3	95.2	97.2	98.3	95.2	97.2	98.3	95.2	97.2	98.3	95.2	97.2	98.3	95.2	97.2					
肺	1.57	1.72	1.62	11.0	12.6	11.5	5.3	5.8	5.4	4.4	5.4	4.7	80.5	82.0	81.0	66.6	69.4	67.5	80.5	82.0	81.0	66.6	69.4	67.5	80.5	82.0	81.0	66.6	69.4	67.5					
皮膚	17.50	23.85	20.34	0.7	1.3	1.0	0.4	0.0	0.2	0.4	0.0	0.2	99.6	100.0	99.8	99.6	100.0	99.8	99.6	100.0	99.8	99.6	100.0	99.8	99.6	100.0	99.8	99.6	100.0	99.8					
乳房	8.50	7.02	7.03	0.0	2.0	2.0	0.0	0.6	0.6	0.0	0.6	0.6	100.0	98.4	98.4	100.0	97.3	97.4	100.0	98.4	98.4	100.0	97.3	97.4	100.0	98.4	98.4	100.0	97.3	97.4					
子宮	-	9.80	9.80	-	2.3	2.3	-	0.8	0.8	-	0.8	0.8	-	97.9	97.9	-	96.6	96.6	-	97.9	97.9	-	96.6	96.6	-	97.9	97.9	-	96.6	96.6					
子宮頸部	-	14.92	14.92	-	1.0	1.0	-	0.3	0.3	-	0.3	0.3	-	99.0	99.0	-	97.6	97.6	-	99.0	99.0	-	97.6	97.6	-	99.0	99.0	-	97.6	97.6					
膀胱	6.71	3.10	5.53	1.9	5.1	2.5	0.8	2.6	1.1	0.8	2.6	1.1	97.0	89.7	95.7	94.0	85.1	92.4	97.0	89.7	95.7	94.0	85.1	92.4	97.0	89.7	95.7	94.0	85.1	92.4					

*1 粘膜炎を含む

表8. 精度指標； 部位別、性別
B'. 上皮内がんを含む

2012年

部位	死亡情報で初めて把握された症例 DGN (%)						死亡情報のみの症例 DCO (%)						病理学的裏付けのある症例 MV (%)						組織学的裏付けのある症例 HV (%)																
	男		女		男女計		男		女		男女計		男		女		男女計		男		女		男女計		男		女		男女計						
	ICD-10						ICD-10						ICD-10						ICD-10						ICD-10						ICD-10				
全部位	5.1	6.7	5.8	5.1	6.7	5.8	1.9	2.9	2.3	1.7	2.7	2.1	89.5	88.7	89.2	86.2	85.6	85.9	89.5	88.7	89.2	86.2	85.6	85.9	89.5	88.7	89.2	86.2	85.6	85.9					
食道	3.6	3.3	3.5	1.5	1.5	1.4	1.5	1.1	1.4	1.5	1.1	1.4	96.4	95.6	96.3	95.8	95.6	95.8	96.4	95.6	96.3	95.8	95.6	95.8	96.4	95.6	96.3	95.8	95.6	95.8					
大腸 (結腸・直腸) *1	1.9	5.1	3.2	0.7	2.3	1.3	0.7	2.3	1.3	0.7	2.3	1.3	97.2	93.4	95.7	97.2	93.4	95.7	97.2	93.4	95.7	97.2	93.4	95.7	97.2	93.4	95.7	97.2	93.4	95.7					
結腸 *1	2.1	5.6	3.6	0.8	2.6	1.5	0.8	2.6	1.5	0.8	2.6	1.5	96.7	92.7	95.0	96.6	92.7	95.0	96.7	92.7	95.0	96.6	92.7	95.0	96.7	92.7	95.0	96.6	92.7	95.0					
直腸 *1	1.6	3.8	2.4	0.5	1.4	0.8	0.5	1.4	0.8	0.5	1.4	0.8	98.3	95.2	97.2	98.3	95.2	97.2	98.3	95.2	97.2	98.3	95.2	97.2	98.3	95.2	97.2	98.3	95.2	97.2					
肺	11.0	12.6	11.5	5.3	5.8	5.4	4.4	5.4	4.7	4.4	5.4	4.7	80.5	82.0	81.0	66.6	69.4	67.5	80.5	82.0	81.0	66.6	69.4	67.5	80.5	82.0	81.0	66.6	69.4	67.5					
皮膚	0.7	1.3	1.0	0.4	0.0	0.2	0.4	0.0	0.2	0.4	0.0	0.2	99.6	100.0	99.8	99.6	100.0	99.8	99.6	100.0	99.8	99.6	100.0	99.8	99.6	100.0	99.8	99.6	100.0	99.8					
乳房	0.0	2.0	2.0	0.0	0.6	0.6	0.0	0.6	0.6	0.0	0.6	0.6	100.0	98.4	98.4	100.0	97.3	97.4	100.0	98.4	98.4	100.0	97.3	97.4	100.0	98.4	98.4	100.0	97.3	97.4					
子宮	-	2.3	2.3	-	0.8	0.8	-	0.8	0.8	-	0.8	0.8	-	97.9	97.9	-	96.6	96.6	-	97.9	97.9	-	96.6	96.6	-	97.9	97.9	-	96.6	96.6					
子宮頸部	-	1.0	1.0	-	0.3	0.3	-	0.3	0.3	-	0.3	0.3	-	99.0	99.0	-	97.6	97.6	-	99.0	99.0	-	97.6	97.6	-	99.0	99.0	-	97.6	97.6					
膀胱	1.9	5.1	2.5	0.8	2.6	1.1	0.8	2.6	1.1	0.8	2.6	1.1	97.0	89.7	95.7	94.0	85.1	92.4	97.0	89.7	95.7	94.0	85.1	92.4	97.0	89.7	95.7	94.0	85.1	92.4					

*1 粘膜炎を含む

表9. 死亡数、死亡割合(%)、粗死亡率、年齢調整死亡率(人口10万対)及び累積死亡率(人口100対)；部位別、性別 2012年

部位	死亡数		死亡割合(%)				粗死亡率				年齢調整死亡率				累積死亡率(0-74歳)			
	1CD-10		男		女		男		女		男		女		男		女	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
全部位	4,907	3,307	8,214	100.0	100.0	100.0	288.4	173.7	84.3	122.4	118.1	59.3	84.6	12.3	6.1	9.0		
口腔・咽頭	81	55	136	1.7	1.7	1.7	3.7	2.9	1.2	2.0	2.0	0.8	1.4	0.2	0.1	0.2		
食道	191	43	234	3.9	1.3	2.8	2.9	7.0	1.2	3.8	4.9	0.8	2.7	0.6	0.1	0.3		
胃	721	379	1,100	14.7	11.5	13.4	25.7	25.6	9.2	16.3	17.2	6.6	11.2	1.8	0.7	1.2		
大腸(結腸・直腸)	533	441	974	10.9	13.3	11.9	38.8	19.1	10.4	14.2	13.2	7.3	9.9	1.4	0.7	1.1		
結腸	352	320	672	7.2	9.7	8.2	21.7	12.1	7.1	9.2	8.3	5.0	6.4	0.9	0.5	0.7		
直腸	181	121	302	3.7	3.7	3.7	8.2	7.0	3.3	5.0	4.9	2.4	3.5	0.6	0.3	0.4		
肝および肝内胆管	607	339	946	12.4	10.3	11.5	44.2	22.4	7.1	14.1	15.5	4.5	9.6	1.8	0.4	1.1		
胆のう・胆管	203	188	391	4.1	5.7	4.8	14.8	6.6	4.0	5.1	4.3	2.8	3.4	0.4	0.3	0.3		
膵臓	333	314	647	6.8	9.5	7.9	24.3	12.4	7.3	9.7	8.6	4.9	6.6	1.0	0.5	0.7		
喉頭	27	1	28	0.6	0.0	0.3	2.0	1.0	0.0	0.5	0.7	0.0	0.3	0.1	0.0	0.0		
肺	1,122	504	1,626	22.9	15.2	19.8	81.7	39.4	12.3	24.0	26.7	8.5	16.4	2.9	0.9	1.9		
皮膚	16	13	29	0.3	0.4	0.4	1.2	0.5	0.2	0.3	0.4	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0		
乳房	2	274	276	0.0	8.3	3.4	0.1	18.6	10.9	5.8	0.0	8.2	4.3	0.0	0.9	0.5		
子宮	-	115	115	-	3.5	1.4	7.8	-	3.8	-	-	2.8	-	-	0.3	-		
子宮頸部	-	52	52	-	1.6	0.6	3.5	-	2.0	-	-	1.5	-	-	0.1	-		
子宮体部	-	35	35	-	1.1	0.4	2.4	-	1.1	-	-	0.8	-	-	0.1	-		
卵巢	-	84	84	-	2.5	1.0	5.7	-	3.6	-	-	2.7	-	-	0.3	-		
前立腺	250	-	250	5.1	-	3.0	18.2	7.2	-	-	4.5	-	-	0.3	-	-		
膀胱	130	63	193	2.6	1.9	2.3	6.8	3.8	1.1	2.2	2.4	0.7	1.4	0.2	0.1	0.1		
腎・尿路(膀胱除く)	128	78	206	2.6	2.4	2.5	9.3	4.5	1.8	3.0	3.0	1.2	2.0	0.3	0.1	0.2		
脳・中枢神経系	36	20	56	0.7	0.6	0.7	1.4	1.7	0.9	1.3	1.3	0.7	1.0	0.1	0.1	0.1		
甲状腺	6	25	31	0.1	0.8	0.4	1.7	0.2	0.5	0.4	0.1	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0		
悪性リンパ腫	158	119	277	3.2	3.6	3.4	11.5	5.7	2.6	4.0	3.9	1.8	2.7	0.3	0.2	0.2		
多発性骨髄腫	52	48	100	1.1	1.5	1.2	3.8	1.7	1.1	1.4	1.1	0.8	0.9	0.1	0.1	0.1		
白血病	107	56	163	2.2	1.7	2.0	7.8	3.8	1.6	2.5	2.6	1.3	1.8	0.3	0.1	0.2		

表10. 年齢階級別死亡数、死亡割合(%)：部別、性別

性別	部位	100-110		0-4歳		5-9歳		10-14歳		15-19歳		20-24歳		25-29歳		30-34歳		35-39歳		40-44歳		45-49歳		50-54歳		55-59歳		60-64歳		65-69歳		70-74歳		75-79歳		80-84歳		85歳以上												
		死亡数	割合(%)	死亡数	割合(%)	死亡数	割合(%)	死亡数	割合(%)	死亡数	割合(%)	死亡数	割合(%)	死亡数	割合(%)	死亡数	割合(%)	死亡数	割合(%)	死亡数	割合(%)	死亡数	割合(%)	死亡数	割合(%)	死亡数	割合(%)	死亡数	割合(%)	死亡数	割合(%)	死亡数	割合(%)	死亡数	割合(%)	死亡数	割合(%)	死亡数	割合(%)	死亡数	割合(%)									
男	全部位	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0							
	口腔・咽頭	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0					
	食道	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0			
	女	全部位	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0	1000	0.0		
		口腔・咽頭	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
		食道	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

表12. 5年相対生存率(%) *1

A. 部位別、性別

2008年

部位	ICD-10	男			女			男女計		
		対象者数	5年相対生存率(%)	標準誤差	対象者数	5年相対生存率(%)	標準誤差	対象者数	5年相対生存率(%)	標準誤差
全部位		8,456	62.9	0.7	6,694	70.1	0.7	15,150	66.1	0.5
口腔・咽頭	C00-C14	181	59.3	4.3	98	67.7	5.6	279	62.5	3.4
食道	C15	291	35.5	3.1	53	62.1	7.5	344	39.8	3.0
胃	C16	1,783	69.8	1.4	853	66.0	1.9	2,636	68.5	1.1
大腸(結腸・直腸)*2	C18-C20	1,277	72.5	1.6	1,026	70.6	1.8	2,303	71.6	1.2
結腸	C18	777	72.5	2.1	714	68.5	2.2	1,491	70.6	1.5
直腸	C19-C20	500	72.5	2.5	312	75.2	3.0	812	73.5	1.9
肝および肝内胆管	C22	666	41.4	2.2	337	35.7	2.9	1,003	39.5	1.7
胆のう・胆管	C23-C24	158	32.2	4.4	144	33.4	4.6	302	32.8	3.2
膵臓	C25	249	10.0	2.1	218	6.7	1.8	467	8.5	1.4
喉頭	C32	109	77.7	5.3	5	81.9	19.1	114	78.1	5.1
肺	C33-C34	1,135	30.9	1.5	576	47.3	2.3	1,711	36.5	1.3
皮膚	C43-C44	175	91.7	4.8	176	95.4	4.6	351	94.2	3.3
乳房	C50	11	88.2	13.9	1,455	93.7	0.9	1,466	93.8	0.9
子宮	C53-C55	-	-	-	431	82.7	2.1	431	82.7	2.1
子宮頸部	C53	-	-	-	204	75.8	3.3	204	75.8	3.3
子宮体部	C54	-	-	-	221	90.0	2.4	221	90.0	2.4
卵巣	C56	-	-	-	132	64.7	4.4	132	64.7	4.4
前立腺	C61	1,120	99.4	1.5	-	-	-	1,120	99.4	1.5
膀胱	C67	304	82.0	3.5	102	66.3	6.0	406	78.5	3.0
腎・尿路(膀胱除く)	C64-C66 C68	263	75.0	3.3	147	76.9	4.3	410	76.3	2.6
脳・中枢神経系	C70-C72	43	37.6	8.0	38	35.3	8.2	81	36.5	5.7
甲状腺	C73	79	94.7	3.8	365	96.8	1.3	444	96.6	1.3
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	234	70.1	3.7	249	70.9	3.4	483	70.5	2.5
多発性骨髄腫	C88-C90	58	37.1	7.7	49	40.8	7.8	107	39.0	5.5
白血病	C91-C95	107	33.2	4.9	76	41.3	6.0	183	36.6	3.8
小児がん		32	79.1	7.7	17	93.3	6.4	49	84.2	5.5

*1 補充届出患者を含まない

*2 粘膜がんを含まない

表12. 5年相対生存率(%) *1

B. 主要部位別、性別、臨床進行度別

2008年

部位	ICD-10	臨床 進行度	男			女			男女計		
			対象者数	5年相対生存率	標準誤差	対象者数	5年相対生存率	標準誤差	対象者数	5年相対生存率	標準誤差
全部位	C00-C96	限局	3,583	92.0	0.8	3,122	94.2	0.7	6,705	93.0	0.6
		領域	2,074	52.4	1.3	1,781	67.6	1.3	3,855	59.5	0.9
		遠隔	1,567	13.1	0.9	1,000	14.8	1.2	2,567	13.8	0.7
		不明	1,232	59.2	1.8	791	49.5	2.1	2,023	55.3	1.4
		合計	8,456	62.9	0.7	6,694	70.1	0.7	15,150	66.1	0.5
胃	C16	限局	961	97.4	1.5	457	96.1	1.8	1,418	97.3	1.1
		領域	386	57.2	3.1	186	49.5	4.2	572	54.6	2.5
		遠隔	313	7.8	1.6	133	1.9	1.3	446	6.1	1.2
		不明	123	37.7	5.4	77	23.6	6.0	200	32.2	4.1
		合計	1,783	69.8	1.4	853	66.0	1.9	2,636	68.5	1.1
大腸(結腸・直腸)*2	C18-C20	限局	580	95.5	2.0	430	97.7	1.9	1,010	96.6	1.4
		領域	402	74.5	2.9	320	73.0	3.1	722	73.8	2.1
		遠隔	225	18.4	2.8	210	17.3	2.8	435	17.9	2.0
		不明	70	45.2	6.9	66	43.1	7.3	136	45.1	5.0
		合計	1,277	72.5	1.6	1,026	70.6	1.8	2,303	71.6	1.2
結腸	C18	限局	354	96.1	2.6	283	96.9	2.5	637	96.6	1.8
		領域	242	75.0	3.8	239	71.8	3.7	481	73.4	2.7
		遠隔	148	12.8	3.0	149	15.4	3.2	297	14.1	2.2
		不明	33	51.6	10.5	43	39.8	8.9	76	45.7	6.8
		合計	777	72.5	2.1	714	68.5	2.2	1,491	70.6	1.5
直腸	C19-C20	限局	226	91.4	3.0	147	98.6	2.8	373	94.7	2.2
		領域	160	73.9	4.3	81	76.5	5.8	241	74.8	3.5
		遠隔	77	29.0	5.7	61	22.0	5.7	138	25.9	4.1
		不明	37	40.1	9.0	23	47.6	12.6	60	44.5	7.3
		合計	500	72.5	2.5	312	75.2	3.0	812	73.5	1.9
肝および肝内胆管	C22	限局	390	60.2	3.0	214	46.4	3.8	604	55.3	2.4
		領域	141	16.0	3.4	50	22.0	6.6	191	17.6	3.0
		遠隔	48	4.9	3.4	28	3.8	3.9	76	4.6	2.6
		不明	87	19.0	4.7	45	17.3	6.5	132	18.3	3.8
		合計	666	41.4	2.2	337	35.7	2.9	1,003	39.5	1.7
肺	C33-C34	限局	292	80.9	3.2	212	97.4	2.2	504	88.4	2.1
		領域	319	29.2	2.8	125	37.2	4.8	444	31.4	2.5
		遠隔	454	3.4	0.9	204	5.4	1.7	658	4.0	0.8
		不明	70	9.4	4.0	35	13.6	6.4	105	10.8	3.4
		合計	1,135	30.9	1.5	576	47.3	2.3	1,711	36.5	1.3
乳房	C50	限局	6	100.0	0.0	870	99.8	0.8	876	99.9	0.8
		領域	4	77.0	24.0	409	92.7	1.8	413	92.6	1.8
		遠隔	0	74	35.4	5.8	74	35.4	5.8
		不明	1	0.0	0.0	102	81.5	4.7	103	80.9	4.7
		合計	11	88.2	13.9	1,455	93.7	0.9	1,466	93.8	0.9
子宮	C53-C55	限局	-	-	-	241	99.3	1.2	241	99.3	1.2
		領域	-	-	-	126	72.0	4.4	126	72.0	4.4
		遠隔	-	-	-	34	9.2	5.1	34	9.2	5.1
		不明	-	-	-	30	70.5	9.4	30	70.5	9.4
		合計	-	-	-	431	82.7	2.1	431	82.7	2.1
子宮頸部	C53	限局	-	-	-	88	95.9	2.6	88	95.9	2.6
		領域	-	-	-	81	68.3	5.8	81	68.3	5.8
		遠隔	-	-	-	17	12.4	8.2	17	12.4	8.2
		不明	-	-	-	18	67.1	12.3	18	67.1	12.3
		合計	-	-	-	204	75.8	3.3	204	75.8	3.3
子宮体部	C54	限局	-	-	-	153	99.4	1.2	153	99.4	1.2
		領域	-	-	-	44	79.9	6.6	44	79.9	6.6
		遠隔	-	-	-	15	6.8	6.6	15	6.8	6.6
		不明	-	-	-	9	76.1	16.0	9	76.1	16.0
		合計	-	-	-	221	90.0	2.4	221	90.0	2.4
前立腺	C61	限局	514	100.0	1.6	-	-	-	514	100.0	1.6
		領域	159	100.0	3.6	-	-	-	159	100.0	3.6
		遠隔	110	46.8	6.0	-	-	-	110	46.8	6.0
		不明	337	98.8	2.9	-	-	-	337	98.8	2.9
		合計	1,120	99.4	1.5	-	-	-	1,120	99.4	1.5

*1 補充届出患者を含まない

*2 粘膜がんを含まない

付表1. がん罹患数及び罹患率； 詳細部位別、性別

2012年

部位	国際疾病 分類 ICD-10	罹患数			割合(%)			粗罹患率			年齢調整罹患率			世界人口			累積罹患率(0-74歳)		
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	日本人人口			世界人口			累積罹患率(0-74歳)		
											男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
上皮内がん																			
全部位	D00-D09	1,555	1,428	2,983	13.0	16.4	14.4	113.3	96.8	104.7	64.9	78.6	70.0	46.8	62.8	53.7	5.9	6.0	5.9
口腔、食道および胃	D00	74	28	102	0.6	0.3	0.5	5.4	1.9	3.6	3.1	1.0	2.0	2.3	0.7	1.4	0.3	0.1	0.2
食道	D001	58	11	69	0.5	0.1	0.3	4.2	0.7	2.4	2.5	0.4	1.4	1.8	0.3	1.0	0.2	0.0	0.1
その他および部位不明の消化器	D01	928	437	1,365	7.7	5.0	6.6	67.6	29.6	47.9	41.0	17.2	28.3	30.2	12.8	21.0	3.9	1.6	2.7
結腸	D010	685	338	1,023	5.7	3.9	4.9	49.9	22.9	35.9	29.9	13.4	21.0	22.0	10.0	15.6	2.9	1.3	2.0
直腸S状結腸移行部	D011	29	15	44	0.2	0.2	0.2	2.1	1.0	1.5	1.3	0.7	1.0	0.9	0.5	0.7	0.1	0.1	0.1
直腸	D012	203	73	276	1.7	0.8	1.3	14.8	4.9	9.7	9.4	2.7	5.9	7.0	2.0	4.4	0.9	0.2	0.5
中耳および呼吸器系	D02	6	4	10	0.1	0.0	0.0	0.4	0.3	0.4	0.3	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
気管	D021	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
気管支および肺	D022	1	3	4	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
上皮内黒色腫	D03	3	3	6	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
皮膚のその他	D04	51	78	129	0.4	0.9	0.6	3.7	5.3	4.5	1.7	1.6	1.7	1.1	1.1	1.1	0.1	0.1	0.1
乳房	D05	1	212	213	0.0	2.4	1.0	0.1	14.4	7.5	0.0	11.1	5.7	0.0	8.7	4.4	0.0	0.9	0.5
子宮頸部	D06	-	555	555	-	6.4	2.7	-	37.6	19.5	-	44.2	21.9	-	37.0	18.4	-	3.0	1.5
その他および部位不明の生殖器	D07	6	16	22	0.1	0.2	0.1	0.4	1.1	0.8	0.3	0.7	0.5	0.2	0.5	0.3	0.0	0.1	0.0
その他および部位不明	D09	486	95	581	4.1	1.1	2.8	35.4	6.4	20.4	18.4	2.5	9.6	12.7	1.7	6.7	1.5	0.2	0.8
膀胱	D090	466	83	549	3.9	1.0	2.7	33.9	5.6	19.3	17.6	2.2	9.1	12.1	1.5	6.4	1.5	0.2	0.8
良性腫瘍																			
髄膜	D32	39	125	164	0.3	1.4	0.8	2.8	8.5	5.8	1.6	5.3	3.5	1.2	4.0	2.6	0.1	0.5	0.3
脳および中枢神経系	D33	13	16	29	0.1	0.2	0.1	0.9	1.1	1.0	0.8	0.8	0.8	0.6	0.7	0.6	0.1	0.1	0.1
下垂体、嗅蓋明眼管、松果体	D352-D354	34	34	68	0.3	0.4	0.3	2.5	2.3	2.4	1.9	2.1	2.0	1.5	1.8	1.6	0.2	0.2	0.2
性状不詳または不明の腫瘍																			
髄膜	D42	8	4	12	0.1	0.0	0.1	0.6	0.3	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0
脳および中枢神経系	D43	24	33	57	0.2	0.4	0.3	1.7	2.2	2.0	1.5	1.3	1.4	1.3	1.0	1.2	0.1	0.1	0.1
下垂体、嗅蓋明眼管、松果体	D443-D445	4	5	9	0.0	0.1	0.0	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0
真正赤血球増多症	D45	1	1	2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
骨髄異形成症候群	D46	100	72	172	0.8	0.8	0.8	7.3	4.9	6.0	3.4	1.6	2.4	2.3	1.1	1.6	0.2	0.1	0.2
慢性骨増殖性疾患 *1	D47	15	17	32	0.1	0.2	0.2	1.1	1.2	1.1	0.7	0.5	0.6	0.6	0.3	0.4	0.1	0.0	0.0

*1 ICD-0-3により性状3に分類される形態

付表2. がん死亡数及び死亡率； 詳細部位別、性別

2012年

部位	国際疾病 分類 ICD-10	死亡数			割合(%)			粗死亡率			年齢調整死亡率			累積死亡率(0-74歳)					
											日本人口			世界人口					
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
良性腫瘍																			
髄膜	D32	2	4	6	0.0	0.1	0.1	0.1	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
脳および中枢神経系	D33	1	0	1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他および部位不明の内分泌腺	D35	2	0	2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性状不詳または不明の腫瘍																			
悪性腫瘍																			
髄膜	D42	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
脳および中枢神経系	D43	20	36	56	0.4	1.1	0.7	1.5	2.4	2.0	0.8	1.1	1.0	0.6	0.9	0.7	0.1	0.1	0.1
内分泌腺	D44	2	1	3	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
真正赤血球増多症	D45	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
骨髄異形成症候群	D46	67	38	105	1.4	1.1	1.3	4.9	2.6	3.7	2.0	0.7	1.2	1.3	0.5	0.8	0.1	0.0	0.1
リンパ組織、造血組織および関連組織	D47	3	2	5	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0

付表3. 受療割合詳細 (%) ; 部位別
A. 上皮内がんを除く

国内DC0を除く届出患者、男女計

2012年

部位	ICD-10	集計対象数	単独療法 *1										併用療法 *1					不明
			外科	体腔鏡	内視鏡	放射線	化学	免疫	内分泌	切除+放射線	切除+放射線	薬物+放射線	薬物+放射線	薬物	切除+放射線	薬物	その他*3	
全部位	C00-C96	20,150	17.1	9.5	7.1	1.6	8.6	0.0	2.6	1.1	15.6	3.9	0.1	3.9	6.5	22.3		
口腔・咽頭	C00-C14	411	22.1	0.0	0.7	6.3	2.9	0.0	0.0	4.6	5.6	28.0	0.0	8.3	1.9	19.5		
食道	C15	489	8.2	1.4	15.5	3.9	4.1	0.0	0.0	0.2	11.0	23.3	0.0	9.8	2.0	20.4		
胃	C16	3,128	19.4	8.9	27.9	0.2	6.6	0.0	0.0	0.0	13.7	0.3	0.1	0.1	4.7	18.0		
大腸 (結腸・直腸)	C18-C20	3,033	23.3	16.7	7.0	0.2	2.6	0.0	0.0	0.3	25.8	0.3	0.0	1.2	7.3	15.4		
結腸	C18	1,994	24.8	16.9	6.1	0.2	2.6	0.0	0.0	0.1	25.2	0.0	0.0	0.4	7.8	16.0		
直腸	C19-C20	1,039	20.3	16.5	8.7	0.2	2.8	0.0	0.1	0.7	26.8	0.8	0.0	2.9	6.4	14.1		
肝および肝内胆管	C22	1,206	15.6	2.9	0.7	0.5	5.8	0.0	0.0	0.2	2.7	1.0	0.2	0.2	43.5	26.7		
胆のう・胆管	C23-C24	495	18.8	1.8	11.5	0.0	9.9	0.0	0.0	0.2	19.0	0.4	0.0	0.6	9.9	27.9		
膵臓	C25	766	7.8	0.4	4.0	0.3	24.9	0.0	0.0	0.0	23.0	3.1	0.0	2.2	6.1	28.1		
喉頭	C32	111	3.6	0.0	0.0	25.2	0.9	0.0	0.0	6.3	0.9	35.1	0.0	6.3	3.6	18.0		
肺	C33-C34	2,488	4.5	23.3	0.1	4.2	17.3	0.0	0.0	0.3	9.2	10.1	0.0	1.2	3.9	25.8		
皮膚	C43-C44	454	61.5	0.0	0.0	0.9	0.4	0.0	0.0	1.1	4.4	0.0	0.0	0.2	0.2	31.3		
乳房	C50	1,715	13.6	0.0	0.0	0.3	3.1	0.0	2.1	7.0	31.4	0.4	0.8	28.2	0.5	12.6		
乳房 (女性のみ)	C50	1,699	13.4	0.0	0.0	0.4	3.1	0.0	2.1	7.0	31.3	0.4	0.8	28.4	0.5	12.6		
子宮	C53-C55	563	42.1	0.0	0.0	3.9	2.1	0.0	0.4	1.2	24.7	7.1	0.2	2.3	0.7	15.3		
子宮頸部	C53	219	32.0	0.0	0.0	7.3	1.8	0.0	0.0	1.8	16.9	18.3	0.0	4.1	0.5	17.4		
子宮体部	C54	330	50.3	0.0	0.0	1.8	2.4	0.0	0.6	0.9	30.6	0.0	0.3	1.2	0.6	11.2		
卵巣	C56	191	17.3	1.0	0.0	0.0	6.8	0.0	0.0	0.0	58.6	0.0	0.0	0.0	1.0	15.2		
前立腺	C61	1,760	10.5	15.2	0.9	2.4	0.1	0.2	28.0	0.1	5.1	5.9	0.3	0.3	1.0	30.2		
膀胱	C67	506	4.9	0.6	26.7	0.4	1.8	0.4	0.0	2.6	28.3	0.4	0.0	2.4	7.5	24.1		
腎・尿路 (膀胱除く)	C64-C66 C68	561	23.2	35.5	0.0	0.9	3.6	0.5	0.0	0.2	9.6	0.4	0.0	1.8	4.3	20.1		
脳・中枢神経系	C70-C72	96	17.7	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	5.2	8.3	0.0	36.5	0.0	25.0		
甲状腺	C73	483	51.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	25.7	0.2	0.0	3.1	0.2	18.0		
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	711	2.4	1.0	0.1	2.3	44.4	0.0	0.0	0.3	3.7	2.4	0.1	1.0	5.1	37.3		
多発性骨髄腫	C88-C90	142	0.0	0.0	0.0	4.2	43.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	9.2	40.1		
白血病	C91-C95	247	0.0	0.0	0.0	0.0	56.7	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	17.8	25.1		

*1 切除は外科・体腔鏡・内視鏡的療法、薬物は化学・免疫・内分泌療法を指す。

*2 化学、免疫、内分泌療法の内いずれかの併用

*3 単独療法及び併用療法のいずれの項目にも含まれないものを指す (1) その他の治療 (TAE、PEITなど) の実施 (2) 外科、体腔鏡、内視鏡的療法のいずれかの併用

付表3. 受療割合詳細 (%) : 部位別
B. 上皮内がんを含む

国内DCOを除く届出患者、男女計

2012年

部位	ICD-10	単独療法										併用療法 *2									
		外科	体腔鏡	内視鏡	放射線	化学	免疫	内分泌	切除+放射線	切除+薬物	薬物+放射線	薬物	*3 切除+放射線+薬物	その他*4	不明						
全部位	C00-C96 D00-D09	23,133	18.0	8.5	11.0	1.4	7.5	0.1	2.3	1.2	14.3	3.4	0.1	3.5	5.9	22.7					
食道	C15 D001	558	7.2	1.3	22.6	3.4	3.8	0.0	0.0	0.2	9.7	20.4	0.0	8.6	1.8	21.1					
大腸 (結腸・直腸) *1	C18-C20 D010-D012	4,376	17.2	12.4	24.5	0.1	1.8	0.0	0.0	0.2	17.9	0.2	0.0	0.8	5.6	19.3					
結腸 *1	C18 D010	3,017	17.5	12.2	25.6	0.1	1.7	0.0	0.0	0.1	16.8	0.0	0.0	0.2	5.7	20.2					
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	1,359	16.5	12.8	22.2	0.1	2.1	0.0	0.1	0.5	20.5	0.6	0.0	2.2	5.2	17.2					
肺	C33-C34 D021-D022	2,492	4.5	23.4	0.1	4.2	17.3	0.0	0.0	0.3	9.2	10.1	0.0	1.2	3.9	25.9					
皮膚	C43-C44 D030-D049	589	62.0	0.0	0.0	0.7	0.5	0.2	0.0	1.0	3.4	0.0	0.0	0.2	0.3	31.7					
乳房	C50 D05	1,928	15.7	0.0	0.0	0.3	2.7	0.0	1.9	9.0	29.1	0.4	0.7	26.7	0.5	12.9					
乳房 (女性のみ)	C50 D05	1,911	15.5	0.0	0.0	0.3	2.8	0.0	1.9	9.1	29.0	0.4	0.7	26.9	0.5	12.9					
子宮	C53-C55 D06	1,118	61.7	0.1	1.4	2.0	1.1	0.0	0.2	0.6	12.4	3.6	0.1	1.2	1.6	14.0					
子宮頸部	C53 D06	774	67.6	0.1	2.1	2.1	0.5	0.0	0.0	0.5	4.8	5.2	0.0	1.2	1.9	14.1					
膀胱	C67 D090	1,055	4.9	0.4	29.1	0.2	0.9	1.3	0.0	1.2	26.3	0.2	0.2	1.2	5.4	28.6					

*1 粘膜がんを含む

*2 切除は外科・体腔鏡・内視鏡的療法、薬物は化学・免疫療法・内分泌療法を指す。

*3 化学、免疫、内分泌療法のいずれかの併用

*4 単独療法及び併用療法のいずれかの項目にも含まれないものを指す (1) その他の治療 (TAE、PEITなど) の実施 (2) 外科、体腔鏡、内視鏡的療法のいずれかの併用

付表4. 医療圏別、保健所別罹患数： 部位別、性別

A. 上皮内がんを除く

2012年

医療圏/保健所	全部位 000-C96												胃 C16		大腸(直腸・横膈) C18-C20		結腸 C18		直腸 C19-C20		肝臓 C22		肺 C33-C34		乳房 C50		子宮 C53-C55		子宮頸部 C53		子宮体部 C54		前立腺 G61	
	男		女		男		女		男		女		男		女		男		女		男		女		男		女		男		女			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
広島県	11,994	8,103	20,997	2,195	973	3,168	1,732	1,338	3,091	1,115	926	2,041	637	413	1,050	845	451	1,296	1,766	865	2,631	16	1,711	1,727	572	221	333	21	1,772					
広島広域	6,326	4,997	11,823	1,242	544	1,786	1,009	794	1,793	652	555	1,207	357	229	596	455	240	695	939	485	1,424	3	1,021	1,024	323	126	188	12	1,008					
呉広域	1,447	1,014	2,461	259	115	374	205	156	381	134	107	241	71	49	120	114	58	172	223	114	337	4	178	182	60	29	30	30	204					
備後広域	3,202	2,325	5,527	590	288	868	466	336	802	279	219	498	187	117	304	240	138	378	533	233	766	9	455	464	158	59	92	59	447					
備北広域	518	367	885	103	46	149	72	63	135	50	45	95	22	18	40	36	15	51	71	33	104	0	57	57	31	7	23	23	83					
県内医療圏不定	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
広島	5,365	3,955	9,320	990	433	1,423	789	613	1,402	514	430	944	275	183	458	349	183	532	722	388	1,110	3	820	823	254	102	145	102	807					
広島西	679	425	1,104	100	39	139	103	68	171	69	52	121	34	16	50	40	29	69	110	36	146	0	96	96	34	11	23	11	142					
呉	1,447	1,014	2,461	259	115	374	205	156	381	134	107	241	71	49	120	114	58	172	223	114	337	4	178	182	60	29	30	30	204					
広島中央	782	617	1,399	152	72	224	117	100	230	69	73	142	48	30	76	66	28	94	107	61	168	0	105	105	35	13	20	20	89					
尾三	1,234	883	2,117	214	107	321	170	133	303	102	88	190	68	45	113	97	54	151	211	99	310	3	161	164	49	17	31	17	192					
福山・府中	1,968	1,442	3,410	376	161	537	296	200	499	177	131	308	119	72	191	143	84	227	322	134	456	6	294	300	109	42	61	42	255					
備北	518	367	885	103	46	149	72	63	135	50	45	95	22	18	40	36	15	51	71	33	104	0	57	57	31	7	23	23	83					
県内保健所不定	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					

付表4. 医療圏別、保健所別罹患数： 部位別、性別

B. 上皮内がんを含む

2012年

医療圏/保健所	全部位												大腸(結腸・直腸)		結腸		直腸		肺		乳房		子宮		子宮頸部				
	男		女		男		女		男		女		男		女		男		女		男		女		男		女		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
広島県	13,549	10,131	23,680	2,669	1,765	4,434	1,800	1,264	3,064	869	501	1,370	1,767	868	2,635	17	1,923	1,940	486	1,426	4	1,127	1,166	648	17	1,923	1,940	776	
広島広域	7,803	5,900	13,703	1,611	1,069	2,680	1,092	787	1,879	519	282	801	940	486	1,426	4	1,162	1,166	223	114	337	4	199	203	106	4	199	203	451
呉広域	1,652	1,171	2,823	343	221	564	242	159	401	101	62	163	223	114	337	4	199	203	533	235	768	9	497	506	320	9	497	506	75
備後広域	3,494	2,636	6,130	599	391	990	383	260	643	216	131	347	533	235	768	9	497	506	71	33	104	0	65	65	53	0	65	65	221
備北広域	599	424	1,023	116	84	200	83	58	141	33	26	59	71	33	104	0	65	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29
県内医療圏不定	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広島	6,184	4,687	10,871	1,312	856	2,168	894	629	1,523	418	227	645	723	388	1,111	4	933	937	486	1,426	4	514	514	648	17	1,923	1,940	362	
広島西	764	492	1,256	144	88	232	99	69	168	45	19	64	110	36	146	0	109	109	223	114	337	4	199	203	106	4	199	203	36
呉	1,652	1,171	2,823	343	221	564	242	159	401	101	62	163	223	114	337	4	199	203	533	235	768	9	497	506	320	9	497	506	75
広島中央	855	721	1,576	155	125	280	99	89	188	56	36	92	107	62	169	0	120	120	71	33	104	0	65	65	53	0	65	65	53
尾三	1,371	987	2,358	242	160	402	160	108	268	82	52	134	211	100	311	3	170	173	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60
福山・府中	2,123	1,649	3,772	357	231	588	223	152	375	134	79	213	322	135	457	6	327	333	71	33	104	0	65	65	53	0	65	65	161
備北	599	424	1,023	116	84	200	83	58	141	33	26	59	71	33	104	0	65	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29
県内保健所不定	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

*1 粘膜がんを含む

付表4-C1 標準化死亡率(全国との比較)： 部位別、性別

2012年

部位	ICD-10	男			女		
		死亡数	標準化死亡率(95%信頼区間)		死亡数	標準化死亡率(95%信頼区間)	
全部位	C00-C97	4907	1.00	(0.97 - 1.03)	3307	0.96	(0.93 - 0.99)
食道	C15	191	0.86	(0.74 - 0.99)	43	0.98	(0.69 - 1.27)
胃	C16	721	0.98	(0.91 - 1.05)	379	0.94	(0.85 - 1.04)
結腸	C18	352	0.96	(0.86 - 1.06)	320	0.83	(0.74 - 0.92)
直腸	C19-C20	181	0.84	(0.71 - 0.96)	121	0.92	(0.76 - 1.09)
肝および肝内胆管	C22	607	1.33	(1.23 - 1.44)	339	1.35	(1.21 - 1.50)
胆のう・胆管	C23-C24	203	0.99	(0.85 - 1.13)	188	0.85	(0.73 - 0.97)
膵臓	C25	333	0.94	(0.84 - 1.05)	314	0.92	(0.82 - 1.03)
肺	C33-C34	1122	0.96	(0.90 - 1.01)	504	1.06	(0.97 - 1.15)
乳房	C50	2	1.00	(-0.39 - 2.39)	274	0.95	(0.84 - 1.06)
子宮	C53-C55	0			115	0.81	(0.67 - 0.96)
卵巣	C56	0			84	0.78	(0.61 - 0.94)
前立腺	C61	250	0.97	(0.85 - 1.09)	0		
膀胱	C67	130	1.12	(0.93 - 1.32)	63	1.14	(0.86 - 1.42)
悪性リンパ腫	C81-C85,C96	158	1.14	(0.96 - 1.31)	119	1.05	(0.86 - 1.24)
白血病	C91-C95	107	0.99	(0.80 - 1.18)	56	0.77	(0.57 - 0.97)

付表4-C2 二次保健医療圏別標準化死亡率(広島県との比較)： 部位別、性別

医療圏	部位	ICD-10	男			女		
			死亡数	標準化死亡率(95%信頼区間)		死亡数	標準化死亡率(95%信頼区間)	
広島	全部位	C00-C97	1,970	0.98	(0.94 - 1.03)	1,350	1.01	(0.96 - 1.07)
	胃	C16	273	0.93	(0.82 - 1.04)	163	1.07	(0.91 - 1.24)
	結腸	C18	154	1.08	(0.91 - 1.26)	144	1.13	(0.95 - 1.32)
	直腸	C19-C20	75	0.99	(0.76 - 1.21)	44	0.90	(0.63 - 1.16)
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	229	1.06	(0.92 - 1.19)	188	1.07	(0.92 - 1.22)
	肝および肝内胆管	C22	227	0.90	(0.78 - 1.01)	152	1.14	(0.96 - 1.32)
	肺	C33-C34	445	0.97	(0.88 - 1.06)	216	1.06	(0.92 - 1.21)
	乳房	C50	1	1.00	(-0.96 - 2.96)	119	1.01	(0.83 - 1.19)
	子宮	C53-C55	0			45	0.92	(0.65 - 1.19)
	前立腺	C61	103	1.07	(0.87 - 1.28)			
	広島西	全部位	C00-C97	238	0.92	(0.80 - 1.03)	159	0.94
胃		C16	35	0.92	(0.62 - 1.23)	14	0.74	(0.35 - 1.12)
結腸		C18	14	0.74	(0.35 - 1.12)	12	0.75	(0.33 - 1.17)
直腸		C19-C20	9	0.90	(0.31 - 1.49)	8	1.33	(0.41 - 2.26)
大腸(結腸・直腸)		C18-C20	23	0.82	(0.49 - 1.16)	20	0.91	(0.51 - 1.31)
肝および肝内胆管		C22	32	1.00	(0.65 - 1.35)	23	1.35	(0.80 - 1.91)
肺		C33-C34	54	0.90	(0.66 - 1.14)	20	0.77	(0.43 - 1.11)
乳房		C50	0	N.A.	(N.A. - N.A.)	11	0.79	(0.32 - 1.25)
子宮		C53-C55	0			4	0.67	(0.01 - 1.32)
前立腺		C61	13	1.00	(0.46 - 1.54)			
呉		全部位	C00-C97	590	1.09	(1.00 - 1.17)	414	1.12
	胃	C16	102	1.28	(1.03 - 1.52)	40	0.95	(0.66 - 1.25)
	結腸	C18	41	1.05	(0.73 - 1.37)	36	1.00	(0.67 - 1.33)
	直腸	C19-C20	13	0.65	(0.30 - 1.00)	18	1.38	(0.74 - 2.02)
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	54	0.92	(0.67 - 1.16)	54	1.08	(0.79 - 1.37)
	肝および肝内胆管	C22	71	1.06	(0.81 - 1.31)	45	1.15	(0.82 - 1.49)
	肺	C33-C34	142	1.14	(0.95 - 1.32)	63	1.11	(0.83 - 1.38)
	乳房	C50	0	N.A.	(N.A. - N.A.)	30	1.07	(0.69 - 1.45)
	子宮	C53-C55	0			14	1.17	(0.56 - 1.78)
	前立腺	C61	31	1.11	(0.72 - 1.50)			
	広島中央	全部位	C00-C97	341	0.97	(0.86 - 1.07)	244	1.03
胃		C16	66	1.27	(0.96 - 1.58)	32	1.19	(0.77 - 1.60)
結腸		C18	18	0.72	(0.39 - 1.05)	30	1.30	(0.84 - 1.77)
直腸		C19-C20	15	1.15	(0.57 - 1.74)	10	1.11	(0.42 - 1.80)
大腸(結腸・直腸)		C18-C20	33	0.87	(0.57 - 1.16)	40	1.25	(0.86 - 1.64)
肝および肝内胆管		C22	33	0.75	(0.49 - 1.01)	13	0.54	(0.25 - 0.84)
肺		C33-C34	74	0.91	(0.71 - 1.12)	30	0.83	(0.54 - 1.13)
乳房		C50	0	N.A.	(N.A. - N.A.)	21	1.05	(0.60 - 1.50)
子宮		C53-C55	0			5	0.63	(0.08 - 1.17)
前立腺		C61	13	0.76	(0.35 - 1.18)			
尾三		全部位	C00-C97	583	1.04	(0.95 - 1.12)	365	0.97
	胃	C16	81	0.99	(0.77 - 1.20)	42	0.98	(0.68 - 1.27)
	結腸	C18	43	1.05	(0.74 - 1.36)	31	0.84	(0.54 - 1.13)
	直腸	C19-C20	17	0.85	(0.45 - 1.25)	9	0.64	(0.22 - 1.06)
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	60	0.98	(0.73 - 1.23)	40	0.78	(0.54 - 1.03)
	肝および肝内胆管	C22	81	1.19	(0.93 - 1.45)	37	0.93	(0.63 - 1.22)
	肺	C33-C34	134	1.04	(0.86 - 1.21)	69	1.19	(0.91 - 1.47)
	乳房	C50	0	N.A.	(N.A. - N.A.)	26	0.90	(0.55 - 1.24)
	子宮	C53-C55	0			13	1.00	(0.46 - 1.54)
	前立腺	C61	25	0.83	(0.51 - 1.16)			
	福山・府中	全部位	C00-C97	946	1.05	(0.99 - 1.12)	616	1.05
胃		C16	125	0.95	(0.78 - 1.11)	68	1.01	(0.77 - 1.26)
結腸		C18	63	0.98	(0.74 - 1.23)	48	0.84	(0.60 - 1.08)
直腸		C19-C20	37	1.12	(0.76 - 1.48)	21	1.00	(0.57 - 1.43)
大腸(結腸・直腸)		C18-C20	100	1.03	(0.83 - 1.23)	69	0.88	(0.68 - 1.09)
肝および肝内胆管		C22	131	1.17	(0.97 - 1.37)	60	1.00	(0.75 - 1.25)
肺		C33-C34	225	1.09	(0.95 - 1.23)	81	0.90	(0.70 - 1.10)
乳房		C50	1	N.A.	(N.A. - N.A.)	60	1.22	(0.91 - 1.53)
子宮		C53-C55	0			28	1.33	(0.84 - 1.83)
前立腺		C61	49	1.07	(0.77 - 1.36)			
備北		全部位	C00-C97	239	1.01	(0.88 - 1.14)	159	0.94
	胃	C16	39	1.11	(0.76 - 1.46)	20	1.00	(0.56 - 1.44)
	結腸	C18	19	1.06	(0.58 - 1.53)	19	1.12	(0.62 - 1.62)
	直腸	C19-C20	15	1.88	(0.93 - 2.82)	11	1.83	(0.75 - 2.92)
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	34	1.31	(0.87 - 1.75)	30	1.30	(0.84 - 1.77)
	肝および肝内胆管	C22	32	1.14	(0.75 - 1.54)	9	0.50	(0.17 - 0.83)
	肺	C33-C34	48	0.89	(0.64 - 1.14)	25	0.96	(0.58 - 1.34)
	乳房	C50	0	N.A.	(N.A. - N.A.)	7	0.58	(0.15 - 1.02)
	子宮	C53-C55	0			6	1.20	(0.24 - 2.16)
	前立腺	C61	16	1.14	(0.58 - 1.70)			

N. A. =算出不可

付表4-D 二次保健医療圏別標準化罹患比(広島県との比較) : 部位別、性別

2012年

医療圏	部位	ICD-10	男		女	
			罹患数	標準化罹患比(95%信頼区間)	罹患数	標準化罹患比(95%信頼区間)
広島	全部位	C00-C96	5,365	1.06 (1.03 - 1.09)	3,955	1.07 (1.04 - 1.10)
	胃	C16	990	1.07 (1.00 - 1.14)	433	1.08 (0.98 - 1.18)
	結腸	C18	514	1.09 (1.00 - 1.19)	430	1.13 (1.02 - 1.24)
	直腸	C19-C20	275	1.00 (0.88 - 1.12)	183	1.05 (0.89 - 1.20)
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	789	1.06 (0.98 - 1.13)	613	1.10 (1.02 - 1.19)
	肝および肝内胆管	C22	349	0.98 (0.88 - 1.08)	183	1.01 (0.86 - 1.16)
	肺	C33-C34	722	0.98 (0.91 - 1.05)	388	1.08 (0.97 - 1.19)
	乳房	C50	3	0.50 (-0.07 - 1.07)	820	1.06 (0.99 - 1.13)
	子宮	C53-C55			254	0.98 (0.86 - 1.10)
	子宮頸部	C53			102	0.99 (0.80 - 1.18)
	子宮体部	C54			145	0.97 (0.81 - 1.12)
	前立腺	C61	807	1.09 (1.01 - 1.16)		
	広島西	全部位	C00-C96	679	1.07 (0.99 - 1.15)	425
胃		C16	100	0.85 (0.69 - 1.02)	39	0.78 (0.54 - 1.02)
結腸		C18	69	1.17 (0.89 - 1.45)	52	1.08 (0.79 - 1.38)
直腸		C19-C20	34	1.00 (0.66 - 1.34)	16	0.73 (0.37 - 1.08)
大腸(結腸・直腸)		C18-C20	103	1.11 (0.89 - 1.32)	68	0.99 (0.75 - 1.22)
肝および肝内胆管		C22	40	0.89 (0.61 - 1.16)	29	1.26 (0.80 - 1.72)
肺		C33-C34	110	1.17 (0.95 - 1.39)	36	0.80 (0.54 - 1.06)
乳房		C50	0	0.00 (0.00 - 0.00)	96	1.08 (0.86 - 1.29)
子宮		C53-C55			34	1.13 (0.75 - 1.51)
子宮頸部		C53			11	1.00 (0.41 - 1.59)
子宮体部		C54			23	1.28 (0.76 - 1.80)
前立腺		C61	142	1.53 (1.28 - 1.78)		
呉		全部位	C00-C96	1,447	1.11 (1.05 - 1.17)	1,014
	胃	C16	259	1.08 (0.95 - 1.22)	115	1.06 (0.87 - 1.26)
	結腸	C18	134	1.11 (0.92 - 1.29)	107	1.04 (0.84 - 1.24)
	直腸	C19-C20	71	1.06 (0.81 - 1.31)	49	1.11 (0.80 - 1.43)
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	205	1.09 (0.94 - 1.24)	156	1.06 (0.89 - 1.23)
	肝および肝内胆管	C22	114	1.24 (1.01 - 1.47)	58	1.14 (0.84 - 1.43)
	肺	C33-C34	223	1.15 (1.00 - 1.30)	114	1.19 (0.97 - 1.41)
	乳房	C50	4	2.00 (0.04 - 3.96)	178	1.05 (0.89 - 1.20)
	子宮	C53-C55			60	1.07 (0.80 - 1.34)
	子宮頸部	C53			29	1.38 (0.88 - 1.88)
	子宮体部	C54			30	0.91 (0.58 - 1.23)
	前立腺	C61	204	1.04 (0.89 - 1.18)		
	広島中央	全部位	C00-C96	782	0.90 (0.83 - 0.96)	617
胃		C16	152	0.95 (0.80 - 1.10)	72	1.04 (0.80 - 1.28)
結腸		C18	69	0.85 (0.65 - 1.05)	73	1.11 (0.85 - 1.36)
直腸		C19-C20	48	1.02 (0.73 - 1.31)	30	1.03 (0.66 - 1.40)
大腸(結腸・直腸)		C18-C20	117	0.91 (0.75 - 1.08)	103	1.08 (0.87 - 1.29)
肝および肝内胆管		C22	66	1.08 (0.82 - 1.34)	28	0.88 (0.55 - 1.20)
肺		C33-C34	107	0.84 (0.68 - 0.99)	61	1.00 (0.75 - 1.25)
乳房		C50	0	0.00 (0.00 - 0.00)	105	0.85 (0.68 - 1.01)
子宮		C53-C55			35	0.83 (0.56 - 1.11)
子宮頸部		C53			13	0.81 (0.37 - 1.25)
子宮体部		C54			20	0.83 (0.47 - 1.20)
前立腺		C61	89	0.70 (0.55 - 0.84)		
尾三		全部位	C00-C96	1,234	0.94 (0.88 - 0.99)	883
	胃	C16	214	0.88 (0.77 - 1.00)	107	0.99 (0.80 - 1.18)
	結腸	C18	102	0.84 (0.67 - 1.00)	88	0.85 (0.67 - 1.02)
	直腸	C19-C20	68	1.00 (0.76 - 1.24)	45	1.02 (0.72 - 1.32)
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	170	0.89 (0.76 - 1.03)	133	0.90 (0.75 - 1.05)
	肝および肝内胆管	C22	97	1.04 (0.84 - 1.25)	54	1.04 (0.76 - 1.32)
	肺	C33-C34	211	1.07 (0.93 - 1.22)	99	1.03 (0.83 - 1.23)
	乳房	C50	3	1.50 (-0.20 - 3.20)	161	0.95 (0.80 - 1.09)
	子宮	C53-C55			49	0.88 (0.63 - 1.12)
	子宮頸部	C53			17	0.81 (0.42 - 1.19)
	子宮体部	C54			31	0.94 (0.61 - 1.27)
	前立腺	C61	192	0.98 (0.84 - 1.12)		
	福山・府中	全部位	C00-C96	1,968	0.90 (0.86 - 0.94)	1,442
胃		C16	376	0.93 (0.84 - 1.03)	161	0.93 (0.78 - 1.07)
結腸		C18	177	0.87 (0.74 - 1.00)	131	0.79 (0.65 - 0.92)
直腸		C19-C20	119	1.03 (0.84 - 1.21)	72	0.97 (0.75 - 1.20)
大腸(結腸・直腸)		C18-C20	296	0.92 (0.82 - 1.03)	203	0.85 (0.73 - 0.96)
肝および肝内胆管		C22	143	0.92 (0.77 - 1.07)	84	1.05 (0.83 - 1.27)
肺		C33-C34	322	0.99 (0.89 - 1.10)	134	0.86 (0.72 - 1.01)
乳房		C50	6	2.00 (0.40 - 3.60)	294	0.96 (0.85 - 1.07)
子宮		C53-C55			109	1.06 (0.86 - 1.26)
子宮頸部		C53			42	1.08 (0.75 - 1.40)
子宮体部		C54			61	1.02 (0.76 - 1.27)
前立腺		C61	255	0.78 (0.69 - 0.88)		
備北		全部位	C00-C96	518	0.99 (0.91 - 1.08)	367
	胃	C16	103	1.07 (0.87 - 1.28)	46	1.00 (0.71 - 1.29)
	結腸	C18	50	1.02 (0.74 - 1.30)	45	1.00 (0.71 - 1.29)
	直腸	C19-C20	22	0.85 (0.49 - 1.20)	18	1.00 (0.54 - 1.46)
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	72	0.96 (0.74 - 1.18)	63	1.00 (0.75 - 1.25)
	肝および肝内胆管	C22	36	0.97 (0.66 - 1.29)	15	0.65 (0.32 - 0.98)
	肺	C33-C34	71	0.89 (0.68 - 1.09)	33	0.83 (0.54 - 1.11)
	乳房	C50	0	0.00 (0.00 - 0.00)	57	0.90 (0.67 - 1.14)
	子宮	C53-C55			31	1.48 (0.96 - 2.00)
	子宮頸部	C53			7	0.88 (0.23 - 1.52)
	子宮体部	C54			23	1.92 (1.13 - 2.70)
	前立腺	C61	83	1.09 (0.86 - 1.33)		

付表5. 市区町村別罹患数： 部位別、性別
 B. 上皮内がんを含む

2012年

	全部位		大腸(結腸・直腸)				結腸				直腸				肺				乳房		子宮		子宮頸部	
	C00-C96 D01-D09		C18-D010 *1		C19-C20 D011-D012 *1		C33-C34 D021-D022		C50 D05		C53-C55 D06		C53 D06											
	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	
市区町村	13,549	10,131	23,680	2,669	1,765	4,434	1,800	1,264	3,064	869	501	1,370	1,767	868	2,635	17	1,923	1,940	1,127	68	52	776		
広島県	592	553	1,145	130	101	231	90	77	167	40	24	64	88	44	132	0	104	104	68	56	44			
中区	581	418	999	102	75	177	63	54	117	39	21	60	57	32	89	0	80	80	56	44				
東区	651	479	1,130	135	77	212	96	58	154	39	19	58	87	50	137	0	92	92	56	38				
南区	785	639	1,424	183	119	302	128	86	214	55	33	88	99	52	151	0	124	124	75	55				
西区	912	662	1,574	204	120	324	139	90	229	65	30	95	109	47	156	0	142	142	86	64				
安佐南区	767	570	1,337	152	103	255	98	78	176	54	25	79	79	52	131	1	111	112	42	23				
安佐北区	348	260	608	75	50	125	50	34	84	25	16	41	34	18	52	1	53	54	38	30				
安芸区	587	472	1,059	125	91	216	88	72	160	37	19	56	68	37	105	1	107	108	50	33				
佐伯区	1,457	1,066	2,523	314	187	501	221	136	357	93	51	144	187	103	290	3	180	183	100	70				
呉市	156	122	278	25	20	45	16	13	29	9	7	16	18	6	24	0	22	22	4	2				
竹原市	487	345	832	94	61	155	60	41	101	34	20	54	67	34	101	2	58	60	33	23				
三原市	791	575	1,366	130	91	221	87	62	149	43	29	72	134	61	195	1	96	97	53	33				
尾道市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
因島市	1,821	1,449	3,270	308	193	501	194	125	319	114	68	182	290	116	406	5	291	296	207	144				
福山市	230	160	390	38	30	68	22	20	42	16	10	26	21	19	40	1	31	32	17	13				
府中市	337	257	594	72	50	122	51	34	85	21	16	37	30	21	51	0	42	42	32	16				
三次市	262	167	429	44	34	78	32	24	56	12	10	22	41	12	53	0	23	23	21	13				
任原市	174	96	270	33	14	47	20	9	29	13	5	18	29	9	38	0	19	19	13	6				
大竹市	645	545	1,190	122	94	216	77	67	144	45	27	72	83	49	132	0	93	93	70	51				
東広島市	590	396	986	111	74	185	79	60	139	32	14	46	81	27	108	0	90	90	46	30				
廿日市市	202	133	335	48	29	77	32	19	51	16	10	26	22	15	37	1	19	20	8	2				
安芸高田市	195	105	300	29	34	63	21	23	44	8	11	19	36	11	47	1	19	20	6	5				
江田島市	226	131	357	43	25	68	31	17	48	12	8	20	23	7	30	0	35	35	6	3				
府中町	127	103	230	30	16	46	19	11	30	11	5	16	16	8	24	0	17	17	14	10				
海田町	136	105	241	25	18	43	18	11	29	7	7	14	15	6	21	0	23	23	9	5				
熊野町	66	49	115	15	9	24	12	6	18	3	3	6	10	6	16	0	12	12	2	1				
坂町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
大野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
宮島町	56	33	89	8	6	14	5	4	9	3	2	5	3	5	8	0	6	6	1	0				
安芸太田町	147	80	227	37	17	54	25	12	37	12	5	17	13	9	22	0	8	8	3	2				
北広島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
瀬戸田町	54	54	108	8	11	19	6	9	15	2	2	4	6	7	13	0	5	5	1	0				
大崎上島町	93	67	160	18	8	26	13	5	18	5	3	8	10	5	15	0	16	16	6	4				
世羅町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
神辺町	72	40	112	11	8	19	7	7	14	4	1	5	11	0	11	0	5	5	4	4				
神石高原町	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
県内市区町村不定																								

*1 粘膜がんを含む

付表6-1. 広島県地域がん登録における罹患数に対する資料源ごとの数(詳細)

診断年	資料源									合計
	届出票 病理登録 採録票	届出票 病理登録	届出票 採録票	届出票 のみ	病理登録 採録票	病理登録 のみ	採録 のみ	死亡票 補充票	死亡票 のみ (DCO)	
2003	1,504	2,228	356	1,120	2,601	5,303	613	0	3,411	17,136
2004	1,960	2,945	465	1,358	2,348	4,080	554	0	3,345	17,055
2005	2,560	4,531	512	2,201	1,614	3,436	434	1,301	1,469	18,058
2006	711	7,835	201	2,987	807	2,932	249	1,403	1,020	18,145
2007	974	9,484	189	3,445	426	2,085	137	997	970	18,707
2008	838	10,634	162	3,045	366	1,988	133	853	931	18,950
2009	926	11,392	145	2,895	284	2,303	97	592	968	19,602
2010	930	12,676	165	3,163	244	1,523	103	449	930	20,183
2011	956	13,189	175	3,280	251	1,504	109	538	823	20,825
2012	885	12,569	158	3,705	220	1,652	142	819	547	20,697

※上皮内がんを除く

※届出票＝広島県地域がん登録届出票情報、病理登録＝広島県腫瘍登録情報、採録票＝広島市地域がん登録採録票情報

付表6-2. 広島県地域がん登録における罹患数に対する資料源ごとの割合(%) (詳細)

診断年	資料源									合計
	届出票 病理登録 採録票	届出票 病理登録	届出票 採録票	届出票 のみ	病理登録 採録票	病理登録 のみ	採録 のみ	死亡票 補充票	死亡票 のみ	
2003	8.8	13.0	2.1	6.5	15.2	30.9	3.6	0.0	19.9	100.0
2004	11.5	17.3	2.7	8.0	13.8	23.9	3.2	0.0	19.6	100.0
2005	14.2	25.1	2.8	12.2	8.9	19.0	2.4	7.2	8.1	100.0
2006	3.9	43.2	1.1	16.5	4.4	16.2	1.4	7.7	5.6	100.0
2007	5.2	50.7	1.0	18.4	2.3	11.1	0.7	5.3	5.2	100.0
2008	4.4	56.1	0.9	16.1	1.9	10.5	0.7	4.5	4.9	100.0
2009	4.7	58.1	0.7	14.8	1.4	11.7	0.5	3.0	4.9	100.0
2010	4.6	62.8	0.8	15.7	1.2	7.5	0.5	2.2	4.6	100.0
2011	4.6	63.3	0.8	15.8	1.2	7.2	0.5	2.6	4.0	100.0
2012	4.3	60.7	0.8	17.9	1.1	8.0	0.7	4.0	2.6	100.0

※上皮内がんを除く

※届出票＝広島県地域がん登録届出票情報、病理登録＝広島県腫瘍登録情報、採録票＝広島市地域がん登録採録票情報

付表6-3. 広島県地域がん登録における罹患数に対する資料源の数

診断年	届出票	病理登録	採録	死亡票 補充票	死亡票 のみ	罹患数
2003	5,208	11,636	5,074	0	3,411	17,136
2004	6,728	11,333	5,327	0	3,345	17,055
2005	9,804	12,141	5,120	1,301	1,469	18,058
2006	11,734	12,285	1,968	1,403	1,020	18,145
2007	14,092	12,969	1,726	997	970	18,707
2008	14,679	13,826	1,499	853	931	18,950
2009	15,358	14,905	1,452	592	968	19,602
2010	16,934	15,373	1,442	449	930	20,183
2011	17,600	15,900	1,491	538	823	20,825
2012	17,317	15,326	1,405	819	547	20,697

※上皮内がんを除く

※届出票＝広島県地域がん登録届出票情報、病理登録＝広島県腫瘍登録情報、採録票＝広島市地域がん登録採録票情報

付表6-4. 広島県地域がん登録における罹患数に対する資料源の割合(%)

診断年	届出票	病理登録	採録	死亡票 補充票	死亡票 のみ
2003	30.4	67.9	29.6	0.0	19.9
2004	39.4	66.4	31.2	0.0	19.6
2005	54.3	67.2	28.4	7.2	8.1
2006	64.7	67.7	10.8	7.7	5.6
2007	75.3	69.3	9.2	5.3	5.2
2008	77.5	73.0	7.9	4.5	4.9
2009	78.3	76.0	7.4	3.0	4.9
2010	83.9	76.2	7.1	2.2	4.6
2011	84.5	76.4	7.2	2.6	4.0
2012	83.7	74.0	6.8	4.0	2.6

※上皮内がんを除く

※届出票＝広島県地域がん登録届出票情報、病理登録＝広島県腫瘍登録情報、採録票＝広島市地域がん登録採録票情報

付表7-1 罹患数の年次推移

			2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
男	全部位	C00-C96	10,294	10,050	10,618	10,640	10,840	10,782	11,318	11,608	12,097	11,994
	胃	C16	1,874	1,934	2,085	1,997	2,133	2,075	2,106	2,202	2,183	2,195
	大腸	C18-C20	1,676	1,469	1,516	1,594	1,526	1,525	1,568	1,588	1,727	1,752
	肝	C22	1,101	1,024	1,045	985	1,029	946	863	914	887	845
	肺	C33-C34	1,383	1,422	1,599	1,521	1,644	1,655	1,722	1,643	1,759	1,766
	前立腺	C61	1,471	1,271	1,275	1,390	1,316	1,352	1,678	1,736	1,809	1,772
女	全部位	C00-C96	6,842	7,005	7,440	7,505	7,867	8,168	8,284	8,575	8,728	8,703
	胃	C16	1,022	902	971	975	995	1,012	942	1,019	990	973
	大腸	C18-C20	1,161	1,142	1,181	1,274	1,231	1,218	1,263	1,242	1,320	1,339
	肝	C22	507	526	541	476	499	471	432	499	424	451
	肺	C33-C34	614	608	690	670	781	819	795	861	893	865
	乳房	C50	1,055	1,169	1,274	1,254	1,431	1,571	1,600	1,685	1,697	1,711
	子宮	C53-C55	403	442	491	472	492	491	474	560	571	572
	甲状腺	C73	252	274	331	376	395	408	404	402	438	381

付表7-2 年齢調整罹患率の年次推移

			2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
男	全部位	C00-C96	483.3	461.3	477.0	467.1	469.8	454.4	470.7	471.6	483.9	473.7
	胃	C16	87.7	89.1	93.9	87.6	92.9	87.0	87.0	88.7	86.4	85.9
	大腸	C18-C20	80.6	68.0	69.7	71.9	66.7	66.5	67.0	66.1	71.1	72.0
	肝	C22	52.1	48.0	47.1	43.6	45.4	39.6	35.8	37.1	34.9	33.2
	肺	C33-C34	62.8	62.8	69.1	63.6	67.7	66.2	67.9	63.6	67.5	66.1
	前立腺	C61	64.1	54.1	53.0	56.6	52.7	52.2	64.1	65.3	67.4	64.9
女	全部位	C00-C96	271.5	277.1	293.9	291.8	300.9	313.9	311.9	322.1	325.9	316.8
	胃	C16	35.5	31.4	33.8	33.3	31.6	32.9	28.8	30.3	30.6	28.6
	大腸	C18-C20	43.0	39.9	40.1	43.3	40.9	40.0	41.0	39.8	42.5	41.2
	肝	C22	16.9	17.1	17.1	15.2	14.6	13.9	12.2	13.7	10.6	11.1
	肺	C33-C34	21.0	21.4	24.7	21.9	25.4	26.7	24.6	26.5	26.7	26.3
	乳房	C50	55.1	59.4	65.4	63.9	72.5	80.0	78.6	84.7	84.7	83.8
	子宮	C53-C55	20.8	23.4	25.6	25.3	27.0	26.7	25.6	30.3	29.8	29.7
	甲状腺	C73	12.5	14.5	17.2	19.6	19.3	21.5	21.4	22.0	23.2	19.8

付表7-3 死亡数の年次推移

			2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
男	全部位	C00-C97	4,385	4,519	4,610	4,601	4,593	4,799	4,639	4,778	4,860	4,907
	胃	C16	702	756	716	706	688	683	693	722	728	721
	大腸	C18-C20	469	463	464	479	451	490	441	489	502	533
	肝	C22	739	756	735	740	699	713	632	713	649	607
	肺	C33-C34	989	980	1,059	1,055	1,098	1,173	1,151	1,044	1,090	1,122
	膵臓	C25	228	282	279	256	303	298	286	340	354	333
女	全部位	C00-C97	2,897	3,011	2,988	3,012	3,146	3,237	3,156	3,292	3,324	3,307
	胃	C16	442	389	368	411	427	414	374	396	408	379
	大腸	C18-C20	378	405	429	423	425	426	430	421	454	441
	肝	C22	343	391	364	341	391	336	322	383	357	339
	肺	C33-C34	354	367	373	397	412	466	435	438	462	504
	膵臓	C25	236	240	261	279	263	297	291	316	302	314
	乳房	C50	219	220	225	201	226	265	256	265	245	274

付表7-4 年齢調整死亡率の年次推移

			2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
男	全部位	C00-C97	198.9	199.6	196.8	191.3	185.3	187.4	175.7	177.6	176.6	173.7
	胃	C16	31.9	33.8	30.5	29.1	28.0	26.8	25.8	26.7	26.0	25.6
	大腸	C18-C20	21.3	20.8	19.8	20.1	18.4	19.5	16.7	18.5	19.2	19.1
	肝	C22	34.6	34.3	32.8	32.4	29.6	28.5	24.8	27.7	23.8	22.4
	肺	C33-C34	43.9	42.6	44.3	42.6	42.8	44.7	43.2	37.7	39.1	39.4
	膵臓	C25	10.4	12.5	12.3	10.7	12.7	12.0	11.1	12.8	13.4	12.4
女	全部位	C00-C97	94.0	95.3	92.3	89.0	88.8	91.3	85.1	86.3	86.6	84.3
	胃	C16	13.7	11.5	11.3	12.1	11.1	11.0	9.1	10.2	9.9	9.2
	大腸	C18-C20	11.6	12.2	12.3	11.1	11.5	10.9	10.8	10.4	11.0	10.4
	肝	C22	11.0	11.7	10.4	9.8	10.5	8.6	7.9	8.9	8.3	7.1
	肺	C33-C34	9.9	10.7	11.4	11.4	10.9	12.5	11.0	10.8	11.1	12.3
	膵臓	C25	7.3	7.0	7.7	7.7	6.9	7.8	7.7	7.8	7.4	7.3
	乳房	C50	10.4	10.1	9.9	8.7	9.9	11.3	10.2	10.9	10.6	10.9

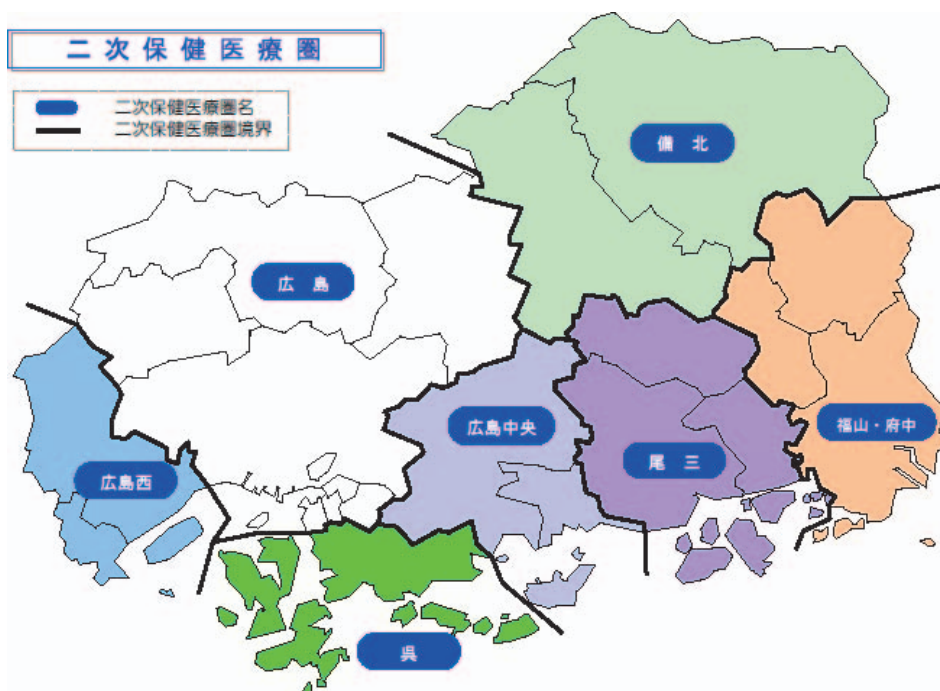
V 参 考 资 料

1. 二次保健医療圏

地域における基本的な保健医療体制の整備から、全県的な高度専門医療の確保まで、それぞれに必要なとされる機能の効果的・効率的な整備促進と医療資源の有効活用を図るため、以下の圏域が設定されている。

- ①市町を単位とする「一次保健医療圏」
- ②保健医療の基本単位としての「二次保健医療圏」
- ③全県を単位とする「三次保健医療圏」

本報告書では、二次保健医療圏を単位として死亡数、罹患数、標準化死亡比、標準化罹患比を算出している。



広島県の二次保健医療圏

各二次保健医療圏の市町名

広島	広島市、安芸高田市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町
広島西	大竹市、廿日市市
呉	呉市、江田島市
広島中央	東広島市、竹原市、大崎上島町
尾三	三原市、尾道市、世羅町
福山・府中	福山市、府中市、神石高原町
備北	三次市、庄原市

2. 広島県地域がん登録届出票

(1) 届出票 (平成18年まで)

秘

広島県がん登録届出票

* 欄は記入しないでください。

* 受付 年 月 日 * 受付No

* 受付年月日

この届出票は退院時に作成してください。

* 受付No

ふりがな		性別	年齢	生年月日
入院患者氏名		男・女		1 明治
カルテ番号 (貴院のもの)				2 大正
				3 昭和
				4 平成

現住所	市 区	郡 町 丁目
-----	-----	--------

H

臨床診断名	
-------	--

H

① 部位 (詳細は要領参考)	左・右・両側・不明 (左右臓器がある場合は該当するものに○印)
-------------------	------------------------------------

* 受付年月日

* 受付No

② 原発・再発	原発・局所再発・遠隔転移* (原発部位:)・不明 ※今回登録する‘がん’が転移がんの場合は上記()内に原発部位を記入
---------	---

* 施設

③ 診断年月日 (がんの診断が 確定した日付)	診断年月日 西暦 年 月 日 ※初発(原発)がんの診断が貴院の場合は貴院での診断年月日を記入 ※原発がんの診断が他施設の場合は他施設での診断年月日および施設名を記入 ※局所再発および遠隔転移の場合は原発がんの診断年月日を、不明の場合は貴院でがんを診断した年月日を記入 他施設名 ()
-------------------------------	--

* 科

* カルテ番号

* 市町村コード

④ 受診動機 (診断契機)	(受診までの経過で該当するすべてに○印) 1 任意の受診 2 制度による検診 3 任意の健康診断 4 検診での要精査 5 自科でフォロー中 6 他病の医療施設、自施設他の診療科からの紹介 7 剖検 8 その他 () * 受診の際の自覚症状 a 有 b 無
------------------	---

* ICDO-T

* 左右

* 原発・転移

* 原発部位

* 原発左右

診断根拠	(該当するすべてに○印) 1 病理組織診断 2 細胞診 3 手術所見 4 内視鏡 5 画像診断 6 臨床所見 7 剖検 8 腫瘍マーカー 9 その他 ()
------	---

* 初発診断年月日

* 初発診断施設

病理組織診断名	(病理検査を行った場合はその診断名を記入してください。)
---------	------------------------------

* 動機

* 症状の有無

* 基準

* ICDO-M

⑤ 進行度	(該当するすべてに○印) 1 早期がん 2 上皮内がん 3 原発臓器に限局 4 隣接臓器への浸潤 5 所属リンパ節転移 6 遠隔転移 7 不明 (可能であれば病期を記入) Stage 【 】
-------	--

* 進行度

* Stage

⑥ 治療内容	(今回入院時行ったがんに対するすべての治療に○印) 1 手術 (内視鏡的切除を含む) (1)手術日;西暦 年 月 日 (2)術式; (3)根治度; a 治癒切除 b 非治癒切除 c 非切除 d 不明 2 放射線療法 3 化学療法 4 内分泌療法 5 免疫療法 6 対症療法 7 その他 () 8 無治療 (過去に治療のある場合は、わかる範囲で初回治療についても記載) 1 手術 (内視鏡的切除を含む) (1)手術日;西暦 年 月 日 (2)術式; (3)根治度; a 治癒切除 b 非治癒切除 c 非切除 d 不明 2 放射線療法 3 化学療法 4 内分泌療法 5 免疫療法 6 対症療法 7 その他 () 8 無治療
--------	--

* 手術年月日

* 根治度

* 治療

* 初回手術年月日

* 初回根治度

* 初回治療

医療施設	施設名 診療科名 医師名
------	--------------------

* 潜在 * 早期

* 多発 * 剖検

(2) 届出票 改訂版 (平成19年から)

広島県地域がん登録届出票 秘

太枠内を記入してください
*欄は事務局使用のため記入しないでください

医療機関	名称		診療科	届出医師名	* 受付番号				
	* P				* 受付年月日				
					* No.				
ふりがな			貴院患者ID						
氏名	姓	名		性別	1 男	生年月日	0 西暦	年 月 日	
					2 女		1 明治		2 大正
				3 他	3 昭和	4 平成			
住所	広島県	市	区	町	丁目	* [] [] [] []			
診断名 [原発臓器]	左右	両側臓器のみ記載 1 右 2 左 3 両側			病理 診断名	形態、性状、分化度がわかるよう詳細をお願いします			
	部位 [臓器名と 詳細部位]	例 胃U, 肺S2, など (白血病は「骨髓」, 悪性リウマチは「主病変の部位」を記載)				潜在がん 1 有 2 無	* [] [] [] []		
診断 情報	初発・再発	1 初発 2 再発・治療開始後 3 疑い例							
	診断方法 (複数回答可)	1 原発巣の組織診 2 転移巣の組織診 3 細胞診 4 部位特異的腫瘍マーカー(AFPやPSAなど) 5 臨床検査 (画像診断, 内視鏡・体腔鏡・手術肉眼所見を含む) 6 臨床診断							
	診断日	自施設診断日	0 西暦	年 月 日	診断日の優先順位は、診断方法1-3選択の場合は検体採取日、 診断方法4-5選択の場合は検査日、診断方法6選択の場合は入院日、初診日				
		初回診断日	0 西暦	年 月 日	初めて診断された日が前医の場合、あるいは再発・治療開始後の場合				
	発見経緯	1 がん検診 2 健診・人間ドック 3 他疾患の経過観察中 4 剖検 9 その他(自覚症状も含む)・不明							
病期	手術施行の場合は術後評価を優先 (ただし、術前に補助療法を施行した場合は、その療法の開始前評価を採用する)								
	病巣の 拡がり	(大腸m癌の場合、上皮内にO) 0 上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移 3 隣接臓器浸潤 4 遠隔転移 9 不明							
	UICC TNM	T []	N []	M []	ステージ []	(胃, 大腸, 肝, 肺, 乳がんは必ず記載してください)			
	壁深達度	食道, 胃, 大腸, 胆嚢, 胆管の癌の場合はOをつけてください 早期癌: (01)is/ep (10)m (20)sm (30)深達度が不明の早期癌 進行癌: (40)pm/mp/S0 (51)ss/S1 (52)a1 (61)se/S2 (62)a2/ad (71)si/S3 (72)ai/adj (88)深達度が不明の進行癌 不明: (99)切除したが深達度が不明 (97)非切除, かつ肉眼・画像診断等で深達度が不明							
届出症例の腫瘍径, リンパ節転移の拡がり, 遠隔転移部位など, 病巣の拡がりの判定に役立つ情報を記載してください									
治療法 [初回治療]	観血的 治療	1 手術	1 有	2 無	実施日	0 西暦	年 月 日		
		2 体腔鏡的 (胸腔鏡・腹腔鏡)	1 有	2 無	実施日	0 西暦	年 月 日		
		3 内視鏡的	1 有	2 無	実施日	0 西暦	年 月 日		
	上記治療を総合した治療結果		1 治癒切除	2 非治癒切除	3 治癒度不明	4 姑息・対症療法	9 不詳		
	その他の 治療	1 放射線治療	1 有	2 無					
		2 化学療法	1 有	2 無					
		3 免疫療法・BRM	1 有	2 無					
4 内分泌療法		1 有	2 無						
9 その他	1 有	2 無							
死亡年月日	0 西暦	年 月 日	剖検	1 有	2 無				
* 事務局使用欄		壁深達度 []	観血的治療日 H [] [] [] []	潜在 []	早期 []	多発 []	剖検 []		

(3) 届出票と届出票の書き方 第3版 (平成22年1月から)

広島県地域がん登録届出票第3版(秘)

太枠内を記入して下さい
*欄は事務局使用のため記入しないでください

医療機関	名称	照会先所属	届出者	* 受付番号				
	* P [] [] [] * [] [] []			* 受付年月日				
心りがな				* No.				
姓・名 (漢字)	姓	名	貴院患者ID	性別	1 男 2 女	生年月日	0 西暦 1 明治 2 大正 3 昭和 4 平成	年 月 日
	診断時住所		広島県	市 郡				
診断名 [原発臓器]	左右 (両側臓器のみ記載)	1 右 2 左 9 不明 3 両側 (卵巣腫瘍、腎芽腫、網膜芽細胞腫が両側に発生した場合のみ)	病理診断名	形態、性状、分化度がわかるよう詳細にお願いします				
	部位 [臓器名と詳細部位]	例 胃U、肺S1、など (悪性リンパ腫は「主病変の部位」を記載)		* 潜在がん 1 有 0 無 * 多発がん 1 有 0 無 * [] [] [] [] [] [] [] [] [] []				
診断情報	初発・治療開始後	1 初発 (自施設で診断かつ/もしくは初回治療) 2 治療開始後 (前医で当該腫瘍の初回治療を開始した以降)・再発						
	診断根拠 (複数回答可)	1 原発巣の組織診 2 転移巣の組織診 3 細胞診 4 部位特異的腫瘍マーカー (PSA, AFP, HCG, VMA, 免疫グロブリン高値) 5 臨床検査 (画像診断、内視鏡・体腔鏡・手術所見を含む) 6 臨床診断					患者の全経過を通じて、がんと診断する根拠となった検査に○(初回治療前の診断に限定しない)	
	診断日	自施設診断日	0 西暦 1 昭和 2 平成	年 月 日	・初回治療前に自施設で実施した検査のうち、診断根拠の番号の最も小さい検査の検体採取日や検査日 ・他施設診断の場合は、当該腫瘍の自施設初診日			
	他施設診断日 (初回診断日)	0 西暦 1 昭和 2 平成	年 月 日	他施設診断の場合に、その診断日をわかる範囲で必ず記入 * 他施設名 ()				
発見経緯	1 がん検診 2 健診・人間ドック 3 他疾患の経過観察中 4 剖検 9 その他 (自覚症状も含む)・不明							
病期	病巣の拡がり	(大腸mがんの場合、上皮内に○) 0 上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移 3 隣接臓器浸潤 4 遠隔転移 9 不明						
	UICC TNM	T [] [] []	N [] [] []	M [] [] []	ステージ [] [] []	初発の場合、UICC TNM分類は胃・大腸・肝・肺・乳がんでは必ず記載		
	* 壁深達度	食道、胃、大腸、胆管、胆のうの癌の場合は○をつけてください 早期癌：(01) is/ep (10) m (20) sm (30) 深達度が不明の早期癌 進行癌：(40) pm/mp/S0 (50) a (51) ss/S1 (52) a1 (61) se/S2 (62) a2/ad (71) si/S3 (72) ai/adj (88) 深達度が不明の進行癌 不明：(99) 切除したが深達度が不明 (97) 非切除、かつ肉眼・画像診断等で深達度が不明						
届出症例の腫瘍径、リンパ節転移の拡がり、遠隔転移部位など、病巣の拡がりの判定に役立つ情報を記載してください								
初回治療	観血的治療	手術	1 有 2 無	* 実施日	0 西暦 1 平成	年 月 日		
		体腔鏡的 (胸腔鏡・腹腔鏡)	1 有 2 無	* 実施日	0 西暦 1 平成	年 月 日		
		内視鏡的	1 有 2 無	* 実施日	0 西暦 1 平成	年 月 日		
	その他の治療	観血的治療を総合した治療結果	原発巣切除 (1 治癒切除 2 非治癒切除 3 治癒度不明) 4 姑息・対症療法・転移巣切除・試験開腹 9 不詳					
		放射線	1 有 2 無					
		化学療法	1 有 2 無					
		免疫療法	1 有 2 無					
内分泌療法	1 有 2 無							
その他	1 有 2 無 ()							
死亡年月日	0 西暦 1 平成	年 月 日	* 剖検	1 有 0 無				
* 事務局使用欄	壁深達度 [] [] []	観血的治療日 H [] [] [] [] [] [] [] [] [] []	潜在 [] [] []	早期 [] [] []	多発 [] [] []	剖検 [] [] []		

* は広島県独自項目

平成22年1月 第3版

広島県地域がん登録 届出票の書き方

(平成22年1月 第3版)

広島県 広島県医師会 放射線影響研究所

届出対象

- 1) 診断時住所が**広島県内**にある方について届け出てください。
- 2) **上皮内がんを含む悪性腫瘍**（国際疾病分類腫瘍学第3版（ICD-O-3）の性状2または3）を届け出てください。なお、**中枢神経系**（脳・脊髄・髄膜）は**良性・悪性にかかわらず**届け出てください。
- 3) **原発部位**について届け出てください。
- 4) **初回入院の退院時**と**死亡退院時**に届け出てください。
- 5) **一連の初回治療**のうち**自施設で実施したもの**について届け出てください。
- 6) **多重がん**の場合は**別々の届出票**に記入してください。多重がんかどうかの判断は、主治医または病理医の判断を優先してください。

届出票の書き方

①医療機関	自施設名称。正式名称記入が望ましい（ゴム印でも可）。照会先所属、届出者は問い合わせに対応できる担当者を記入してください。
②貴院患者ID（カルテ番号）	貴院で患者固有に与えられている番号・記号を記入してください。患者照会に使用します。
③姓・名（漢字）	重複登録を防ぐ大事な項目のため、カタカナ・ひらがな・イニシャルでの表記を避け、姓と名を別々に漢字で記入してください。なお、本名がカタカナ、ひらがなの方はそのまま、また漢字表記できない場合の外国人名はカタカナで記載してください。漢字表記できる外国人名は漢字でお書きください。本名以外に日本名（通名）を持つ場合は本名を記入してください。
④性別	該当する番号を○で囲んでください。
⑤生年月日	生年月日を記入。西暦もしくは和暦（元号）、どちらでも記入可。
⑥診断時住所	診断時に居住していた住所。市町村のみならず、マンション・部屋番号までの詳細な住所を記入してください。
診断名	⑦左右 原発部位が両側臓器のみ記入してください。左右別のない臓器（例えば、脳、甲状腺、肝臓など）は記入不要です。その他の両側臓器において、一方が他方の転移と判断されない腫瘍が左右に存在するとき、左右それぞれを独立した腫瘍として別々の届出票に記入してください。一方が他方の転移で、原発側が判断されないときは「不明」としてください。「両側」は卵巣腫瘍・腎芽腫・網膜芽細胞腫が両側に発生した場合のみ選択してください。皮膚の正中は、部位欄に「正中」と記載してください。両側臓器については《表1》「両側のある臓器」を参照してください。
	⑧部位 腫瘍の原発部位を、できるだけ詳細な情報を含んだ言葉（日本語・英語どちらでも可）で記入してください。ICD-O-3の局在コードのみでの届出はしないでください。固形腫瘍では、原発臓器名とその詳細部位を記入してください（例：「肺左上葉」、「結腸脾彎曲部」等）。転移性がんの場合は原発臓器を記入してください（例：食道がんの肺転移は、転移部位の「肺」ではなく「食道」と記入）。原発が不明な場合は「原発不明」と記入してください。白血病の場合、診断部位は「骨髄」とし、病理診断名に「急性骨髄性白血病M2」等と記入してください。悪性リンパ腫の場合、診断部位は主病変とし（例：胃の悪性リンパ腫の場合は「胃」を記入）、詳細な診断名は病理診断名に「びまん性大細胞性B細胞型リンパ腫」のように記入してください。
	⑨病理診断名 【病理診断名】腫瘍の病理組織を、できるだけ詳細な情報を含んだ言葉で記入してください。病理報告に記入されている組織型を完全に記入することが望まれます。腫瘍の形状、性状（良性、良悪不詳、上皮内、悪性等）、および分化度（高・中・低・未分化）リンパ性造血器腫瘍の場合の表面抗原（T-cell、B-cell、Null-cell）等をすべて記入してください。病理診断名がない場合は、臨床診断名を「部位」欄に記入してください。 【潜在がん】病理診断名にoccult、latent、micro、minute、incidental、unactualizedの記載がある時、有に○をつけてください。 【多発がん】一つの部位で、同じ組織型の複数のがんが診断された時、有に○をつけてください。
診断情報	⑩初発・治療開始後 初発、治療開始後・再発を区別するための項目です。 【初発】自施設において、当該腫瘍の診断、初回治療、あるいは診断と初回治療を実施した場合に○をつけてください。 【治療開始後・再発】他施設にて当該腫瘍の初回治療を開始した後に自施設にて初回治療を継続あるいは診療を継続した場合、または初回治療が完了した後再発し、自施設で死亡した場合に○をつけてください。

	⑪診断根拠	<p>当該腫瘍が悪性腫瘍であること、その原発部位ならびに病理組織の確定に際し、患者の全経過を通じて最も寄与した情報（初回治療前の診断に限定しない。他施設における診断情報も含む）。複数回答も可。</p> <p>【1原発巣の組織診】 原発巣からの病理組織診断によるがんの診断、白血球の骨髓穿刺を含みます。</p> <p>【2転移巣の組織診】 転移巣からの病理組織診断によるがんの診断。</p> <p>【3細胞診】 喀痰、尿沈渣、膈分泌物等による剥離細胞診、ファイバースコープ等による擦過、吸引細胞診、あるいは洗浄細胞診を含みます。白血病および悪性リンパ腫の一般血液検査も、この項に含まれます。</p> <p>【4部位特異的な腫瘍マーカー】 腫瘍マーカーとしては以下のものに限り、()内は参考として対象となる疾病をあげております。PSA(前立腺がん)、AFP(肝細胞がん)、HCG(絨毛がん)、VMA(神経芽細胞腫)、血清・尿中免疫グロブリン(多発性骨髄腫、ワルデンストロームマクログロブリン血症)高値。</p> <p>【5臨床検査】 画像診断(特殊撮影、造影全て。MRI、RI検査、PET、超音波検査を含みます)、手術・体腔鏡下の肉眼的診断を含みます。</p> <p>【6臨床診断】 1～5以外の場合。</p>
	⑫自施設診断日	<p>自施設において当該腫瘍の初回診断がなされた場合の届出では、初回治療前に自施設で実施した検査のうち、⑪診断根拠の番号の最も小さい検査の検体採取日や検査日を記入(組織診検体採取日、細胞診検体採取日、腫瘍マーカー検体採取日、画像診断検査日の順で優先)。前医・他施設において当該腫瘍の初回診断がなされた場合の届出では、自施設の当該腫瘍初診日を記入。生前に存在が疑われていなかったがんが病理解剖によりはじめて診断された場合は、死亡日を自施設診断日とします。西暦もしくは和暦(元号)、どちらでも記入可。年月日まで記入。</p>
	⑬他施設診断日(初回診断日)	<p>前医・他施設において、すでに当該腫瘍の診断がなされていた場合の届出では、前医・他施設において当該腫瘍の初回治療前に「がん」と診断する根拠となった検査を行った日をわかる範囲で必ず記入。西暦もしくは和暦(元号)、どちらでも記入可。できる限り年月日まで記入。詳細が不明な場合でも、分かる範囲で記入。(例: 4月上旬、4月頃、春頃、2009年頃等)</p>
	⑭発見経緯	<p>当該腫瘍が診断される発端となった状況を把握するための項目です。</p> <p>【1がん検診】 がんの早期発見・早期治療を目的とし、一連の定型的な検査を行う場合。 自覚症状を持ちながらがん検診を受けがんと診断された場合は「がん検診」とします。</p> <p>【2健診・人間ドック】 健診は健康一般に関する一連の検査を行う場合で、人間ドックは個人を対象にした、より詳細な健康一般に関する検査。</p> <p>【3他疾患の経過観察中】 入院時ルーチン検査を含みます。</p> <p>【4剖検】 剖検によってはじめて腫瘍の存在が発見された場合。</p> <p>【9その他】 自覚症状があり受診した場合など。</p>
病期	⑮病巣の拡がり	<p>病巣の拡がりとは、腫瘍の原発部位での拡がりの程度と、所属リンパ節・遠隔臓器への転移の有無に基づき、大まかに分類する方法です。術後病理学的診断による進展度が判明していればそれを優先し、なければ治療前の進展度を用います。ただし、腫瘍の縮小を目的とした化学療法や放射線療法、あるいは免疫・内分泌療法などを施行の後、手術(体腔鏡的・内視鏡的手術を含む)を施行した場合は、治療前の進展度を優先します。</p> <p>【0上皮内】 がんが原発臓器に局限しており、かつ上皮内にとどまるもの。</p> <p>【1局限】 がんが原発臓器に局限しているもの。</p> <p>【2所属リンパ節転移】 所属リンパ節への転移を伴うが、隣接組織、臓器への浸潤がないもの。</p> <p>【3隣接臓器浸潤】 隣接組織、臓器に直接浸潤しているが、遠隔転移がないもの。</p> <p>【4遠隔転移】 遠隔転移があるもの。所属リンパ節以外のリンパ節への転移は遠隔に○をしてください。</p>
	⑯UICC TNM	<p>主要5部位(胃、大腸、肝、肺、乳がん)は必ずUICC TNM分類に基づき記載してください。P5～P6の「TNM臨床分類(抜粋)」を参照してください。</p>
	⑰壁深達度	<p>食道、胃、大腸、胆管、胆のうについては、該当する壁深達度を選択してください。非切除でも例えば内視鏡検査で胃がんのTcは(30)深達度が不明の早期癌(早期癌NOS)としてください。《表2》「壁深達度」を参照してください。</p>
初回治療	⑱観血的治療	<p>当該腫瘍における一連の初回治療のうち自施設で実施したものを記入してください。再発では記載不要です。</p> <p>【手術】 自施設での初回治療における、外科的治療の有無を記入。 (例: <u>包含</u>子宮頸がんの円錐切除術 <u>除外</u>前立腺がんの去勢術→内分泌療法)</p> <p>【体腔鏡的】 自施設での初回治療における、体腔鏡的治療の有無を記入。</p> <p>【内視鏡的】 自施設での初回治療における、内視鏡的治療の有無を記入。</p> <p>【観血的治療を総合した治療結果】 当該のがんに対する手術・体腔鏡的・内視鏡的治療を実施した場合のみ根治度を記入してください。初回治療として行った総合的な結果を記入してください。内視鏡的な治療を最初に行ったが、その後外科的な追加切除を必要とした場合は、外科的切除の根治度を記入してください。根治度の記入は、組織学的に判断された根治度を用いるのが好ましいです。組織的根治度が得られない場合、肉眼的根治度を用います。 ※治癒切除、非治癒切除の定義:領域(所属リンパ節、隣接臓器)までの切除は以下のように定義します。 治癒切除:腫瘍を完全に摘除した場合(相対、絶対切除を含みます)。 非治癒切除:腫瘍の切除が不完全であった場合(切除しきれなかった場合)。</p>

⑱その他の治療	<p>【放射線】自施設での初回治療における、放射線治療の有無に○をしてください。</p> <p>【化学療法】自施設での初回治療における、化学療法の有無に○をしてください。化学療法については、定義が曖昧な部分がありますが、免疫療法・BRMや内分泌療法を包含しないことに留意してください。(例: [包含]ハーセプチンによる乳がん治療、肝臓のTAI)</p> <p>【免疫療法】自施設での初回治療における、免疫療法・BRM療法の有無に○をしてください。BRM(biological response modifier:生体応答調整物質)については、「腫瘍細胞に対する宿主の生物学的応答を修飾することによって、治療効果をもたらす物質または方法」いわゆる非特異的な免疫賦活療法を指すものとします。</p> <p>【内分泌療法】自施設での初回治療における、内分泌療法の有無に○をしてください。内分泌療法とは、がん組織に対し、ホルモンバランスを替えることにより何らかの効果を求めた治療です。ホルモン投与、ホルモン代謝を拮抗する薬剤、抗ホルモン剤、エストロゲン依存性腫瘍に対する卵巣摘出術等がそれにあたります。(例: [包含]前立腺がんの去勢術)</p> <p>【その他】自施設での初回治療における、上記(手術～内分泌療法)以外の治療の有無に○をしてください。TAE(肝動脈塞栓術)、PEIT(経皮的エタノール注入療法)、温熱療法、レーザー等治療(焼灼)等を含みます。</p>
⑳死亡年月日	死亡日が判明している場合、記入してください。西暦もしくは和暦(元号)、どちらでも記入可。
㉑剖検	剖検の施行の有無について、該当する番号に○をしてください。

《表1》両側のある臓器(ICD-O-3の局在コードと部位)

局在コード	部位名	局在コード	部位名	局在コード	部位名
C07.9	耳下腺	C40.0	肩甲骨および上肢の長骨	C49.1	上肢・肩の軟部組織
C08.0	顎下腺	C40.1	上肢の短骨	C49.2	下肢・股関節部の軟部組織
C08.1	舌下腺	C40.2	下肢の長骨	C50.0-50.9	乳房
C09.0	扁桃窩	C40.3	下肢の短骨	C56.9	卵巢
C09.1	扁桃口蓋弓(前)(後)	C41.3	肋骨、胸骨および鎖骨	C57.0	卵管
C09.8	扁桃の境界部病巣	C41.4	骨盤骨、仙骨および尾骨	C62.0-62.9	精巣
C09.9	扁桃、部位不明	C44.1	眼瞼の皮膚、眼角を含む	C63.0	精巣上体
C30.0	鼻腔	C44.2	耳および外耳道の皮膚	C63.1	精索
C30.1	中耳	C44.3	その他の部位不明の顔面の皮膚	C64.9	腎盂を除く腎
C31.0	上顎洞	C44.5	体幹の皮膚	C65.9	腎盂
C31.2	前頭洞	C44.6	上肢の皮膚、肩を含む	C66.9	尿管
C34.0	主気管支	C44.7	下肢の皮膚、股関節部を含む	C69.0-69.9	眼球・涙腺
C34.1-34.9	肺	C47.1	上肢の末梢神経、肩を含む	C74.0-74.9	副腎
C38.4	胸膜	C47.2	下肢の末梢神経、股関節部を含む	C75.4	頸動脈小体

出典:地域がん登録の手引き改訂第5版[詳細版]

《表2》壁深達度

コード	表記	説明	食道	胃	大腸	胆管	胆のう
01	is/ep	癌腫が粘膜上皮にとどまる病変。基底膜を越えない。	○	○	○	○	○
10	m	癌が粘膜にとどまり、粘膜下層に及んでいない/粘膜固有にとどまる・粘膜筋板を越えない。	○	○	○	○	○
20	sm	癌が粘膜下層にとどまり、固有筋層に及んでいない。	○	○	○		
30	早期癌NOS	早期癌NOS(顕微鏡的確認の有無を問わない)	○	○	○	○	○
40	pm/mp/S0	癌が固有筋層にとどまり、これを越えていない。	○	○	○	○	○
50	a	癌が固有筋層を越えて浸潤している。			○		
51	ss/S1	癌が固有筋層を越えているが、漿膜表面に出していない。	○	○	○	○	○
52	a1	癌が固有筋層を越えているが、さらに深くは浸潤していない。			○		
61	se/S2	癌が漿膜表面に露出している。		○	○	○	○
62	a2/ad	癌が筋層を越えてさらに深く浸潤している/外膜に浸潤しているが、他臓器に浸潤していない。	○		○		
71	si/S3	癌が直接他臓器に浸潤している。		○	○	○	○
72	ai/adj	癌が直接他臓器に浸潤している。	○		○		
88	進行癌NOS	進行癌NOS(顕微鏡的確認の有無を問わない)。	○	○	○	○	○
99	不明	病変が切除されているが壁深達度不明なもの。	○	○	○	○	○
97	非切除例	登録対象癌腫で、病変が切除されていない場合。	○	○	○	○	○

広島県地域がん登録届出票第3版(秘)

太枠内を記入して下さい
*欄は事務局使用のため記入しないでください

① 医療機関	名称	照会先所属	届出者	* 受付番号	_____
	* P _____ *			* 受付年月日	_____
ふりがな			② 貴院患者ID	* No.	_____
③ 姓・名 (漢字)	姓	名	④ 性別	⑤ 生年月日	0 西暦 1 明治 2 大正 3 昭和 4 平成

⑥ 診断時住所	広島県	市郡			

⑦ 左右 (両側臓器のみ記載)	1 右 2 左 9 不明	⑨ 病理診断名	形態, 性状, 分化度がわかるよう詳細をお願いします
	3 両側 (卵巣腫瘍, 腎芽腫, 網膜芽細胞腫が両側に発生した場合のみ)		
⑧ 部位 [臓器名と詳細部位]	例 胃U, 肺S1, など (悪性リンパ腫は「主病変の部位」を記載)		
* C _____		* 潜在がん 1 有 0 無 * 多発がん 1 有 0 無	

⑩ 初発・治療開始後	1 初発 (自施設で診断かつ/もしくは初回治療) 2 治療開始後 (前医で当該腫瘍の初回治療を開始した以降) ・再発			
	⑪ 診断根拠 (複数回答可)	1 原発巣の組織診 2 転移巣の組織診 3 細胞診		患者の全経過を通じて, がんと診断する根拠となった検査に○(初回治療前の診断に限定しない)
		4 部位特異的腫瘍マーカー (PSA, AFP, HCG, VMA, 免疫グロブリン高値) 5 臨床検査 (画像診断, 内視鏡・体腔鏡・手術所見を含む) 6 臨床診断		
	⑫ 診断日	自施設診断日	0 西暦 1 昭和 2 平成	年 月 日
⑬ 他施設診断日 (初回診断日)		0 西暦 1 昭和 2 平成	年 月 日	他施設診断の場合に, その診断日をわかる範囲で必ず記入 * 他施設名 ()
⑭ 発見経緯	1 がん検診 2 健診・人間ドック 3 他疾患の経過観察中 4 剖検 9 その他 (自覚症状も含む) ・不明			

⑮ 病巣の拡がり (大腸がんの場合, 上皮内に○)	0 上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移 3 隣接臓器浸潤 4 遠隔転移 9 不明					
	⑯ UICC TNM	T _____	N _____	M _____	ステージ _____	初発の場合, UICC TNM 分類は胃・大腸・肝・肺・乳がんでは必ず記載
	⑰ 壁深達度	食道, 胃, 大腸, 胆管, 胆のうの癌の場合は○をつけてください				
再発では記載不要	早期癌	(01) is/ep (10) m (20) sm (30) 深達度が不明の早期癌				
	進行癌	(40) pm/mp/S0 (50) a (51) ss/S1 (52) a1 (61) se/S2 (62) a2/ad (71) si/S3 (72) ai/adj (88) 深達度が不明の進行癌				
	不明	(99) 切除したが深達度が不明 (97) 非切除, かつ肉眼・画像診断等で深達度が不明				
届出症例の腫瘍径, リンパ節転移の拡がり, 遠隔転移部位など, 病巣の拡がりの判定に役立つ情報を記載してください						

⑱ 初回治療 貴院における初回の一連の治療についてすべてご記入ください 再発では記載不要	⑱ 観血的治療	手術	1 有 2 無	* 実施日	0 西暦 1 平成	年 月 日	
		体腔鏡的 (胸腔鏡・腹腔鏡)	1 有 2 無	* 実施日	0 西暦 1 平成	年 月 日	
		内視鏡的	1 有 2 無	* 実施日	0 西暦 1 平成	年 月 日	
	観血的治療を総合した治療結果		原発巣切除 (1 治癒切除 2 非治癒切除 3 治癒度不明) 4 姑息・対症療法・転移巣切除・試験開腹 9 不詳				
	⑲ その他の治療	放射線	1 有 2 無				
		化学療法	1 有 2 無				
		免疫療法	1 有 2 無				
内分泌療法		1 有 2 無					
その他		1 有 2 無 ()					

⑳ 死亡年月日	0 西暦 1 平成	年 月 日	㉑ * 剖検	1 有 0 無
---------	--------------	-------	--------	---------

* 事務局使用欄	壁深達度	観血的治療日	H _____	潜在	早期	多発	剖検
----------	------	--------	---------	----	----	----	----

* は広島県独自項目

平成22年1月 第3版

UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第6版 TNM臨床分類(抜粋)

胃

TX	原発腫瘍の評価が不可能
T0	原発腫瘍を認めない
Tis	上皮内癌：粘膜固有層に浸潤していない上皮内癌
T1	粘膜固有層または粘膜下層に浸潤する腫瘍
T2	固有筋層または漿膜下層に浸潤する腫瘍 ¹
T2a	固有筋層に浸潤する腫瘍
T2b	漿膜下層に浸潤する腫瘍
T3	漿膜（臓側腹膜）に浸潤しているが、隣接臓器にまで浸潤していない腫瘍 ^{1,2,3}
T4	隣接臓器にまで浸潤している腫瘍 ^{2,3}

注：1. 漿膜下浸潤腫瘍では、たとえ胃結腸間膜や胃肝間膜、あるいは大網や小網を進展した場合でも、それらの漿膜が浸潤されなければT2に分類する。これら胃間膜や大・小網の漿膜に浸潤が及んだときには、T3に分類する。
2. 胃の隣接臓器とは脾、横行結腸、肝、横隔膜、脾、腹壁、副腎、腎、小腸、後腹膜を指す。
3. 胃から十二指腸や食道に浸潤が及んでいる場合には、これらの中で最も深い深達度により分類する。

NX	所属リンパ節転移の評価が不可能
N0	所属リンパ節転移なし
N1	1-6 個の所属リンパ節転移
N2	7-15 個の所属リンパ節転移
N3	16 個以上の所属リンパ節転移

結腸および直腸

TX	原発腫瘍の評価が不可能
T0	原発腫瘍を認めない
Tis	上皮内癌：上皮内腫瘍または粘膜固有層に浸潤 ¹
T1	粘膜下層に浸潤する腫瘍
T2	固有筋層に浸潤する腫瘍
T3	固有筋層をこえ、漿膜下層または腹膜被覆のない傍結腸あるいは傍直腸組織に浸潤する腫瘍
T4	直接他臓器または他組織 ^{2,3} に浸潤する腫瘍、および/または臓側腹膜を貫通する腫瘍

注：1. Tisには腺基底膜（上皮内癌）、または粘膜固有層（粘膜内癌）内に限局し、粘膜筋板を貫通して粘膜下層には至っていない癌を含む。
2. T4の直接浸潤には漿膜を介し、他の結腸直腸に浸潤する場合も含まれる。たとえば、盲腸癌がS状結腸に浸潤する場合など。
3. 肉眼的に、他の臓器や組織に密着している腫瘍はT4に分類する。しかし、癒着部に顕微鏡的に、腫瘍が認められない場合はpT3に分類しなければならない。

NX	所属リンパ節転移の評価が不可能
N0	所属リンパ節転移なし
N1	1-3 個の所属リンパ節転移
N2	4 個以上の所属リンパ節転移

注：結腸周囲または直腸周囲の脂肪組織内の腫瘍結節で、組織学的にリンパ節遺残の確証はないが、リンパ節様の平滑な外形を示すものはpNに分類する。結節の外形が不規則な場合はpTに分類し、同時にV1（顕微鏡的静脈侵襲）とする。もし、肉眼的に確認できるならばV2となる。これらの所見は静脈侵襲の存在を強く示唆するからである。

肝臓

TX	原発腫瘍の評価が不可能
T0	原発腫瘍を認めない
T1	単発で脈管浸潤のない腫瘍
T2	単発で脈管浸潤を伴う腫瘍、または多発性で、最大径が5cm以下の腫瘍
T3	最大径が5cmをこえる多発腫瘍、または門脈または肝静脈または肝静脈の大分枝に浸潤した腫瘍
T4	胆嚢以外の隣接臓器に直接浸潤する腫瘍、または肝癌破裂を起した腫瘍

NX	所属リンパ節転移の評価が不可能
N0	所属リンパ節転移なし
N1	所属リンパ節転移あり

肺

TX	原発腫瘍の評価が不可能か、または画像上または気管支鏡的には観察できないが、痰または気管支分泌物中に悪性細胞が存在すること で腫瘍の存在がわかるとき
T0	原発腫瘍を認めない
Tis	上皮内癌
T1	腫瘍の最大径が3cm以下で、健常肺組織、または肺胸膜に囲まれているもの。気管支鏡的に癌浸潤が葉気管支より中枢に及ばないもの（すなわち、主気管支におよんでいない） ¹
T2	腫瘍の大きさと進展度が以下のもの： ・最大径が3cmをこえる腫瘍 ・主気管支に浸潤が及ぶもの、腫瘍の中核側が気管分岐部より2cm以上はなれているもの ・臓側胸膜に浸潤する腫瘍 ・肺門に及び無気肺、あるいは閉塞性肺炎があるが片肺全野に及ばないもの
T3	大きさと無関係に隣接臓器、すなわち胸壁（superior sulcus tumorを含む）、横隔膜、縦隔胸膜、壁側心膜などに直接浸潤する腫瘍；または腫瘍が気管分岐部より2cm未満に及ぶもの ¹ 、しかし気管分岐部に浸潤のないもの；または無気肺・閉塞性肺炎が片肺全野に及ぶもの
T4	大きさと無関係に縦隔、心臓、大血管、気管、食道、椎体、気管分岐部に浸潤の及ぶ腫瘍；同一肺葉に散在する腫瘍結節；悪性胸水を伴う腫瘍 ²

注：1. 大きさと無関係に腫瘍の浸潤が気管支内に限局しているまれな表層浸潤型のもので、腫瘍が主気管支に及ぶものでもT1とする。
2. 肺癌と関係のある胸水の多くは腫瘍によるものである。しかし、中には何回にも及ぶ細胞診検査にて陰性の例もある、非血性で非滲出性である。こういう場合は胸水が腫瘍と関係のないこと、胸水の性状を臨床的判断で決め、その病期から除外しT1、T2、またはT3とする。

NX	所属リンパ節転移の評価が不可能
N0	所属リンパ節転移なし
N1	原発腫瘍の直接浸潤を含み、同側気管支周囲、および/または同側肺門および肺内リンパ節の転移
N2	同側縦隔リンパ節転移、および/または下気管支分岐部リンパ節の転移
N3	対側縦隔、対側肺門、同側または対側斜角筋前、鎖骨上のリンパ節転移

乳腺腫瘍

TX	原発腫瘍の評価が不可能
T0	原発腫瘍を認めない
Tis	乳管内癌
Tis(DCIS)	非浸潤性乳管癌
Tis(LCIS)	非浸潤性小葉癌
Tis(Paget)	腫瘍を認めない乳頭の Paget 病
注：	腫瘍を伴った Paget 病は腫瘍の大きさに従って分類する。
T1	最大径が 2cm 以下の腫瘍
T1mic	最大径が 0.1cm 以下の微小浸潤
注：	微小浸潤とは病理学的に基底膜をこえた隣接組織へのがん細胞の拡がり、最大径が 0.1cm をこえない病巣をいう。微小浸潤病巣が複数認められる場合は最大径の病巣のみによって分類する（個々の病巣の合計を用いてはならない）。より大きな浸潤癌が多発している場合と同様に、微小浸潤病巣が多発していることを記録すべきである。
T1a	最大径が 0.1cm をこえるが 0.5cm 以下
T1b	最大径が 0.5cm をこえるが 1.0cm 以下
T1c	最大径が 1.0cm をこえるが 2.0cm 以下
T2	最大径が 2.0cm をこえるが 5.0cm 以下の腫瘍
T3	最大径が 5.0cm をこえる腫瘍
T4	腫瘍の大きさに関係なく、胸壁または皮膚への直接進展を示す腫瘍で、T4a から T4d まで表記される。
注：	胸壁は肋骨、肋間筋、および前鋸筋を含めるが、胸筋は含まない。
T4a	胸壁への進展
T4b	乳房皮膚の浮腫〔橙皮状皮膚 (peau d'orange) を含む〕、潰瘍形成および同側乳房に限局した衛星皮膚結節
T4c	T4a, T4b の両者を共有する
T4d	炎症性乳癌
注：	炎症性乳癌は類丹毒の辺縁にみられるようなびまん性の強い硬結を特徴とし、通常、その直下に腫瘍を触知しない。皮膚生検が陰性で計測可能な限局した原発腫瘍が無い場合に、臨床的な炎症性乳癌 (T4d) を病理学的に分類する際は pTX とする。T4b および T4d を除き、T1、T2、T3 の皮膚のえくぼ症状、乳頭陥凹、またはその他の皮膚病変は本分類に関与しない。
NX	所属リンパ節転移の評価が不可能（たとえば、すでに摘除した場合）
NO	所属リンパ節転移なし
N1	可動性の同側腋窩リンパ節転移
N2	固定した同側腋窩リンパ節転移、または臨床的に腋窩リンパ節転移を認めない場合で臨床的に明らかな * 同側胸骨傍リンパ節転移。
N2a	相互に、あるいは周囲組織と固定している腋窩リンパ節転移。
N2b	臨床的に明らかな * 胸骨傍リンパ節転移のみで、臨床的に腋窩リンパ節転移を認めないもの。
N3	腋窩リンパ節転移の有無を問わない同側鎖骨下リンパ節転移、臨床的に腋窩リンパ節転移を認める場合の臨床的に明らかな * 同側胸骨傍リンパ節転移、または腋窩または胸骨傍リンパ節転移の有無を問わない同側鎖骨上リンパ節転移
N3a	鎖骨下リンパ節転移
N3b	胸骨傍および腋窩リンパ節転移
N3c	鎖骨上リンパ節転移
注：	* 臨床的に明らかなとは視触診、または画像診断（リンパ節シンチグラフィを除く）から検出されたものである。

M - 遠隔転移

MX	遠隔転移の評価が不可能
MO	遠隔転移なし
M1	遠隔転移あり*
	* 肺の場合：遠隔転移（同側または対側）、他肺葉に散在する腫瘍結節を含む

問い合わせ先

広島県医師会 地域医療課『地域がん登録室』

〒732-0057 広島市東区二葉の里三丁目2番3号
TEL 082-568-1511 FAX 082-568-2112

問い合わせ専用 E-mail

ask-gan@gaku.hiroshima.med.or.jp

※E-mail又はFAXにてお問い合わせください。

3. 広島県地域がん登録届出票（平成18年まで）項目と地域がん登録標準登録票項目の対応表

広島県地域がん登録届出票項目と地域がん登録標準登録票項目の対応表				
広島県地域がん登録登録票項目		地域がん登録標準登録票項目		ロジック変換
項目名	区分および説明	項目番号	項目名	区分および説明
入院患者氏名	(漢字氏名およびふりがな)	3	姓・名	(姓・名を別々に登録)
カルテ番号	(貴院のもの)	2	カルテ番号	
性別	男・女	4	性別	1:男, 2:女, 3:その他
年齢			(項目なし)	
生年月日	(和暦)	5	生年月日	
現住所		6	診断時住所	
臨床診断名		11	診断名 (原発部位名)	(登録室では、ICD-O-3-T でコード化する)
①部位	(詳細は要領参考)			
左右別	左・右・両側・不明 (左右臓器がある場合は該当するものに○印)	12	側性	1:右側, 2:左側, 3:両側
②原発・再発	原発・局所再発・遠隔転移※ (原発部位:)・不明 ※今回登録する'がん'が転移がんの場合は()内に原発部位を記入		(項目なし)	広島:原発・再発を, 標準:診断結果に置換える (標準化の3に変換するものはなし)
③診断年月日	(がんの診断が確定した日付)西暦 ※初発(原発)がんの診断が貴院の場合は貴院での診断年月日を記入	7	診断結果	1:新発生確診, 2:治療開始後, 3:疑診
		8	初回診断日	「診断結果」の2:治療開始後の場合記載する。 (変換するものはなし)

<p>診断年月日，手術年月日，初回手術年月日の中で一番早い日を取ってくる。</p>			<p>9 自施設診断日</p>	<p>※原発がんの診断が他施設の場合は他施設での診断年月日および施設名を記入 ※局所再発および遠隔転移の場合は原発がんの診断年月日を，不明の場合は貴院でがんと診断した年月日を記入</p>	
	<p>他施設名()</p>	<p>(項目なし)</p>		<p>(受診までの経過で該当するすべてに○印)</p>	
		<p>(一つの区分を選択)</p>		<p>1 任意の受診</p>	
		<p>(項目なし)</p>		<p>2 制度による検査</p>	
		<p>1:がん検診</p>		<p>3 任意の健康診断</p>	
		<p>2:健康診断・人間ドック</p>		<p>4 検査での要精査</p>	
		<p>(1に含まれる)</p>		<p>5 自科でフォロー中</p>	
		<p>3:他疾患の経過観察中 (入院ルーチン検査を含む)</p>	<p>10 発見経緯</p>	<p>6 他病の医療施設，自施設他の診療科からの紹介</p>	
		<p>(3に含まれる)</p>		<p>7 剖検</p>	
		<p>4:剖検発見</p>		<p>8 その他</p>	
		<p>9:その他(症状受診を含む)，不明</p>	<p>(項目なし)</p>	<p>受診の際の自覚症状(有・無) (該当するすべてに○印)</p>	
				<p>1 病理組織診断</p>	
		<p>(一つの区分を選択)</p>			
		<p>1:原発巣の組織診</p>		<p>2 細胞診</p>	
		<p>2:転移巣の組織診</p>	<p>15 診断根拠</p>	<p>3 手術所見</p>	
		<p>3:細胞診</p>		<p>4 内視鏡</p>	
				<p>5 画像診断</p>	
		<p>5:臨床検査</p>		<p>6 臨床所見</p>	
		<p>6:臨床診断</p>			

	7 剖検					4: 部位特異的な腫瘍マーカー 9: 不明			
病理組織診断名	(病理検査を行った場合はその診断名を記入してください)	14	組織診断名	(登録室では、ICD-O-3-M でコード化(組織型、性状、分化度))	分化度は全て 9				
⑤進行度	(該当するすべてに○印)	13	進展度 (臨床進行度)	(一つの区分を選択) (項目なし)	広島進行度を、標準：進展度に置換え、 変換後、4>3>2>1>0>9 の順で選択する 報告書には広島届出では必ずしも初発時の進展度が 届出られていない				
	1 早期がん								
	2 上皮内がん								
	3 原発臓器に限局								
	4 隣接臓器への浸潤								
	5 所属リンパ節転移								
	6 遠隔転移								
7 不明									
	Stage(可能であれば病期を記入)								
⑥治療内容 (今入院時行 ったがんに対す るすべての治 療に○印)	1 手術(内視鏡的切除を含む)	16	外科的治療の有 無	1: 有, 2: 無, 9: 不明 (初回治療の内容を記載)	① 今回治療, 初回治療両方に手術日がある場合は 手術年月日, と初回手術年月日を比較し早い方の治療 を交換する。 ② 今回治療と初回治療両方に治療コードが入ってい る時は, 初回治療のコードを交換する。但し, 初回治 療が「無治療」のみ1の時は今回治療を交換する。 ③ 初回治療のみ治療コードが入っている時は初回治 療を交換する。 ④ 今回治療のみ治療コードが入っている時は今回治 療を交換する。				
	(1) 手術日(西暦)	17	体視鏡的治療の有 無	1: 有, 2: 無, 9: 不明 (初回治療の内容を記載)					
	(2) 術式	18	内視鏡的治療の有 無	1: 有, 2: 無, 9: 不明 (初回治療の内容を記載)					
	(3) 根治度; a 治癒切除 b 非治癒 切除 c 非切除 d 不明	19	外科的・体視鏡 的・内視鏡的治 療の結果	1: 原発巣完全切除 2: 原発巣不完全切除 3: 原発巣切除治癒度不明 4: 姑息/対症/転移巣切除 9: 不詳 (初回治療の内容を記載)					

2005年6月届出分までの体腔鏡的治療は18内視鏡に
含まれる

⑥治療内容 (過去に治療のある場合は、わかる範囲で初回治療についても記載)	2 放射線療法	20	放射線治療	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)
	3 化学療法	21	化学療法	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)
	4 内分泌療法	23	内分泌療法	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)
	5 免疫療法	22	免疫療法・BRM	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)
	6 対症療法	24	その他の治療 (項目なし)	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)
	7 その他 ()			
	8 無治療			
	1 手術(内視鏡的切除を含む)	16	外科的治療の有 無	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)
		17	体腔鏡的治療の有 無	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)
		18	内視鏡的治療の有 無	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)
	(1) 手術日(西暦)			(項目なし)
(2) 術式			(項目なし)	
(3) 根治度: a 治癒切除 b 非治癒切除 c 非切除 d 不明	19	外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果	1:原発巣完全切除 2:原発巣不完全切除 3:原発巣切除治療度不明 4:姑息/対症/転移巣切除 9:不詳 (初回治療の内容を記載)	
2 放射線療法	20	放射線治療	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)	
3 化学療法	21	化学療法	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)	

今回治療, 初回治療で手術(1), その他の体腔鏡治療(7-4), その他の内視鏡的治療(7-6)のいずれかが行われている時のみ変換する
(標準3に変換するものはなし)

	4 内分泌療法	23	内分泌療法	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)	
	5 免疫療法	22	免疫療法・BRM	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)	
	6 対症療法	24	その他の治療 (項目なし)	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)	
	7 その他 ()				
	8 無治療				
医療施設	施設名, 診療科名, 医師名	1	医療機関名 名称 診療科	(診療科名, 医師名は推奨項目)	
(項目なし)		25	死亡日		

4. 広島県腫瘍登録データと地域がん登録標準登録票項目の対応表

広島県腫瘍登録データと地域がん登録標準登録項目の対応表		2014年版	
広島県腫瘍登録		地域がん標準項目	
Field name	項目名	Field name	mst_area
sysid	システムID	1. sysid	個人識別番号
res_no	登録受付番号	2. stepo	登録順序
seq_no	順番	3. hosp_code	医療機関コード表に準ずる
sample_no	標本番号	4. dept_code	医療機関コード表に準ずる
hospital	病院コード	5. inst_id	医療機関コード表に準ずる
chart_no	カルテ番号	6. inst_nm	医療機関コード表に準ずる
pick_dt	採取年月日	7. first_diag_dt	初回診断日
pick_cd	目付付法	8. first_diag_cd	初回診断日精度
suspect	疑診	9. hosp_diag_dt	自施設における診断日
multiple	Multiple	10. hosp_diag_cd	自施設における診断日精度
icdcd	部位	11. motiv	1:がん疑診 2:健康診断・人間ドック 3:他疾患の経過観察中(入院時ルーチン検査含む) 4:前例発見 9:その他(症状受診を含む)、不明
leftright	左右	12. l_result	1:初診 2:治療開始後 3:転診
prim	原発腫瘍	13. icdcd	ICD-O-3局在(T)コード表に準ずる
icdom	組織診断	14. letright	1:右側 2:左側 3:両側 9:不明
behavior	性状	15. c_stage	0:0期 1:I期 2:II期 3:III期 4:IV期 9:不明
grade	分化度	16. ctnml	X:TX 0:T0 is:1:1 2:T2 3:T3 4:T4 9:不明
onc_rev	oncolgy 改定	17. etnm_n	X:NX 0:N0 1:N1 2:N2 3:N3 9:不明
c_extnt	進展度	18. etnm_m	X:MX 0:M0 1:M1 9:不明
		19. icdom	ICD-O-3形態(M)コード表に準ずる
		20. behavior	ICD-O-3形態(M)コード表に準ずる
		21. grade	ICD-O-3形態(M)コード表に準ずる
		22. onc_rev	0:上皮内 1:限局 2:所属リンパ節転移 3:隣接臓器浸潤 4:遠隔転移 9:不明
		23. c_extnt	0:上皮内 1:限局 2:所属リンパ節転移 3:隣接臓器浸潤 4:遠隔転移 9:不明

depth												
meastasis	転移	0:転移なし 1:リンパ節 2:リンパ節+臓器 3:臓器 4:不明										
lcd_gfp	診断グループ	fdotmgp proc を使用して変換										
lcd_sgfp	診断副グループ	fdotmgp proc を使用して変換										
biopsy_ope	生検	1:生検 2:手術	51 option1	生検:手術	null							
fileno	ファイル番号	各テーブル内で重複は許されない。	52 option2 53 option3 54 option4	[文字列] Tmo (数値)								
count	組合せ	0-999999										
res	居住地	町コード(muchitypで定義)										
tr_work	委託室作業用	1.summaryに採用 2.その他(良性格む) 9:旧データ、不 automatic										
updt	更新日付											
			28 conf	診断根拠								
			37 t_ope	外科的治療の有無	1:有 2:無 9:不明	1:原発巣の組織診 2:転移巣の組織診 3:細胞診						
			38 t_lapa_thon	腹腔鏡的治療の有無	1:有 2:無 9:不明	4:部位特異的な腫瘍マーカー 5:臨床検査 6:臨床診断						
			39 t_endo	内視鏡的治療の有無	1:有 2:無 9:不明	9:不明						
			40 cur	外科的・内科的・放射線治療の結果	1:原発巣完全切除 2:原発巣不完全切除 内視鏡的治療の結果							
			41 t_rad	放射線治療の有無	1:有 2:無 9:不明							
			42 t_chem	化学療法の有無	1:有 2:無 9:不明							
			43 t_immuno	免疫療法・BRMの有無	1:有 2:無 9:不明							
			44 t_hormon	内分泌療法の有無	1:有 2:無 9:不明							
			49 t_others	その他治療の有無	1:有 2:無 9:不明							
			50 c_column	がん記載区分								
			51 option1	生検:手術	null							
			52 option2	[文字列]								
			53 option3	Tmo								
			54 option4	(数値)								
			55 entry_id	登録番号目録								
			56 entry_dif	登録番号目録度								
			57 ent_tyid	入力時の作業番号								
			58 serial_no	シリアル番号								
			59 source	資料源								
			60 summ_flg	集約フラグ								
			98 instd	登録日時								

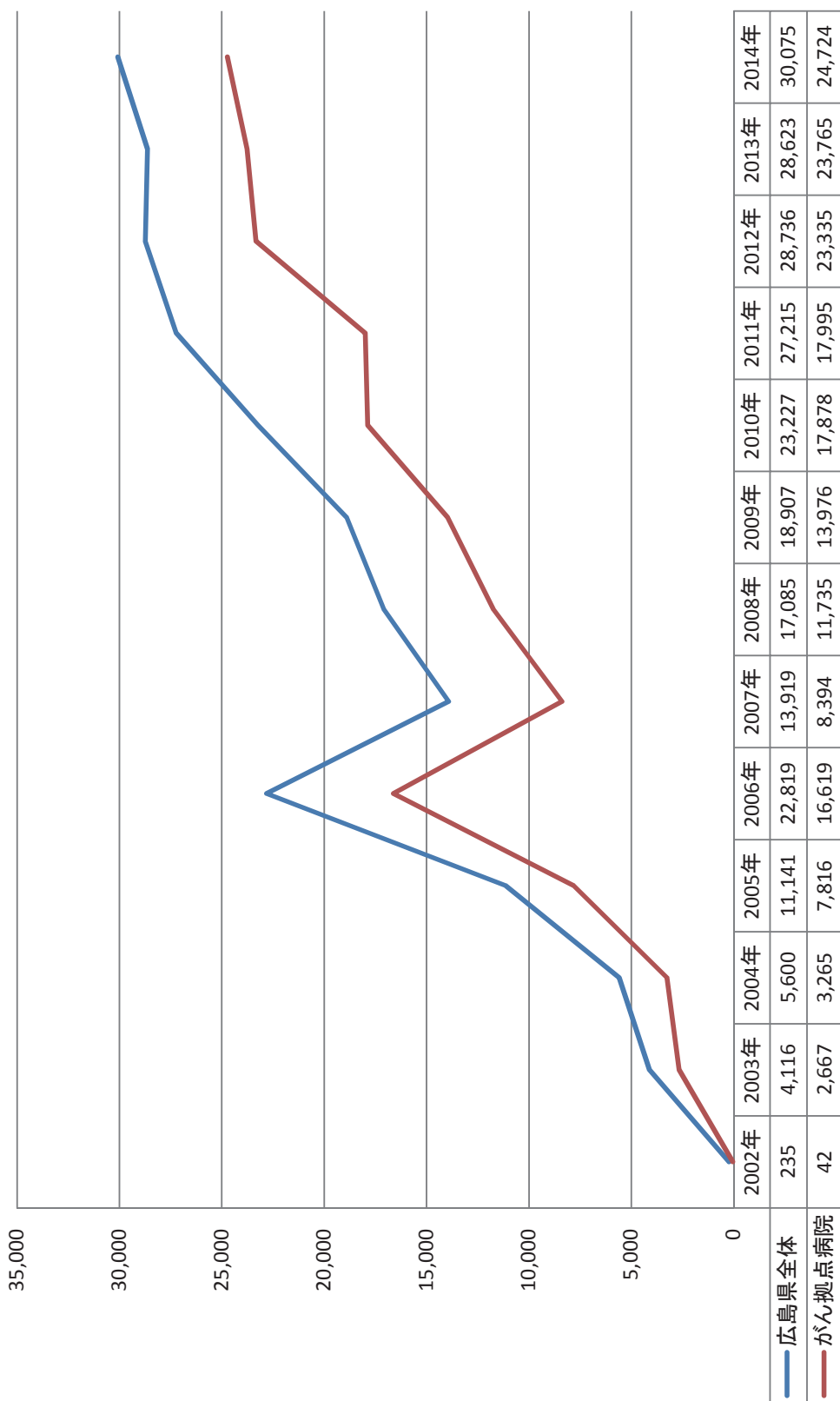
5. 広島県地域がん登録・広島県腫瘍登録届出施設

広島県腫瘍登録事業の件数については、広島県地域がん登録の登録票項目への変換が可能であったものに限る。また住所の記載が無かったものについては、集計に反映されていない。

二次保健 医療圏	医療機関名	広島県		合計
		地域がん登録	腫瘍登録事業	
広島	広島大学病院	2343	3462	5805
	広島市医師会臨床検査センター	-	909	909
	広島市立広島市民病院	2687	3469	6156
	県立広島病院	1460	1688	3148
	広島赤十字・原爆病院	779	1511	2290
	広島記念病院	658	867	1525
	マツダ病院	254	487	741
	広島鉄道病院	137	472	609
	中電病院	215	404	619
	広島大学歯学部口腔病理	-	87	87
	福島生協病院	19	95	114
	吉田総合病院	149	231	380
	広島大学原医研内科	-	1	1
	広島市立安佐市民病院	1850	2337	4187
	シムラ病院	23	11	34
	安芸市民病院	8	-	8
	広島共立病院	200	185	385
	土谷総合病院	193	361	554
	吉島病院	114	212	326
	安芸太田病院	10	16	26
	済生会広島病院	153	423	576
	榎殿順記念病院	-	68	68
	五日市記念病院	5	24	29
	広島厚生病院	18	-	18
	たかの橋中央病院	38	110	148
	広島大学大学院病理学	-	9	9
	広島逡信病院	26	-	26
	広島市立舟入市民病院	-	-	0
	翠清会 梶川病院	7	-	7
	太田川病院	41	-	41
	光仁会 梶川病院	25	-	25
	一陽会 原田病院	53	34	87
	広島三菱病院	7	-	7
	荒木脳神経外科病院	6	-	6
	野村病院	15	-	15
	ヒロシマ平松病院	-	7	7
	一ノ瀬病院	2	-	2
	河村内科消化器クリニック	12	-	12
	妹尾病院	2	-	2
	倉掛のぞみ園診療所	2	-	2
	たなか皮ふ科アレルギー科	-	3	3
	こどい内科クリニック	-	25	25
	かわもと皮ふ科	-	2	2
中央通り乳腺検診クリニック	76	-	76	
香川乳腺クリニック	59	-	59	
中川外科胃腸科	7	-	7	
広島女性クリニック	5	-	5	
広島西	広島総合病院	1355	1679	3034
	国立病院機構 広島西医療センター	123	234	357
	メープルヒル病院	3	-	3
	廿日市記念病院	97	-	97
呉	国立病院機構 呉医療センター	1680	1759	3439
	呉共済病院	751	876	1627
	中国労災病院	757	987	1744
	呉市医師会検査センター	-	201	201
	済生会呉病院	95	-	95
	呉市医師会病院	64	-	64
	前田病院	10	-	10
碓井サテライトクリニック	-	27	27	

	国立病院機構 東広島医療センター	803	772	1575
	井野口病院	57	45	102
	本永病院	23	41	64
	安田病院	43	53	96
	木阪病院	3	-	3
広島中央	東広島地区医師会臨床検査センター	-	23	23
	西条中央病院	9	-	9
	県立安芸津病院	28	-	28
	医療法人 楽生会 馬場病院	24	-	24
	医療法人 かわの医院	39	-	39
	康成病院	6	-	6
	尾道総合病院	1156	1651	2807
	三菱三原病院	34	63	97
	日立造船健保組合 因島総合病院	15	17	32
	社会医療法人 里仁会 興生総合病院	103	162	265
	尾道市公立みつぎ総合病院	54	90	144
	三原市医師会検査センター	-	100	100
	三原城町病院	-	34	34
尾三	因島医師会病院	8	-	8
	三原赤十字病院	275	261	536
	尾道市立市民病院	421	569	990
	公立世羅中央病院	37	-	37
	三原市医師会病院	88	-	88
	松尾内科病院	10	-	10
	医療法人 宗齊会 須波宗齊会病院	1	-	1
	寺田外科クリニック	3	-	3
	中国中央病院	656	940	1596
	国立病院機構 福山医療センター	814	1428	2242
	福山市民病院	1201	975	2176
	大田記念病院	128	-	128
	楠本病院	11	57	68
	セントラル病院	20	19	39
	福山第一病院	38	-	38
	日本鋼管福山病院	158	280	438
	神石高原町立病院	2	-	2
	府中北市民病院	5	-	5
	寺岡記念病院	118	-	118
福山・府中	医療法人 賢仁会 松岡病院	2	6	8
	医療法人 秀明会 小池病院	13	-	13
	セオ病院	6	-	6
	医療法人 辰川会 山陽病院	-	9	9
	大石病院	-	2	2
	医療法人社団 沼南会 沼隈病院	-	14	14
	小島病院	-	195	195
	藤井病院	-	2	2
	医療法人達磨会 井上病院	52	41	93
	うだ胃腸科内科外科クリニック	26	-	26
	いしいクリニック	60	-	60
	福山記念病院	3	-	3
	市立三次中央病院	697	882	1579
備北	庄原赤十字病院	44	359	403
	三次地区医師会臨床検査センター	-	120	120
	医療法人社団 高場医院	1	-	1
県外	県外	53	-	53
	合計	23941	32483	56424

6. 地域がん登録届出件数の年ごとの動き



地域がん登録届出件数の年ごとの動き

<注> 2006年まではがん患者の退院時に繰り返し登録を行っていたが、2007年からは初回入院の時の退院時ならびに死亡時に限って登録することとなった。

7. 広島県・広島市地域がん登録資料の相互利用に関する協定書

広島県・広島市地域がん登録資料の相互利用に関する協定書

広島県を甲とし、広島市を乙として、甲と乙は、それぞれが実施する地域がん登録事業において医療機関等から収集した罹患資料（以下「収集データ」という。）の相互利用について、次のとおり協定を締結した。

（目的）

第1条 広島県内において異なる主体により実施される広島県地域がん登録と広島市地域がん登録の収集データを相互に利用し、それぞれの登録を補完することで、より精度の高い地域がん登録として発展させていくことを目的とする。

（基本的事項）

第2条 甲及び乙は、それぞれの収集データを照合し、それぞれ地域がん登録で対象とする地域内の症例について、いずれか一方にのみ登録されているデータ（以下「相互利用データ」という。）が発見された場合は、データを持たないもう一方に対して当該データの利用を認める。

2 相互利用データは、原則としてそれぞれの地域がん登録事業の集計、解析等において、自らが収集したデータと同様に使用できるものとする。

3 相互利用する収集データは、この協定書の締結以前に収集・登録されたデータも対象とする。

（協定の期間）

第3条 この協定の有効期間は、平成21年8月1日から平成22年3月31日までとする。

2 前項の期間満了の日30日前までに、甲、乙いずれからも相手方に対して文書により異議の申出がないときには、この期間は、更に1年間延長するものとし、その後において延長した期間が満了したときも、同様とする。

（地域がん登録に協力する医療機関等への周知）

第4条 甲及び乙は、それぞれに実施する地域がん登録に協力する医療機関等に対し、この協定に基づいた登録データの相互利用について理解を求めるものとする。

（守秘義務）

第5条 甲及び乙は、登録データに関する個人の秘密を完全に保護し、個人に関する情報一切を漏洩してはならない。

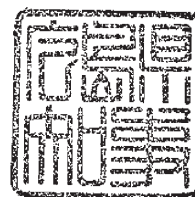
（疑義の解決）

第6条 この協定について疑義が生じた場合及びこの契約に定めのない事項で必要がある場合は、甲及び乙が協議して定めるものとする。

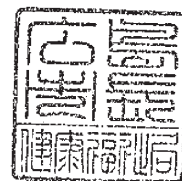
以上のとおり協定を締結したことを証するため、この証書2通を作成し、甲と乙が記名・押印をして、各自その1通を所持する。

平成21年8月1日

甲 広島県
代表者 広島県知事 藤田雄山



乙 広島市
代表者 広島市長 秋葉忠利



8. 広島県医師会 地域がん登録運営委員会委員名簿

広島県医師会 地域がん登録運営委員会委員 名簿

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	桑原 正雄	広島県医師会 副会長
委 員	安井 弥	広島大学大学院医歯薬保健学研究院長
委 員	今井 茂郎	呉市医師会 理事
委 員	高蓋 寿朗	呉市医師会 理事
委 員	森木 康之	福山市医師会 理事
委 員	平田 教至	福山市医師会 理事
委 員	小山 祐介	福山市医師会 理事
委 員	則行 敏生	尾道市医師会 理事
委 員	寺面 和史	三原市医師会 理事
委 員	徳毛 宏則	佐伯地区医師会 理事
委 員	立本 直邦	三次地区医師会 理事
委 員	多幾山 涉	安佐医師会 副会長
委 員	万代 光一	東広島医療センター 臨床研究部長
委 員	井口 郁雄	広島市医師会 副会長
委 員	時信 弘	広島市医師会 常任理事
委 員	杉山 一彦	広島大学病院がん化学療法科 教授
委 員	武島 幸男	広島大学大学院 病理学 教授
委 員	小笹晃太郎	公益財団法人 放射線影響研究所 疫学部長
委 員	梶原 博毅	広島県医師会 腫瘍登録室長
委 員	平井 幸	広島県健康福祉局がん対策課
担 当 理 事	山田 博康	広島県医師会 常任理事
副担当理事	野間 純	広島県医師会 常任理事
副担当理事	津谷 隆史	広島県医師会 常任理事

広島県地域がん登録システム推進事業実施要領

(趣 旨)

第1条 本県の効果的ながん対策の推進に資するため、県内で発生するがんの特性を把握し、予防活動の有効性及びがん医療水準の評価等を行うこととし、「広島県地域がん登録システム推進事業」を実施する。

(実施主体)

第2条 この事業は、一般社団法人広島県医師会、公益財団法人放射線影響研究所、広島大学大学院医歯薬保健学研究院及び県内の有床医療機関（以下「医療機関」という。）の協力を得て、広島県が実施する。

(事業)

第3条 この事業は、医療機関からの届出によるがん患者の情報を登録（以下「がん登録」という。）することにより実施するものであり、その業務内容は次のとおりである。

- (1) がん登録運営委員会の開催
- (2) 資料利用審査委員会の開催
- (3) がん登録推進会議の開催
- (4) がん登録届出票の印刷、発送及び受理
- (5) 収集データの入力、集計及び解析
- (6) 報告書の作成
- (7) がん登録の制度の普及啓発

(業務の委託)

第4条 県は、前条の業務のうち(4)～(7)について、委託により実施するものとする。

(がん登録の対象)

第5条 登録の対象は、県内に居住する者で、悪性新生物（悪性腫瘍）と診断された後、入院治療を受けた者とする。

(がん登録の方法)

第6条 別紙様式による「広島県がん登録届出票」（以下「届出票」という。）により、次のとおり個々の患者情報を登録する。

(1) 届出

ア 医療機関の医師は、県内に居住するがん患者が入院治療を受け退院した時点において届出票に所要事項を記載する。

イ 医療機関は、届出票を1か月毎にとりまとめ、翌月の末日までに委託機関へ郵送（所定の封筒による）により提出する。

(2) 登録

委託機関は、届出票を受理し、個人情報の重複を避けるため氏名、生年月日、性別及び住所による個人を識別する作業（以下「個人同定作業」という。）を行った上で、登録を行うものとする。

(届出票の保存・管理)

第7条 届出票は、個人同定作業が終了した時点において、個人情報部分と臨床情報部分を切り離して別々に保存・管理するものとする。

(がん登録のシステム化)

第8条 がん登録の内容をより充実させ、より精度の高い情報とするため、厚生労働省の実施する人口動態調査の死亡小票及び死亡票（磁気テープ転写分）のデータ並びに広島県医師会が実施する広島県腫瘍登録事業の登録データをがん登録に取り込み、解析することとする。

(死亡小票及び死亡票の取扱い)

第9条 死亡小票及び死亡票は次のとおり取り扱う。

- (1) 死亡小票のうち悪性新生物やその他の新生物の記載のあるもの（別記のとおり）を抽出し、別紙様式第2号に転記する。（以下「転写票」という。）
- (2) がん登録で登録された個人（以下「がん登録患者」という。）とこの転写票とを照らし合わせ、両票が同一患者に由来するものか否かを確認し、別紙集計様式により登録する。
- (3) がん登録患者のうち死因ががんでない患者については、市区町村符号及び保健所符号、死亡した人の住所地、男女別、生年月日の4つの項目を用いて死亡票（磁気テープ転写分）から原死因を確認して除き、別紙集計様式により登録する。
- (4) 死亡小票及び死亡票のその他の取扱い方法については、別途定める。

(事業報告)

第10条 委託機関は、毎年、がん登録状況の集計及び解析結果について、県に報告するものとする。

- 2 委託機関は、前項の場合において、届出票を提出した医療機関に対して、当該施設に係る届出情報の集計結果を報告するものとする。
- 3 事業報告に当たっては、個人が特定されるおそれのある情報を含んではならない。

(結果の公表等)

第11条 県は、委託機関から報告された集計及び解析結果について年報にまとめて公表する。

(秘密の保持)

第12条 この事業に従事する者は、業務上知り得た個人情報を他に漏らしてはならない。

(その他)

第13条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要領は、平成14年4月5日から施行する。

附 則

この要領は、平成15年7月17日から施行し、平成15年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、平成26年8月19日から施行する。

別記 1

- ① 悪性新生物を原死因とする死亡小票
- ② 他の原死因があるが死亡原因欄又は備考欄に悪性新生物の記載がある死亡小票
- ③ 良性新生物，上皮内がん，性状不詳の新生物，死因の明示されない新生物を原死因とする死亡小票
- ④ 他の原死因であるが死亡原因欄又は備考欄に良性新生物，上皮内がん，性状不詳の新生物の記載がある死亡小票

別記 2

死亡小票の調査項目

市区町村符号及び保健所符号

事件簿番号

氏名

男女別

生年月日

死亡したとき

死亡した人の住所

死亡した人の国籍

死亡したことの種別

施設の名称

死亡の原因

その他特に付言すべきことがら

施設の所在地又は医師の住所及び氏名

備考

広島県地域がん登録システム推進事業 資料利用審査委員会設置要領

(目的)

第1条 がんの予防の推進並びにがん医療の向上及び評価を総合的に実施する体制を整備し、県民の健康保持・増進及び医療水準の向上に資するため、「広島県地域がん登録システム推進事業実施要領」第3条(2)に規定する資料利用審査委員会を設置する。

(協議内容)

第2条 この委員会は、地域がん登録事業において収集された登録情報の利用に関する事項について基準を定め、当該申請に係る登録資料の利用の可否について協議する。

(構成員)

第3条 この委員会は、別表の区分ごとに団体から推薦された委員等で構成し、委員の中から委員長1名及び副委員長1名を互選する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期については、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任を妨げない。

(事務局)

第5条 委員会の事務局は、広島県健康福祉局がん対策課に置く。

附 則

この要領は、平成15年3月4日から施行する。

附 則

この要領は、平成15年5月7日から施行し、平成15年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、平成20年10月10日から施行し、平成20年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、平成23年4月27日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、平成26年8月19日から施行する。

別 表

構 成 団 体 等	
1	一般社団法人広島県医師会
2	広島大学大学院医歯薬保健学研究院分子病理学
3	公益財団法人放射線影響研究所
4	学識経験者
5	広島県健康福祉局

広島県地域がん登録資料の利用手続要項

(目 的)

第1条 本要項は、広島県地域がん登録事業における登録資料の利用手続について定める。

(定 義)

第2条 この手続きは、当該施設以外の登録資料を研究目的で利用する場合について定めるものである。

(利用の申請)

第3条 登録資料を利用しようとする者は、広島県健康福祉局長に、広島県地域がん登録・広島市地域がん登録資料利用申請書（様式第1号）を提出する。

(利用の基準)

第4条 登録資料の利用申請があるときは、広島県健康福祉局長は、広島県地域がん登録システム推進事業資料利用審査委員会（以下「委員会」という。）に当該申請に係る登録資料の利用の可否について諮る。

委員会は、以下の基準に照らし、協議する。

- (1) 登録資料の利用が、がん予防対策及びがん医療水準の向上に寄与するものであること。
- (2) 利用する登録資料が、利用目的を達成する上で必要最小限度の範囲内のものであること。
- (3) 申請者は、登録資料の適正な使用と適切な管理を行うことができること。
- (4) 申請者は、研究実績及び目的達成の研究能力と研究遂行に必要な手段を持つものであること。
- (5) 別表各号に定める事項のうちいずれかに該当するものを含む登録資料を申請しようとする申請者は、申請者が所属する機関での倫理委員会あるいは類似の審査を経たものであること。

(申請の承認)

第5条 広島県健康福祉局長は、委員会の協議結果を受け、申請者に次のとおり回答する。

- (1) 登録資料の利用を承認した場合は、申請者に広島県地域がん登録資料利用承認書（様式第2号）を交付の上、資料を提供する。
- (2) 前条の規定により登録資料の利用を承認できない場合は、申請者に不承認の理由を付して通知する。（様式第3号）

(利用条件の付与)

第6条 広島県健康福祉局長は、登録資料の利用の承認に当たり、利用の方法、範囲等について条件を付することができるものとする。

(利用に関する責務)

第7条 申請者は、受領後の資料の取扱いについては、広島県地域がん登録資料受領書（様式第4号）及び誓約書（様式第5号）を提出するとともに、以下に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 申請書に記載された目的以外に資料を利用しない。

- (2) 申請書に記載された資料の利用期間及び利用方法を厳守する。
 - (3) 結果のいかなる公表においても、個人を特定する情報を明らかにしない。
 - (4) 結果の公表を行った場合、学会発表抄録、論文別刷等を広島県健康福祉局がん対策課へ提出する。
 - (5) 資料の利用期間が終了した場合、あるいは資料が不要となった場合は、直ちに広島県健康福祉局がん対策課へ返却する。
 - (6) 資料に関わる全ての機密保持について遵守する。
- 2 広島県健康福祉局長は、登録資料提供記録（様式第6号）により、提供の状況を把握する。
- (その他)
- 第8条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は、委員会で協議の上、別に定める。

附 則

この要項は、平成15年5月12日から施行する。

附 則

この要項は、平成18年3月6日から施行する。

附 則

この要項は、平成20年10月10日から施行し、平成20年4月1日から適用する。

附 則

この要項は、平成22年4月14日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

附 則

この要項は、平成23年7月20日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

附 則

この要項は、平成25年2月1日から施行する。

(別表)

- 1 生年月日
- 2 死亡年月日
- 3 単一及び複数の情報の連結等で個人を特定することが可能であると広島県健康福祉局長が認めるもの

(様式第1号)

広島県健康福祉局がん対策課	受付	平成 年 月 日	No.
広島市健康福祉局保健部保健医療課	受付	平成 年 月 日	No

広島県地域がん登録・広島市地域がん登録資料利用申請書

平成 年 月 日

広島県健康福祉局長様

広島市健康福祉局長様

申請者 施設名

所属及び職名

氏名

印

住所

電話番号

広島県地域がん登録・広島市地域がん登録事業に係る資料を利用したいので、承認してください。

新規・継続の別	イ 新規 ロ 継続 広島県(前回承認:平成 年 月 日/承認番号:第 号) 広島市(前回承認:平成 年 月 日/承認番号:第 号)	
研究課題		
研究目的		
研究方法		
共同研究者氏名 及び所属機関名		
必要とする 登録資料 (1~4の項目について、該当する内容の□に○及び()内に具体的に記載してください。)	1. 対象の範囲	<input type="checkbox"/> 広島県全域 <input type="checkbox"/> 広島市 <input type="checkbox"/> 特定の地域 []
	2. 部位	<input type="checkbox"/> 全部位 <input type="checkbox"/> 特定の部位または組織型 []
	3. 性状	<input type="checkbox"/> 悪性 <input type="checkbox"/> 上皮内がん <input type="checkbox"/> 良性(脳・脊髄・髄膜のみ)
	4. 診断年	年 ~ 年
	5. 資料の入手方法	<input type="checkbox"/> リスト形式(固定長・CSV・MS Excel・MS Access) <input type="checkbox"/> その他具体的事項 []
資料の利用期間	平成 年 月 日 ~ 年 月 日 (基本的に1年とします)	
倫理委員会等の承認	年 月 日 承認番号 第 号	
所属機関の長承認欄 (倫理委員会等がない場合のみ)	上記の申請については、所属機関の長として承認します。 所属機関名 所属機関長名 印	

- 1 別表に定める登録資料を申請しようとする場合は、倫理委員会等の承認を取ってください。倫理委員会等の承認機関がない場合は、所属機関長の承認を取ってください。
- 2 別添の「地域がん登録詳細定義」及び研究計画書を添付してください。

(様式第2号)

が対第 号
平成 年 月 日

様

広島県健康福祉局長
〒730-8511 広島市中区基町10-52
が ん 対 策 課

広島県地域がん登録事業に係る資料の利用について（通知）

平成 年 月 日付けで申請のこのことについては、(次の条件を付して) 承認
します。

(様式第3号)

が対第 号
平成 年 月 日

様

広島県健康福祉局長
〒730-8511 広島市中区基町10-52
が ん 対 策 課

広島県地域がん登録事業に係る資料の利用について（通知）

平成 年 月 日付けで申請のこのことについては、承認できません。

（理由）

(様式第 4 号)

広島県地域がん登録資料受領書

広島県地域がん登録事業に係る資料を、広島県健康福祉局 承認番号
が対第 号 により受領しました。

資料の利用に当たっては、別紙誓約書の各事項について遵守します。

平成 年 月 日

広島県健康福祉局長様

施設名
所在地
受領責任者
所属及び職名
氏名

印

(様式第5号)

誓 約 書

広島県地域がん登録事業に係る資料を利用するに当たり、個人情報の秘密保持のため、次の事項について遵守します。

- 1 資料から知り得たいかなる情報も他に漏らさない。
- 2 資料から知り得たいかなる情報も厳重に管理保管する。
- 3 資料から知り得たいかなる情報も申請書の目的以外に使用しない。
- 4 資料利用期間が終了した場合、あるいは資料が不要となった場合は、直ちに返却する。

平成 年 月 日

申 請 者
住 所
所属及び職名
氏 名
電 話 番 号

印

広島県健康福祉局長様

(様式第6号)

登録資料提供記録

申請年月日	提供年月日	承認番号	資料名	施設名 所属・職名	氏名	返却年月日	備考

広島県のがん登録（平成24年集計）

平成28年1月30日 発行

編集 広島県医師会地域がん登録運営委員会
〒732-0057 広島市東区二葉の里三丁目2番3号
TEL (082)568-1511

発行 広島県
一般社団法人 広島県医師会
公益財団法人 放射線影響研究所

印刷所 レタープレス株式会社
〒739-1752 広島市安佐北区上深川町809番地の5
TEL (082)844-7500
